

学則・履修規程等

情報デザイン学部修学規程（案）に以下に従い着色している。

【中一種免（数学）、高一種免（数学）】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：水色
- ・学則・履修規程上定められているが、免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、数学に関連する科目：緑色
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等：ねずみ色

【高一種免（情報）】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：青色
- ・学則・履修規程上定められているが、免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、情報に関連する科目：黄緑色
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等：ねずみ色

【中一種免（数学）、高一種免（数学）及び高一種免（情報）の課程で共通開設】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：赤色

建築・環境デザイン学部修学規程（案）に以下に従い着色している。

【中一種免（理科）、高一種免（理科）】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：水色
- ・学則・履修規程上定められているが、免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、理科に関連する科目：緑色
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等：ねずみ色

【高一種免（工業）】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：ピンク色
- ・学則・履修規程上定められているが、免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、情報に関連する科目：黄色
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等：ねずみ色

システム学部修学規程（案）に以下に従い着色している。

【中一種免（数学）、高一種免（数学）】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：水色
- ・学則・履修規程上定められているが、免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、数学に関連する科目：緑色
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等：ねずみ色

【中一種免（技術）】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：紫色
- ・学則・履修規程上定められているが、免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、技術に関連する科目：オレンジ色
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等：ねずみ色

【高一種免（情報）】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：青色
- ・学則・履修規程上定められているが、免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、情報に関連する科目：黄緑色
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等：ねずみ色

【高一種免（工業）】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：ピンク色
- ・学則・履修規程上定められているが、免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、工業に関連する科目：黄色
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等：ねずみ色

【中一種免（数学）、高一種免（数学）及び高一種免（情報）の課程で共通開設】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：赤色

【中一種免（技術）及び高一種免（情報）の課程で共通開設】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：薄紫色

【中一種免（技術）及び高一種免（工業）の課程で共通開設】

- ・免許法施行規則に定める教科に関する専門的事項に関する科目：茶色

○大阪産業大学学則（案）

昭和40年4月1日

規程第111号

最近改正 令和6年●月●日

第1章 総則

（目的）

第1条 大阪産業大学（以下「本学」という。）は教育基本法に則り、学校教育法の定める大学として、産業、交通に関する学術を中心に、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授し、研究し、個性豊かな教養高き人格を備え、応用能力と実践性に富む有為な人材を養成し、文化の向上と産業、交通の発展に寄与することを目的とする。

（学部、学科）

第2条 本学に次の学部および学科を置く。

国際学部	国際学科
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科
経営学部	経営学科
	商学科
経済学部	経済学科
	国際経済学科
情報デザイン学部	情報システム学科
建築・環境デザイン学部	建築・環境デザイン学科
システム工学部	システム工学科

（教育研究上の目的）

第3条 本学の学部および学科の教育研究上の目的は、次の各項および各号のとおりとする。

- 2 国際学部は、本学の建学の精神および実学的伝統に根ざし、実用的な外国語能力と確かな日本語の力を基盤とするコミュニケーション力を養うとともに、異なった文化的背景をもつ人びとと協働・共生し、地域社会と国際社会に貢献できる創造性豊かな職業人を育成することを教育研究上の目的とする。
- 3 スポーツ健康学部では「スポーツで人々を幸せに！」をスローガンに、「偉大なる平凡人たれ」の建学精神に基づき、スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会に貢献できる「スポーツマインド」を有した人材の育成に資する教育・研究を行う。具体的にはスポーツ健康学科では1) 保健体育科教諭、2) スポーツ指導者、3) 健康増進活動を支援できる人材、さらには、4) 地域のスポーツ振興を担える人材を輩出することを目的とする。
- 4 経営学部は、専門知識の修得と独立心やコミュニケーション能力の向上により社会で信頼される人格形成を促進し、将来各般の産業分野で活躍できる人材を育成することを教育研究上の目的とする。

とする。

- (1) 経営学科は、本学の建学の精神である「偉大なる平凡人たれ」に基づき、社会のさまざまな場面や役割を通して、人々の協働活動に貢献しうる下記のような人材を養成することを教育研究上の目的とする。
 - 1 組織の管理や戦略活動に関する基礎知識を持つ人材。
 - 2 経営活動を適切に記録、測定、分析を行いうる人材。
 - 3 さまざまな産業分野に関する幅広い知識を持つ人材。
- (2) 商学科は、専門知識の修得と独立心やコミュニケーション能力の向上により、経済社会システムの最適化のために最適な流通システムを構築・提案しうる能力社会で信頼される人材を育成することを教育研究上の目的とする。
- 5 経済学部は、情報化・国際化が進展し、変化の速度を速める日本および世界の経済と社会を研究分析する。それとともに、本学共通の建学の精神である「偉大なる平凡人たれ」の精神に基づき、自己中心的な、また功利的な考え方を捨て、他人を尊重し、社会活動に貢献できる資質を備え、変動する経済社会に対応できる人材を育成することを目的とする。
 - (1) 経済学科は、情報化・国際化が進展する経済社会を対象として、経済社会システムの諸側面に注目して研究を行い、その仕組みを明らかにすることを研究上の目的とする。そしてそこで得た知見に基づいて、経済の基礎知識と経済社会の仕組みとを理解し、変容を続ける現代社会を読み解く能力を持つとともに、社会の諸課題に立ち向かい、将来を開拓する責任ある主体を育成することを教育上の目的とする。
 - (2) 国際経済学科は、経済社会の情報化・国際化が進展する日本および世界の経済社会を対象とし、多様性と普遍的価値の調和をめぐる諸課題を解明することを研究上の目的とする。そしてその成果をもって、建学の精神に照らして実直な努力を尊ぶ精神と経済学の学識とを融合し、私心を去って現場主義を貫き、一体化・流動化が進む国際社会を先導する力を持った人材を輩出することを教育上の目的とする。
- 6 情報デザイン学部では、「人にやさしいモノ・コトづくり」が人々の共感と相互理解を促進し、社会を安心・安全なものにするという信念のもと、現代社会の基盤となる情報システムのデザインに携わることのできる人材の養成を目指す。具体的には、情報システムのデザインには、「つくる」デザインと「つかう」デザインの二つの側面があり、特に「人にやさしい」情報システムでは両面を理解する必要がある。「つくる」デザインでは、使う人を理解する技術を取り入れ、情報通信技術を中心に学び、情報システムの設計・構築・運用に関わる技術者を養成し、「つかう」デザインでは、基礎的な情報通信技術を学んだ上で、人がシステムから受け入れるメディア技術とシステムを使う人を理解する技術を学び、人にやさしい情報システムの提案・活用ができる人材を養成することを目的とする。
- 7 建築・環境デザイン学部は、都市インフラ、生活環境、人と自然、都市環境、建築、インテリア、クラフト、プロダクトのデザイン専門分野別に、創造性に溢れ、広い視野・豊かな感性・確

かな技術力をもって、美・アメニティ・機能・安全を備える持続可能な環境・空間・モノを創出・維持する実務的な「デザイナー」を養成する。また、デザイナーとしての基礎力（論理的思考力、多面的造形力、問題解決能力、豊かな感性、コミュニケーション・スキル、CAD・CG、AIなどを含む情報リテラシー）を駆使していかなる分野においても活躍できる「幅広い職業人」を養成することを目的とする。

- 8 システム工学部では、AIなどの情報技術に基づくソフトウェア（サイバー空間）と機械工学、交通機械工学、電気電子工学あるいは情報工学に基づくハードウェア（フィジカル空間）とを繋いで融合するシステム工学を目指す。一般的な産業機械をはじめ、航空宇宙、福祉、バイオ機械や自動車、鉄道などの移動機械、半導体や電気設備、情報機器など、従来の工学部で培ってきたフィジカル空間での強みを活かしつつ、これまでは個々の学科で個別に学んでいたプログラミングやAI、制御などの情報技術を、コア科目として配置する。こうすることで、フィジカル空間（ハードウェア）においてそれらのサイバー技術（ソフトウェア）がどのように用いられ、機能し、制御しているのか、その稼働の仕組みを理解できる。このように、サイバー技術（ソフトウェア）で制御するフィジカル機器（ハードウェア）を理解し、実世界産業に貢献できる人材を育成することを目的とする。

（大学院）

第4条 本学に大学院を置く。

- 2 大学院に関する学則は、別に定める。

（入学定員、3年次編入学定員および収容定員）

第5条 本学の学部属する学科の入学定員、3年次編入学定員および収容定員は、別表第1のとおりとする。

（修業年限）

第6条 本学の学部の修業年限は4年とする。

- 2 学部の同一学科においては、休学期間を除き、修業年限の2倍を超えて在学することはできない。ただし、経済学部においては、学科配属前の期間を含む。
- 3 第24条による留学期間のうち、1ヵ年以内は、修業年限に算入することができる。

（修業年限の特例）

第7条 前条の規定にかかわらず、本学の学部属する3年以上在学した者が、卒業要件単位を優秀な成績で修得し、別に定める基準を満たしたと認める場合には、その卒業を認めることができる。

第2章 学年、学期および休業日

（学年）

第8条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

（学期）

第9条 国際学部、スポーツ健康学部は、4年間を8セメスターに区分し、各学年の前期を奇数セメ

スター、後期を偶数セメスターとする。

奇数セメスター 4月1日から9月20日まで

偶数セメスター 9月21日から翌年3月31日まで

- 2 経営学部、経済学部、情報デザイン学部、建築・環境デザイン学部、システム工学部は、学年を次の2期に分ける。

前期 4月1日から9月20日まで

後期 9月21日から翌年3月31日まで

(休業日)

- 第10条** 休業日は次のとおりとする。ただし、必要のあるときは、学長は臨時に休業日を設けることができる。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に定める休日
- (3) 本学園の創立記念日 11月1日
- (4) 春期休業 2月22日から3月25日まで
- (5) 夏期休業 7月27日から9月14日まで
- (6) 冬期休業 12月22日から翌年1月7日まで

- 2 前項の休業日については、学長は教授会の議を経て、変更することができる。

第3章 入学、学籍および留学等

(入学時期)

- 第11条** 入学の時期は、学年の初めとする。

(入学資格)

- 第12条** 第1年次に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当し、その年度の入学試験に合格した者でなければならない。

- (1) 高等学校を卒業した者、または通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
- (3) 文部科学大臣が指定した者
- (4) 大学入学資格検定規程により文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者
- (5) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (6) 相当の年齢に達し、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

- (7) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(編入学)

第13条 本学の各学部においては、第3年次に編入学させることができる。

- 2 編入学できる者は、次の各号のいずれかに該当し、所定の試験に合格した者でなければならない。

- (1) 大学院を修了した者または大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者または高等専門学校を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上）を修了した者
- (4) 大学に2年以上在学し、62単位以上（卒業要件に算入されるもの）を修得した者
- (5) 外国において本邦の高等教育課程と同等の課程を修了した者
- (6) 本学が指定する外国の高等教育機関において、前第4号に定める者と同等の資格を取得したと認定された者
- (7) 高等学校の専攻科（修業年限2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者

- 3 編入学の試験その他に関しては、別に定める。

(再入学)

第14条 本学に再入学できる者は、次の各号のいずれかに該当し、所定の試験に合格した者でなければならない。

- (1) 自己の都合により本学を退学した者で、出願時に退学後3年を超えない者
 - (2) 授業料未納のため除籍された者で、出願時に除籍取消期間満了後3年を超えない者
- 2 前項第1号および第2号の定めにかかわらず、特別な理由がある者については、3年を超えても再入学の出願を認めることができる。
- 3 退学または除籍前の学部の学科と異なった学部の学科に再入学することはできない。ただし、経済学部においては、退学または除籍前の学部または学部の学科に再入学することとする。
- 4 再入学の試験その他に関しては、別に定める。

(転入学)

第15条 学部または学部の学科に欠員があるときは、他大学に在学中の者を、所定の試験を行い、転入学させることができる。

- 2 転入学の試験その他に関しては、別に定める。

(二重学籍の禁止)

第16条 本学に現に在籍している者は、本学の大学院、2以上の学部学科および他の大学院、大

学、短期大学、高等専門学校、専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上）または高等学校の専攻科（修業年限2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）に在籍することができない。

（転籍等）

第17条 本学に在学中の者で、学部変更、転科（以下「転籍等」という。）を願い出た者については、その者が希望する学部または学部の学科に欠員があり、かつ、所定の試験に合格したときは、転籍等をさせることができる。

2 転籍等については、第1年次に在学する者に限り、願い出ることができる。ただし、第2年次以上に在学する者であっても、あらためて第2年次への転籍等を願い出るときは、この限りでない。

3 転籍等の試験その他に関しては、別に定める。

（入学手続）

第18条 入学試験（編入学試験、再入学試験および転入学試験を含む。）に合格した者が、所定の期間内に、入学手続きを完了したときは、学長は入学を許可する。

2 正当な理由により、前項の手続きを行うことのできなかった者に対しては、学長は、教授会の議を経て、入学手続きを猶予することができる。

（退学）

第19条 病気その他のやむを得ない理由で退学しようとする者は、所定の手続きを経て、学長の許可を受けなければならない。

（休学）

第20条 病気その他の理由で休学しようとする者は、所定の手続きを経て、学長の許可を受けなければならない。ただし、休学期間は通算して3年を超えることはできない。

2 学長は、前項の願い出があったときは、教授会の議を経て許可するものとする。

3 前項による休学の許可は、休学願い出の時からその年度の終わりまでとする。ただし、特別の事情があるときは、年度を超えて許可することができる。

4 休学期間中の授業料および教育環境充実費は徴収しない。ただし、学期の途中から休学する者に対しては、その学期の授業料および教育環境充実費は全額徴収する。

5 休学期間中の在籍料を徴収する。在籍料については別に定める。

（復学）

第21条 休学期間の途中で休学理由が消滅したときは、所定の手続きをとり、教授会の議を経て、学長の許可を受け、復学することができる。

2 復学者の修学条件は、その者が入学した年度のものを適用する。

3 学期の途中で復学した者に対しては、その学期の授業料および教育環境充実費は全額徴収する。

(欠席)

第22条 病気その他の理由で欠席しようとする者は、所定の手続きにより、届け出なければならない。

(除籍)

第23条 学生が、次の各号のいずれかに該当するときは、除籍する。

- (1) 学費を納入期限を超えても納めないとき
 - (2) 長期にわたって欠席し、または病気その他の理由で成業の見込みのないと認めたとき
 - (3) 在学期間が、第6条第2項に定める期間を超えたとき
 - (4) 死亡したとき
- 2 前項第1号によって除籍された者は、納入期限の翌日から1ヵ月以内に限り、除籍の取り消しを願い出ることができる。ただし、特別の事情により、納入が困難な場合には、願い出によって、さらに1ヵ月の猶予期間を認める。

(退学勧告)

第23条の2 学長は学業不振で成業の見込みがない者に対し、当該学生が所属する学部の教授会の議を経て退学勧告を行うことができる。

- 2 退学勧告は、別に定めるGPA制度の取扱いに関する規程に基づき行う。

(留学および短期語学研修生の取扱い)

第24条 学生が、協定または認定する外国の大学に留学を希望するときは、教授会の議を経て、これを許可することができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学または本学の海外教育施設等に短期語学研修生として学修する場合に準用する。
- 3 第1項の留学および前項の短期語学研修生に関する規程は、別に定める。

第4章 教育課程、履修方法および課程修了の認定

(教育課程)

第25条 学部および学科等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

- 2 各学部の授業科目の分類、名称および単位数は、別に定める。
- 3 授業科目によっては、教授会の議により、年度によって開講しないことがある。

(授業の方法)

第25条の2 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかによりまたはこれらの併用により行うものとする。

- 2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

- 3 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、第1項の授業の一部を、校舎および附属施設以外の場所で行うことができる。
- 4 第2項の授業の方法により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち、60単位を超えないものとする。
(特別な事態における授業実施)

第25条の3 次の各号に定めるいずれかの事態が生じたときは、第2項の定めるところにしたがって授業を実施する。

- (1) 大阪府下のいずれかの地域または兵庫県（阪神地域）に「暴風警報」、「暴風雪警報」、「特別警報（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）」が発令されたとき。
 - (2) 大東市に土砂災害警戒情報レベル4以上が発令されたとき。
 - (3) 西日本旅客鉄道（JR西日本）「片町線」（学研都市線／京橋～松井山手間）の一部または全部が発令から継続して運行を停止しているとき。
 - (4) 大阪市高速電気軌道（Osaka Metro）「中央線」・近畿日本鉄道「けいはんな線」（本町～生駒間）および近畿日本鉄道「奈良線」の2交通機関が同時に発令から継続して運行を停止しているとき。
- 2 授業の実施要領は、次のとおりとする。
- (1) 午前6時30分までに第1項各号の事態が解消されたときは、平常どおり1時限目から授業を行う。ただし、午前6時30分を過ぎても解消されないときは、1時限目から2時限目までの授業を休講とする。
 - (2) 午前10時までに解消されたときは、3時限目から授業を行う。ただし、午前10時を過ぎても解消されないときは、3時限目から5時限目までの授業を休講とする。
 - (3) 午後3時までに解消されたときは、6時限目から授業を行う。ただし、午後3時を過ぎても解消されないときは、6時限目以降の授業を休講とする。
 - (4) 第1項第1号または第2号の警報が授業中に発令された場合、学長は授業を中止して休講とすることができる。
- 3 第1項各号以外に特別の事態が発生するおそれがあるとき、または授業中に発生したとき、学長は授業を中止し休講とすることができる。
- 4 第1項各号に掲げた事態以外の理由で登学できなかったときは、教務課に申し出ること。
- 5 第1項各号、第2項各号および第3項は、試験期間も対象とする。
- 6 第1項各号、第2項各号および第3項に係る事態により休講したときは、学長は授業または定期試験の代替日を設けることができる。

(単位)

第26条 各学部の授業科目に対する単位数は、次の基準に基づき、教授会の議を経て、定めるものとする。

- (1) 講義および演習については、15時間または30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習および製図については、30時間または45時間の授業をもって1単位とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、実験（製図等）を含む科目および演習を含む科目ならびに卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切とみられる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、教授会の議を経て、単位数を定めるものとする。

（履修方法）

第27条 学部の学科は、教育上の区分として、専攻分野別の履修コースを置くことができる。

- 2 専攻分野別の履修コースおよび授業科目の履修方法については、別に定める。

（授業科目修了の認定）

第28条 授業科目修了の認定は試験その他適切な方法による。

- 2 試験の実施に関しては、別に定める。
3 第1項により修了の認定を得た者には、所定の単位を与える。

（成績の評価基準等）

第29条 授業科目の成績の評価は、その授業の方法、内容および計画ならびに成績評価の基準をあらかじめ学生に明示し、当該基準にしたがって行うものとする。

- 2 成績評価については、以下のとおりとする。

点数	評価	
100点～90点以上	S（秀）	合格
90点未満～80点以上	A（優）	
80点未満～70点以上	B（良）	
70点未満～60点以上	C（可）	
60点未満	D（不可）	不合格
成績評価に至らない	*	

（卒業資格）

第30条 卒業資格は、次の各号のいずれかに該当する者について、教授会の議を経て、学部長が認定する。

- (1) 本学に休学期間を除き4年以上（編入学生においては2年以上）在学し、当該学部修学規程の定めによる単位を修得した者
(2) 本学に休学期間を除き3年以上在学し、当該学部修学規程の定めによる単位を修得し、かつ、別に定める基準にしたがって、当該単位を優秀な成績をもって修得したと認められた者
2 学長は、前項により卒業資格を認定された者に対し、卒業証書・学位記を授与する。

（学士の学位授与）

第31条 前条により卒業した者は、次の区分にしたがい学士の学位を授与する。

学士 （国際学）

学士 （体育学）

学士 （経営学）

学士 （経済学）

学士 （工学）

- 2 学位および学位の授与については、本学則のほか、別に定める大阪産業大学学位規程による。

（教職課程）

第32条 教育職員免許状の取得を希望する者のために、教育職員免許法および同法施行規則に基づく教職課程を置く。

- 2 本学において、取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、別表第2のとおりとする。
- 3 前項の免許状を取得するための授業科目の履修方法および取得すべき単位等必要な事項は、別に定める。

（他の大学または短期大学における授業科目の履修等）

第33条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、教授会の議を経て、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 第24条により定める大学において、学生が履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、教授会の議を経て、単位を与えることができる。
- 3 前項により与えることのできる単位数は、第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（大学以外の教育施設等における学修）

第34条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の議を経て、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることのできる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位等の認定）

第35条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修により修得した単位を含む。）を、教授会の議を経て、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の議を経て、単位を与えることができる。

- 3 前2項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、前2条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第5章 学費および学費以外の費用

(学費等)

第36条 学費および学費以外の費用は、別表第3のとおりとする。

- 2 前項にかかわらず、第43条に定める外国人留学生の学費は、別表第4のとおりとする。
- 3 学費および学費以外の費用を一たん納入した後は、一切返還しない。ただし、一般入学試験合格者に限り、入学金以外の納付金は申請により、期限つき返還とする。

(学費の納入)

第37条 学費は、所定の期限までに納入しなければならない。

- 2 学費の納入については、別に定める。

第6章 職員組織、教授会および協議会

(職員組織)

第38条 本学に、学長を置く。学長は、本学を統轄する。

- 2 本学に、副学長を置く。副学長は、別に定める大阪産業大学副学長および学長補佐規程第4条に定める職務を遂行する。
- 3 本学に、教授、准教授、講師、助教および助手を置く。
- 4 本学に、事務職員等を置く。
- 5 本学に、教務助手および技術職員を置く。

(教授会)

第39条 本学に、教授会を置く。

- 2 教授会は、教育研究に関する次の事項を審議する。
 - (1) 学部長、全学教育機構長および協議会協議員ならびに各種委員会委員の選出に関する事項
 - (2) 各学部および全学教育機構（以下「学部」という。）に関する諸規程の制定および改廃に関する事項
 - (3) 学科、専攻の設置、廃止および変更に関する事項
 - (4) 学生の成績評価に関する事項
 - (5) 学生の厚生および補導に関する事項
 - (6) 学生の賞罰に関する事項
 - (7) 教育および研究に関する事項
 - (8) 学部の事業計画および予算申請に関する事項
 - (9) 学科目の種類および編成に関する事項

- (10) 学生の入学、退学、休学、復学、転部および卒業その他学生の身分に関する事項
 - (11) 学位の授与に関する事項
 - (12) 教育職員の人事に関する事項
 - (13) 学長より諮問された事項
 - (14) その他、学部の運営上重要な事項
- 3 教授会は第2項9号から第13号の事項について、審議を経て学長に意見を述べるものとする。
- 4 教授会の構成員は、別に定める大阪産業大学教授会規程による。

(協議会)

第40条 本学に、協議会を置く。

- 2 協議会は、教育研究に関する次の事項を審議する。
- (1) 学則および学内諸規程の制定、改廃に関する事項
 - (2) 学部、学科の設置、廃止および変更に関する事項
 - (3) 主要な施設の設置、廃止および変更に関する事項
 - (4) 教育職員の人事に関する各学部共通の事項
 - (5) 教学に関する各学部共通の事項
 - (6) 学生の厚生補導および賞罰に関する事項
 - (7) 予算の編成執行の基本方針に関する事項
 - (8) 学長より審議要請された事項
 - (9) その他、本学の運営上重要な事項
- 3 協議会の構成員は、別に定める大阪産業大学協議会規程による。

第7章 科目等履修生および研究生

(科目等履修生)

第41条 本学の特定の授業科目について科目等履修を志願する者があるときは、本学学生の修学に妨げのない限り、選考のうえ、教授会の議を経て、これを許可することができる。

- 2 科目等履修生を志願できる者は、高等学校を卒業した者またはそれと同等以上の学力を有すると認められた者とする。
- 3 科目等履修生が履修した授業科目の試験を受け合格した場合には、単位を与える。
- 4 科目等履修に要する費用等は、別表第3のとおりとする。
- 5 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

(研究生)

第42条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、教授会の議を経て研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者および卒業見込の者またはそれらと同等以上の学力を有すると認められた者とする。
- 3 研究期間は、6ヵ月または1ヵ年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。
- 4 研究料は、別表第3のとおりとする。
- 5 研究生に関する規程は、別に定める。

第8章 外国人留学生

(外国人留学生)

第43条 外国人であって、第12条各号および第13条各号のいずれかに該当するものが入学を志願したときは、選考のうえ、外国人留学生として入学させることができる。

- 2 外国人留学生は、学則、外国人留学生規程およびその他の規程を適用する。

(短期外国人留学生)

第44条 前条第1項の定めにかかわらず、海外の大学との協定に基づき、当該大学の学生について所定の期間に限り受け入れを要請された場合は、または、海外の大学に在籍する学生が本学への留学を志願し、在籍大学から推薦を受けた場合は、原則として1年以内の期間に限り、学長は短期外国人留学生として受け入れを許可することができる。

- 2 短期外国人留学生の受け入れに関する規程は、別に定める。

第9章 付置施設および厚生施設

(付置施設)

第45条 本学に、次の付置施設を置く。

- (1) 総合図書館
- (2) 産業研究所

- 2 前項の付置施設の運営については、別に定める。

(福利厚生施設)

第46条 本学に、次の福利厚生施設を置く。

- (1) セミナーハウス
- (2) 医務室
- (3) 食堂
- (4) その他

- 2 前項の諸施設の運営については、別に定める。

第10章 賞罰

(表彰)

第47条 学生で、他の学生の模範となる者、または本学の名誉を高めた者は、教授会の議を経て、

学長が表彰する。

(懲戒)

第48条 本学の学則その他諸規程に違反し、または本学の体面を汚し、あるいは学校教育法施行規則第26条の規定に該当する者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 懲戒は、訓告、停学および退学とする。
- 3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。
 - (1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第11章 雑則

(学生生活)

第49条 本学の学生として、学生生活を送るうえに必要な規則は、別に定める。

(学生部委員会)

第50条 学生に対する助言および補導のため、学生部委員会を置く。

- 2 学生部委員会に関しては、別に定める。

(規程の適用)

第51条 本学則および付属諸規程は、別に定めあるとき、または教授会の決定により特に指示したものを除き、入学から卒業までは、その者の入学時の規程を適用する。

- 2 編入学者、再入学者および転籍等をした者については、それぞれ入学または転籍等を許可された学部または学部の学科のその年次の者と同一に取り扱う。ただし、転籍等を許可された者が、すでに納めた入学金が新たに許可された学部または学部の学科の入学金より少ないときは、第17条第2項ただし書きの者を除き、その差額を追徴する。

第52条 この学則および本学が定めるその他諸規則（以下「本約款」という。）を、民法第3編第2章第1節第5款で定める定型約款とみなす。

- 2 本約款は、民法第548条の4の規定により、変更することがある。
- 3 前項の規定により本約款を変更する場合には、本約款を変更する旨および変更後の本約款の内容ならびにその効力発生時期を本学公式サイトに記載し、インターネットによる公表の方法により周知する。

附 則

(施行期日)

この学則は、昭和40年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

（経過措置）工学部土木工学科名称変更に伴う経過措置

工学部土木工学科は、改正後の学則第2条にかかわらず、当該学科の在学生在が卒業するまでの間、存続するものとし、土木工学科は、平成16年4月1日から学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。

附 則

（施行期日）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

（経過措置）工学部機械工学科夜間主コースおよび同交通機械工学科夜間主コースの学生募集停止に伴う経過措置

工学部機械工学科および同交通機械工学科のコース制は、平成17年4月1日から廃止する。ただし、工学部機械工学科昼間コース・夜間主コースおよび同交通機械工学科昼間コース・夜間主コースは、改正後の学則第2条にかかわらず、当該学科の在学生在が卒業するまでの間、存続するものとし、機械工学科夜間主コースおよび同交通機械工学科夜間主コースは、平成17年4月1日から学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。

附 則

（施行期日）

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

（経過措置）工学部電気電子工学科名称変更に伴う経過措置

工学部電気電子工学科は、改正後の学則第2条にかかわらず、当該学科の在学生在が卒業するまでの間、存続するものとし、電気電子工学科は、平成18年4月1日から学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。

附 則

（施行期日）

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

（経過措置）工学部環境デザイン学科名称変更に伴う経過措置

工学部環境デザイン学科は、改正後の学則第2条にかかわらず、当該学科の在学生在が卒業するまでの間、存続するものとし、環境デザイン学科は、平成20年4月1日から学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。

（経過措置）人間環境学部文化環境学科および都市環境学科名称変更に伴う経過措置

人間環境学部文化環境学科および都市環境学科は、改正後の学則第2条にかかわらず、当該学科の在学生在が卒業するまでの間、存続するものとし、文化環境学科および都市環境学科は、平成20年4月1日から学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。

附 則

（施行期日）

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

（経過措置）経営学部流通学科名称変更に伴う経過措置

経営学部流通学科は、改正後の学則第2条にかかわらず、当該学科の在学生在が卒業するまでの間、存続するものとし、流通学科は、平成23年4月1日から学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。

附 則

（施行期日）

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）工学部情報システム工学科および建築・環境デザイン学科の学生募集停止に伴う経過措置

工学部情報システム工学科および建築・環境デザイン学科は、改正後の学則第2条にかかわらず、当該学科の在学生在が卒業するまでの間、存続するものとし、情報システム工学科および建築・環境デザイン学科は、平成24年4月1日から学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。

附 則

（施行期日）

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

（経過措置）人間環境学部文化コミュニケーション学科、生活環境学科およびスポーツ健康学科の学生募集停止に伴う経過措置

人間環境学部文化コミュニケーション学科、生活環境学科およびスポーツ健康学科は、改正後の学則第2条にかかわらず、当該学科の在学生在が卒業するまでの間、存続するものとし、文化コミュニケーション学科、生活環境学科およびスポーツ健康学科は、平成29年4月1日から学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。

附 則 （令和3年3月19日）

（施行期日）

この学則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、第52条については、現に在学する学生にも適用する。

附 則 （令和4年10月12日）

（施行期日）

この学則は、令和5年4月1日から施行する。ただし、別表第3および第4については、現に在学する学生にも適用する。

附 則 （令和5年2月24日）

（施行期日）

この学則は、令和5年4月1日から施行する。ただし、第52条、別表第3および第4については、現に在学する学生にも適用する。

（経過措置）工学部電子情報通信工学科名称変更に伴う経過措置

工学部電子情報通信工学科は、改正後の学則第2条にかかわらず、当該学科の在学生在が卒業するまでの間、存続するものとし、電子情報通信工学科は、令和5年4月1日から学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。

附 則（令和5年4月21日）

（施行期日）

この学則は、令和6年4月1日から施行する。ただし、第52条、別表第3および第4については、現に在学する学生にも適用する。

附 則（令和5年12月20日）

（施行期日）

この学則は、令和6年4月1日から施行する。ただし、第52条、別表第3および第4については、現に在学する学生にも適用する。

附 則（令和5年●月●日）

（施行期日）

この学則は、令和7年4月1日から施行する。ただし、第52条、別表第3および第4については、現に在学する学生にも適用する。

（経過措置）デザイン工学部情報システム学科、建築・環境デザイン学科、環境理工学科、工学部機械工学科、交通機械工学科、都市創造工学科、電気電子情報工学科における学生募集停止に伴う経過措置

デザイン工学部情報システム学科、建築・環境デザイン学科、環境理工学科、工学部機械工学科、交通機械工学科、都市創造工学科、電気電子情報工学科は、改正後の学則第2条にかかわらず、当該学科の在学生在が卒業するまでの間、存続するものとする。また、デザイン工学部情報システム学科、建築・環境デザイン学科、環境理工学科、工学部機械工学科、交通機械工学科、都市創造工学科、電気電子情報工学科は、令和7年4月1日から学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止する。

別表第1 入学定員、3年次編入学定員および収容定員（大阪産業大学学則）

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
国際学部	国際学科	105名	2名	424名
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	185名	2名	744名
経営学部	経営学科	300名	5名	1,210名
	商学科	200名	5名	810名

経済学部	経済学科	250名	5名	1,010名
	国際経済学科	250名	5名	1,010名
情報デザイン学部	情報システム学科	130名	3名	526名
建築・環境デザイン学部	建築・環境デザイン学科	165名	3名	666名
システム工学部	システム工学科	240名	8名	976名
計		1,825名	38名	7,376名

別表第2 教育職員免許状の種類および免許教科（大阪産業大学学則）

学部	学科	免許状の種類	免許教科
国際学部	国際学科	中学校教諭一種免許状	英語
		高等学校教諭一種免許状	
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	中学校教諭一種免許状	保健体育
		高等学校教諭一種免許状	
経営学部	経営学科	高等学校教諭一種免許状	商業
	商学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	公民
経済学部	経済学科	高等学校教諭一種免許状	商業
		中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史
情報デザイン学部	情報システム学科	高等学校教諭一種免許状	公民
		中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	情報
建築・環境デザイン学部	建築・環境デザイン学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	
		高等学校教諭一種免許状	工業
システム工学部	システム工学科	中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	技術
		高等学校教諭一種免許状	数学
			情報
			工業

別表第3（大阪産業大学学則）

1 学費

(1) 入学金

(単位 円)

学部等 項目	国際学部 国際学科	スポーツ健康学部 スポーツ健康学科	経営学部 経営学科 商学科	経済学部 経済学科 国際経済学科	情報デザイン学部 情報システム学科	建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学科	システム工学部 システム工学科
入学金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
再入学金							10,000

(注) 人間環境学部への再入学および編入学の場合も上記の金額を適用する。

(2) 授業料

【平成27年度以前入学者】

(単位 円)

学部等 項目	人間環境学部		経営学部	経済学部	デザイン工学部	工学部
	文化コミュニケーション学科 生活環境学科	スポーツ健康学科	経営学科 商学科	経済学科 国際経済学科	情報システム学科 建築・環境デザイン学科	機械工学科 交通機械工学科 都市創造工学科 電子情報通信工学科
年額	753,000	889,000	741,000	741,000	1,026,000	1,026,000

【平成28年度入学者】

(単位 円)

学部等 項目	人間環境学部		経営学部	経済学部	デザイン工学部	工学部
	文化コミュニケーション学科 生活環境学科	スポーツ健康学科	経営学科 商学科	経済学科 国際経済学科	情報システム学科 建築・環境デザイン学科	機械工学科 交通機械工学科 都市創造工学科 電子情報通信工学科
年額	735,000	866,000	722,000	722,000	997,000	997,000

【平成29年度～令和4年度入学者】

(単位 円)

学部等 項目	国際学部 国際学科	スポーツ健康学部 スポーツ健康学科	経営学部 経営学科 商学科	経済学部 経済学科 国際経済学科	デザイン工学部 情報システム学科 建築・環境デザイン学科 環境理工学科	工学部 機械工学科 交通機械工学科 都市創造工学科 電子情報通信工学科
年額	793,000	905,000	793,000	793,000	1,062,000	1,062,000

【令和5年度～令和6年度入学者】

(単位 円)

学部等 項目	国際学部 国際学科	スポーツ健康学部 スポーツ健康学科	経営学部 経営学科 商学科	経済学部 経済学科 国際経済学科	デザイン工学部 情報システム学科 建築・環境デザイン学科 環境理工学科	工学部 機械工学科 交通機械工学科 都市創造工学科 電気電子情報工学科
年額	793,000	905,000	793,000	793,000	1,062,000	1,062,000

【令和7年度以降入学者】

(単位 円)

学部等 項目	国際学部 国際学科	スポーツ健康学部 スポーツ健康学科	経営学部 経営学科 商学科	経済学部 経済学科 国際経済学科	情報デザイン学部 情報システム学科	建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学科	システム工学部 システム工学科
年額	793,000	905,000	793,000	793,000	1,062,000	1,062,000	1,062,000

(3) 教育環境充実費

【平成27年度以前入学者】

(単位 円)

学部等 項目	人間環境学部		経営学部 経営学科 商学科	経済学部 経済学科 国際経済学科	デザイン工学部 情報システム学科 建築・環境デザイン学科	工学部 機械工学科 交通機械工学科 都市創造工学科 電子情報通信工学科
	文化コミュニケーション学科 生活環境学科	スポーツ健康学科				

年額	200,000	272,000	190,000	190,000	328,000	328,000
----	---------	---------	---------	---------	---------	---------

【平成28年度入学者】

(単位 円)

項目	学部等	人間環境学部		経営学部	経済学部	デザイン工学部	工学部
		文化コミュニケーション学科	スポーツ健康学科	経営学科 商学科	経済学科 国際経済学科	情報システム学科 建築・環境デザイン学科	機械工学科 交通機械工学科 都市創造工学科 電子情報通信工学科
年額	入学年度	196,000	266,000	186,000	186,000	320,000	320,000

【平成29年度～令和4年度入学者】

(単位 円)

項目	学部等	国際学部	スポーツ健康学部	経営学部	経済学部	デザイン工学部	工学部
		国際学科	健康学部 スポーツ健康学科	経営学科 商学科	経済学科 国際経済学科	情報システム学科 建築・環境デザイン学科 環境理工学科	機械工学科 交通機械工学科 都市創造工学科 電子情報通信工学科
年額	入学年度	53,000	78,000	41,000	41,000	130,000	130,000
	2年目以降	275,000	332,000	260,000	260,000	392,000	392,000

【令和5年度～令和6年度入学者】

(単位 円)

項目	学部等	国際学部	スポーツ健康学部	経営学部	経済学部	デザイン工学部	工学部
		国際学科	健康学部 スポーツ健康学科	経営学科 商学科	経済学科 国際経済学科	情報システム学科 建築・環境デザイン学科 環境理工学科	機械工学科 交通機械工学科 都市創造工学科 電気電子情報工学科
年額	入学年度	53,000	78,000	41,000	41,000	130,000	130,000
	2年目以降	275,000	332,000	260,000	260,000	392,000	392,000

降							
---	--	--	--	--	--	--	--

【令和7年度以降入学者】

(単位 円)

項目	学部等	国際学部 国際学科	スポーツ 健康学部 スポーツ 健康学科	経営学部 経営学科 商学科	経済学部 経済学科 国際経済 学科	情報デザイン 学部 情報システム 学科	建築・環境デ ザイン学部 建築・環境デ ザイン学科	システム工学部 システム工学科
	年額	入学 年度	2年 目以 降	2年 目以 降	2年 目以 降	2年 目以 降	2年 目以 降	2年 目以 降
	入学 年度	53,000	78,000	41,000	41,000	130,000	130,000	130,000
	2年 目以 降	275,000	332,000	260,000	260,000	392,000	392,000	392,000

2年次以降の授業料等は、前々年度の消費者物価指数の平均上昇率等を勘案して、スライド制を実施する為、変動する場合がある

(注) ①上記授業料・教育環境充実費は全学生に適用する。ただし、在学年数が4年を超える学生（外国人留学生授業料減免措置を受ける者を除く。）および2年を超える編入学生（外国人留学生授業料減免措置を受ける者を除く。）の授業料・教育環境充実費は、その半額を減免する。

(注) ②前項ただし書きの適用にあたり、第2年次以上に在籍する者があらためて第2年次へ転籍等をする場合は、4年を超えるという条件に拘らず、転籍等後の所属学部・学科において修業年限を越えた時点から適用する。

(4) 科目等履修料および研究料

(単位 円)

項目		金額
科目等履修料	1単位	10,000

(単位 円)

項目		金額
研究料	人間環境学部	6カ月
	国際学部	1カ年
	スポーツ健康学部	
	経営学部 経済学部	
		150,000
		300,000

	情報デザイン学部 建築・環境デザイン学部	6カ月	200,000
	システム工学部	1カ年	400,000

(5) 在籍料

(単位 円)

項目		金額
在籍料	年額	120,000

※在籍料は平成31年度入学者より適用する。

2 学費以外の費用

(1) 検定料

(単位 円)

項目	金額
入学検定料	35,000
入学検定料 (WEB出願)	30,000
大学入学共通テスト利用入試 入学検定料 (2出願まで)	10,000
日本留学試験利用入試 入学検定料 (4出願まで)	30,000
日本留学試験利用指定校推薦入試 入学検定料	10,000
併願の入学検定料 (公募推薦入試・一般入試・大学入学共通テスト プラス方式入試)	3,000
大学入学共通テスト利用入試 入学検定料 3出願目以降の併願 (1併願ごと)	5,000
研究生検定料	30,000
科目等履修生検定料	15,000

別表第4 (大阪産業大学学則)

外国人留学生学費

(1) 入学金

(単位 円)

学部等 項目	国際学部 国際学科	スポーツ 健康学部 スポーツ 健康学科	経営学部 経営学科 商学科	経済学部 経済学科 国際経済学 科	情報デザイン 学部 情報システム 学科	建築・環境デ ザイン学部 建築・環境デ ザイン学科	システム工学 部 システム工学 科
入学金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
再入学金							10,000

(注) 人間環境学部への再入学および編入学の場合も上記の金額を適用する。

(2) 授業料

【平成26年度以前入学者】

(単位 円)

学部等 項目	人間環境学部		経営学部	経済学部	デザイン工学部	工学部
	文化コミュ ニケーショ ン学科 生活環境学 科	スポーツ健 康学科	経営学科 商学科	経済学科 国際経済学科	情報システム学科 建築・環境デザイ ン学科	機械工学科 交通機械工学科 都市創造工学科 電子情報通信工 学科
年額	951,000	1,159,000	929,000	929,000	1,351,000	1,351,000

【平成27年度以降入学者】

別表第3と同額とする。

(3) 教育環境充実費

別表第3と同額とする。

2年次以降の授業料等は、前々年度の消費者物価指数の平均上昇率等を勘案して、スライド制を実施する為、変動する場合がある

(注) 上記授業料・教育環境充実費は全外国人留学生に適用する。ただし、在学年数が4年を超える外国人留学生（外国人留学生授業料減免措置を受ける者を除く。）の授業料・教育環境充実費は、その半額を減免する。

(4) 科目等履修料および研究料

別表第3と同額とする。

(5) 在籍料

別表第3と同額とし、平成31年度入学者より適用する。

○大阪産業大学情報デザイン学部修学規程（案）

第1章 総則

（趣旨）

第1条 大阪産業大学学則（以下「学則」という。）第25条、第27条、第28条、第29条および第30条に基づく情報デザイン学部学生の授業科目の履修その他に関しては、別に定めあるものを除き、この規程の定めるところによる。

（入学種別と教育課程）

第2条 教育課程は、次のとおりとする。

2 学則第13条に定める編入学生については、以下の入学区分にしたがって教育課程を定める。

- (1) 学則第13条第2項の第3および7号を除く各号のいずれかに該当し、かつ、当該学科が定める学力基準を満たしていると認めた者（区分イと称する。）。
 - (2) 学則第13条第2項第3および7号のいずれかに該当する者、かつ、当該学科が定める学力基準を満たしていると認めた者（区分ロと称する。）。

（授業科目の分類）

第3条 学生が履修する科目を分けて、フィールド教育科目、総合教育科目および専門教育科目とする。

（科目修得の条件）

第4条 授業科目のうち特定のものを必修科目とし、その他を選択必修科目と選択科目とする。必修科目のすべての単位と選択必修の規定単位を、修得しなければ卒業できない。

- 2 通年科目を、都合により、前期または後期にまとめて授業した場合は、本規程第15条第3項ただし書きによるほか履修期間および成績の取扱いその他は、通年科目と同様に取り扱う。
- 3 学部または学科が指定する科目について、年度初めに実施するプレイスメントテストを受けなければならない。

（卒業研究）

第5条 最終学年において、卒業研究の審査に合格しなければならない。

- 2 卒業研究をさらに半年間継続の必要があると判定された者は、次年度の前期末あるいは学年末に再審査を受けることができる。

第2章 履修申請

（履修申請）

第6条 履修申請は、年度ごとに履修する科目を定めて、教務課に届出なければならない。ただし、予め定められた科目を除き、後期に履修申請の修正をすることができる。なお、履修申請をしていない科目を受講、または受験することはできない。

- 2 履修申請は、次の各号の定めにしたがって行うものとする。

- (1) 履修申請期間は、予め告示する。
- (2) 同一時限に2科目以上の履修申請をしても受理しない。
- (3) 履修申請は、復学の場合を除き、申請期間経過後は原則として受理しない。また、申請期間経過後は、申請内容の変更を原則として認めない。

- (4) 前各号の規定にかかわらず、履修人員に制限のある授業科目については、その制限人員に達した場合は、第1号の期間中であっても履修申請の受付け、変更または追加は認めない。

(不合格科目の履修)

第7条 履修した科目が不合格となり、なお単位を修得しようとする者は、あらためて次年度以降に履修申請し、再履修しなければならない。

(合格科目の履修)

第8条 すでに単位を修得した科目については、再び履修することはできない。

(単位授与の条件)

第9条 前3条の規定に違反した者には、単位を与えない。

第3章 履修制限

(履修可能単位数)

第10条 1年間に履修できる単位数は、次のとおりとする。

- (1) 48単位とする。編入生についても同様とする。
- (2) 前号の定めにかかわらず、次の科目を履修制限から除く。
 - イ 教員免許取得に係る「教科及び教科の指導法に関する科目」に規定する科目のうち「情報と職業」および「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」に規定する科目
 - ロ 教員免許取得に係る「教育の基礎的理解に関する科目等」および「大学が独自に設定する科目」に規定する科目。ただし、「生涯学習論」および「人権教育」の2科目は履修制限に含む。
 - ハ 学則第33条および第34条に基づき、本学における授業科目の履修とみなした科目

(卒業研究履修条件および卒業見込証明書)

第11条 卒業研究を履修するためには、次の条件をみたさなければならない。

- (1) 卒業研究の履修条件は、本規程第12条による卒業のための卒業資格最低単位数124単位のうち、PBL科目10単位以上を含む100単位以上を修得していること。
 - (2) 編入学生で本規程第2条第2項第1号に定める区分「イ」の者は、卒業資格最低単位数62単位のうち32単位以上を修得していること。
 - (3) 本規程第2条第2項第2号に定める区分「ロ」の者は、卒業資格最低単位数74単位のうち38単位以上を修得していること。
- 2 卒業見込証明書は、4年次において卒業研究の履修資格を有する者または既修得者に対して発行する。

第4章 卒業要件

(卒業要件)

第12条 学則第30条に基づき、本規程別表第1の授業科目表および次に定めるところにしたがって、単位を修得することを卒業要件とする。

- (1) 在学中に124単位を修得しなければならない。
- (2) フィールド教育科目は、必修、選択を合わせて10単位とする。10単位を超えて修得した単位は、専門教育科目の選択科目として取り扱う。

- (3) 総合教育科目は、教養教育科目分野、言語文化科目分野の英語より4単位以上および身体科学科目分野を合わせて、20単位以上とする。なお、留学生は、教養教育科目分野の留学生向け科目より8単位、言語文化科目分野の日本語より8単位および身体科学科目分野を合わせて20単位以上とし、英語の単位を修得しなくてもよい。
- (4) 専門教育科目は、必修、選択必修および選択を合わせて、94単位以上とする。
- (5) 他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究を除き、30単位まで履修することができ、そのうち4単位までを当該学科の専門教育科目の選択科目として組み入れることができる（これを自由科目と称する。）。

フィールド教育科目			必修 2 単位	10 単位以上	124 単位	学士（工学）
総合教育科目	教養教育科目	人文科学	要件なし	20 単位以上		
		社会科学	要件なし			
		自然科学	要件なし			
		学際領域	要件なし			
		日本文化	（留学生に限る）8 単位			
		人間教育	要件なし			
	言語文化科目	英語	（留学生を除く）4 単位以上			
		初修外国語	要件なし			
		日本語	（留学生に限る）8 単位			
身体科学科目		要件なし				
専門教育科目	基礎科目		A 群 4 単位以上 B 群 4 単位以上	94 単位以上 （自由科目 4 単位を含む）		
	専門科目	システム系科目	選択必修科目 4 単位以上			
		メディア系科目	選択必修科目 4 単位以上			
		PBL 科目	14 単位以上（必修 2 単位）			
	キャリア関連科目		要件なし			
	卒業研究		必修 6 単位			
4 年以上在学						

(注)

- イ 1 年次配当の英語については、プレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて習熟度別にクラスを分ける。ただし、英語の 2 年次および 3 年次配当科目については、この限りではない。
- ロ 初修外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することができる。ただし、各言語は必ず「入門 1」から履修しなければならない。
- ハ 留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。
- ニ 「基礎数学および演習」「代数学 1」「解析学 1」「数学演習 1」は、プレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて、習熟度別にクラスを分ける。なお、プレイスメントテストの点数が、基準に満たない者は、「基礎数学および演習」を必ず履修しなければならない。
- ホ 「基礎数学および演習」を履修しなければならない者は、1 年次後期に「代数学

1」、「解析学1」および「数学演習1」を履修することができるものとし、「代数学2」、「解析学2」および「数学演習2」は2年次後期に履修することができる。

2 編入学生の卒業要件等は、次のとおりとする。

(1) 本規程第2条第2項第1号に定める入学区分「イ」の者

- イ 在学中に 62 単位を修得しなければならない。
- ロ 専門教育科目は、必修、選択必修および選択を合わせて、62 単位以上とする。
- ハ 専門教育科目の他、フィールド教育科目、総合教育科目の「データサイエンスの基礎」を卒業要件単位として認め、修得した単位は、専門教育科目の選択科目として取り扱う。
- ニ 他学部専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究を除き、30 単位まで履修することができ、そのうち4 単位までを当該学科の専門教育科目の選択科目として組み入れることができる（これを自由科目と称する。）。

フィールド教育科目		要件なし	62 単位	学士（工学）
総合教育科目 「データサイエンスの基礎」		要件なし		
専門教育科目	必修科目	8 単位		
	選択必修科目	4 単位以上		
	選択科目	(自由科目 4 単位を含む) 50 単位以上		
2 年 以 上 在 学				

(2) 本規程第2条第2項第2号に定める区分「ロ」の者

- イ 在学中に 74 単位を修得しなければならない。
- ロ 専門教育科目は、必修、選択必修および選択を合わせて、62 単位以上とする。
- ハ 専門教育科目の他、フィールド教育科目および総合教育科目を卒業要件単位として認め、フィールド教育科目より修得した単位は、専門教育科目の選択科目として取り扱う。
- ニ 他学部専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究を除き、30 単位まで履修することができ、そのうち4 単位までを当該学科の専門教育科目の選択科目として組み入れることができる（これを自由科目と称する。）。

フィールド教育科目		要件なし	74 単位	学士（工学）
総合教育科目		要件なし		
専門教育科目	必修科目	8 単位		
	選択必修科目	4 単位以上		
	選択科目	(自由科目 4 単位を含む) 50 単位以上		
2 年 以 上 在 学				

(注)

- イ 初修外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することができる。ただし、各言語は必ず「入門1」から履修しなければならない。
- ロ 留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。

第5章 教育職員免許状取得に必要な科目の履修

(履修の必要な科目)

第13条 中学校および高等学校の教育職員免許状を取得しようとする者は、卒業に必要な単位のほかに、教育職員免許法・同施行規則に定める必要な単位を修得するために、本規程別表第1の2に掲げる「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」および「大学が独自に設定する科目」に定める単位を修得しなければならない。さらに、中学校の教育職員免許状を取得しようとする者は、7日間の「介護等体験」を行わなければならない。

(教育実習等の履修)

第14条 教育実習科目および教職実践演習の履修は、次に掲げる各号の規定によるものとする。

- (1) 「教育実習事前指導」を履修するためには、前年度終了時点において、総修得単位数（卒業要件外教職科目を含む。）が、原則として90単位以上、かつ、前年度終了時点における累積GPAが2.000以上でなければならない。ただし、編入学生は、この限りでない。
- (2) 「教育実習1」および「教育実習2」を履修するためには、原則として、次の全ての要件を満たさなければならない。ただし、編入学生は、この限りでない。なお、教育実習に関する詳細は別に定める。
 - イ 当該年度に卒業見込みであること。
 - ロ 「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」ならびに、「教育の基礎的理解に関する科目等」について配当された必修科目の単位をすべて修得し終えていること。
 - ハ 当該年度に教育職員免許状を取得するために必要なすべての単位を修得できる見込みであること。
 - ニ 前年度終了時点における累積GPAが2.000以上であること。
- (3) 「教職実践演習（中・高）」の履修者は、原則として、教育職員免許状を取得するために必要なすべての単位のうち、4年次前期までに配当された科目の単位をすべて修得し終えていなければならない。
- (4) 「教職実践演習（中・高）」を履修するためには、原則として、教育職員免許状を取得するために必要なすべての単位のうち、4年次前期までに配当された科目の単位をすべて修得し終えていなければならない。

第6章 試験

(試験)

第15条 定期試験は、前期試験と後期・学年末試験に分ける。

- 2 前期試験は、前期のみで終わる授業科目について前期末に行う。ただし、通年の授業科目についても、中間試験として行うことができる。
- 3 後期・学年末試験は、通年授業科目および後期のみで終わる授業科目について学年末に行う。ただし、通年の授業科目であって、前期に集中して授業したときは、前期試験の際、試験を行うが、追試験の実施を除き、成績の発表については学年末において処理する。

(追試験)

第16条 正当な理由によって受験できなかった者に対しては、教授会の議を経て、追試験を行う。

- 2 追試験を受験しようとする者は、指定の期間に、追試験受験願（様式第9号）を、所定の手数料と病気その他で受験できなかったことを証明する書類とともに教務課経由で学長に提出する。ただし、受験できなかった理由が就職試験、公共交通機関の遅延・運行休止または裁判員制度に基づく裁判員としての任務遂行の場合は、手数料を徴収しない。
- 3 学長は、前項の受験願を受理したときは、受験を許可するかどうかを教授会の議を経て、本人に通知する。
- 4 追試験の受験を許可された者には、受験票を交付し、不許可になった者には、提出した書類および手数料を返戻する。
- 5 追試験の期日は、教授会において定める。
- 6 中間試験として行った試験についての追試験は行わない。
- 7 追試験の成績は、90点満点とする。

（試験における注意義務）

第17条 単位認定に係わる試験（以下「試験」という。）を受験しようとする者は、試験場において、次の各号に定める事項（以下「注意義務」という。）を守らなければならない。

- (1) 試験場においては、監督者の指示にしたがわなければならない。
- (2) 試験開始後30分以上遅刻した者は試験場に入ることができない。
- (3) 受験の際は、学生証を机上に置かなければならない。学生証を所持しない者は受験することができない。
- (4) 答案用紙には、学籍番号および氏名をペンまたはボールペンで明記し、監督者に学生証との照合を受けなければならない。
- (5) 特に許可されたものを除き、すべて携帯品は、監督者が指定する場所に置かなければならない。
- (6) 配布を受けた答案用紙およびその他の用紙類はすべて、監督者が指定する場所に提出し、試験場外に持ち出してはならない。

（試験における不正行為）

第18条 試験に際して、次の各号のいずれかの行為を行った者は、不正行為者とみなし、学生証および答案を取り上げて退場を命じる。

- (1) 前条の注意義務に抵触する行為
 - (2) 許可されたもの以外を見ること
 - (3) 他人の不正行為を助けること
 - (4) 不正行為を目的とするものを保持すること
 - (5) 不正行為に係わる物的証拠を故意に隠蔽すること
 - (6) その他不正行為とみなされること
- 2 不正行為を行った者に対しては、次の各号にしたがって処分を行う。
- (1) 前項1号の不正行為を行った者は、当該科目の試験を無効とする。
 - (2) 前項2号から6号の不正行為を行った者は、当該試験期間中の試験を無効とする。
 - (3) 不正行為を繰り返すなど特に悪質な者に対しては、学則第48条に基づいて懲戒処分とする。

附 則

（施行期日）

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

別表第1 授業科目表および単位数

1 情報システム学科

(1) フィールド教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区 分	科 目	単 位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考
				1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
フ ィ ー ル ド 教 育 科 目	フィールドプラクティス	2	10 以 上	4								全 員 履 修 科 目
	入門ゼミナール	②		2								
	情報と数学	2		2								
	コンピュータの仕組み	2		2								
	デザインと設計	2			2							
	色彩と構図	2				2						
	情報社会と倫理	2			2							
	情報セキュリティ	2			2							
	データ表現	2			2							
	表現技術	2					2					
	小 計	20	10 以 上	10	8	2	2	0	0	0	0	

(2) 総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分		科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備考			
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次					
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
総合教育科目	教養教育科目	人文科学	文学	2	20 以上		2								(集 中)	
			哲学	2			2									
			論理学	2			2									
			地理学	2		2										
			社会思想史	2			2									
		社会科学	日本国憲法	2		2										
			現代の政治	2			2									
			経済学	2			2									
			近代史	2			2									
			心理学	2		2										
		自然科学	物質科学	2			2									
			宇宙科学	2			2									
			環境科学	2		2										
			生命科学	2		2										
			現代数学入門	2			2									
		学際領域	データサイエンスの基礎	2		2										
			平和学	2		2	(2)									
			文章表現演習	2		2										
			時事問題	2			2									
	外国の社会と文化		2	2												
	日本文化	倫理学	2	2												
		科学技術史	2			2										
		日本事情 1	②	2								留学生向け科目				
		日本事情 2	②			2						留学生向け科目				
	教人育間	日本の社会と文化 1	②	2								留学生向け科目				
		日本の社会と文化 2	②			2						留学生向け科目				
	言語文化科目	生涯学習論	生涯学習論	2				2						教職課程科目		
			人権教育	2					2					教職課程科目		
		英語	英語(Listening&Speaking) 1	1		2										
			英語(Listening&Speaking) 2	1			2									
			英語(Listening&Speaking) 3	1				2								
			英語(Listening&Speaking) 4	1					2							
			TOEIC上級(Listening) 1	1				2								
			TOEIC上級(Listening) 2	1					2							
			英語(Reading&Writing) 1	1		2										
			英語(Reading&Writing) 2	1			2									
			英語(Reading&Writing) 3	1				2								
			英語(Reading&Writing) 4	1					2							
			TOEIC上級(Reading) 1	1				2								
			TOEIC上級(Reading) 2	1					2							
			英語総合(上級) 1	1						2						
			英語総合(上級) 2	1							2					
			英語海外研修	2				2	2							
			初修外国語	初修外国語入門 1		1	2									
				初修外国語入門 2		1		2								
				初修外国語初級 1		1			2							
		初修外国語初級 2		1					2							
		日本語		日本語読解 1		①	2									留学生向け科目
				日本語読解2		①		2								留学生向け科目
			日本語作文 1	①		2								留学生向け科目		
			日本語作文2	①			2							留学生向け科目		
			上級日本語読解 1	①				2						留学生向け科目		
			上級日本語読解2	①					2					留学生向け科目		
			上級日本語作文 1	①				2						留学生向け科目		
			上級日本語作文2	①					2					留学生向け科目		
		科身体目	スポーツ科学実習	1		2										
	運動科学		2			2										
	小計			87		20以上	36	40	18	18	2	2	0	0		

注) 総合教育科目の履修要件

イ 1年次配当の英語については、プレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて習熟度別にクラスを分ける。

ただし、英語の2年次及び3年次配当科目については、この限りではない。

ロ 英語は「4単位以上」必修であるが、この規定は留学生には適用しない。

ハ 初修外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することができる。

ただし、各言語は必ず「入門1」から履修しなければならない。

ニ 留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備考
				1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専 門 教 育 科 目	P B L 科 目 専 門 科 目	プログラミング1	2	(必 修 8 ・ 選 必 28 以 上 ・ 選 択 58 以 上 ・ 合 計 94 以 上)	2							全員履修科目
		プログラミング2	2			2						全員履修科目
		デジタルコンテンツ演習	1		2							全員履修科目
		ネットワークアプリケーション演習	1			2						全員履修科目
		プログラミング演習1	2				4					全員履修科目
		プログラミング演習2	2					4				全員履修科目
		データサイエンスの応用1	2				2					全員履修科目
		データサイエンスの応用2	2					2				全員履修科目
		情報システム基礎演習	2				4					
		情報メディア基礎演習	2					4				
		情報システム応用演習	②					4				
		ネットワーク構築演習	4					4	4			
		情報デザイン専門演習	2								4	
	キ ャ リ ア 関 連 科 目	情報と経営	2					2				
		キャリアデザイン	2			2						(オムニバス形式)
		ライセンス支援1	2				2					(オムニバス形式)
		ライセンス支援2	2					2				(オムニバス形式)
		キャリアプランニング1	2					2				
		キャリアプランニング2	2						2			
		キャリアデベロップメント	2						2			メディア授業
	研 卒 究 業	情報デザインゼミナール	②						2			
		卒業研究	④							8	8	
	小計		140		94以上	18	14	32	38	30	22	8
フィールド教育科目、総合教育科目、専門教育科目 合計		247	124	64	62	52	58	32	24	8	12	

※ PBL科目： 実践ベース学習 (Practice Based Learning) 科目

注) 専門教育科目の履修要件

イ 備考欄中の◎印の付いた科目は、ブレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて、習熟度別にクラスを分ける。

ブレイスメントテストの点数が基準に満たない者は、「基礎数学および演習」を必ず履修しなければならない。

ロ 「基礎数学および演習」を履修しなければならない者は、1年次後期に「代数学1」、「解析学1」および「数学演習1」を履修することができるものとし、「代数学2」、「解析学2」および「数学演習2」は2年次後期に履修することができる。

1 の 2 情報システム学科（編入生区分「イ」）

(1) フィールド教育科目および総合教育科目の「データサイエンスの基礎」

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備考
				1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
フィールド 教育科目	フィールドプラクティス	2	修得した単位は、 専門教育科目の選択科目として取り扱う	4								
	入門ゼミナール	2		2								
	情報と数学	2		2								
	コンピュータの仕組み	2		2								
	デザインと設計	2			2							
	色彩と構図	2				2						
	情報社会と倫理	2			2							
	情報セキュリティ	2			2							
	データ表現	2			2							
	表現技術	2					2					
総合教育科目	教養教育科目	自然科学	データサイエンスの基礎	2	2							

区分		科目	単位	最低卒業単位数	卒業資格	週 時 間 数								備考
						1年次		2年次		3年次		4年次		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	専門科目 PBL科目	プログラミング1	2	6 以上（必修含む）	（必修8・選必4以上・選択50以上・合計62以上）	2								全員履修科目 全員履修科目 全員履修科目 全員履修科目
		プログラミング2	2				2							
		デジタルコンテンツ演習	1			2								
		ネットワークアプリケーション演習	1				2							
		プログラミング演習1	2					4						
		プログラミング演習2	2						4					
		データサイエンスの応用1	2					2						
		データサイエンスの応用2	2						2					
		情報システム基礎演習	2					4						
		情報メディア基礎演習	2						4					
		情報システム応用演習	②							4				
		ネットワーク構築演習	4							4	4			
		情報デザイン専門演習	2									4		
	キャリア関連科目	情報と経営	2					2					メディア授業	
		キャリアデザイン	2		2									
		ライセンス支援1	2			2								
		ライセンス支援2	2				2							
		キャリアプランニング1	2				2							
		キャリアプランニング2	2					2						
		キャリアデベロップメント	2						2					
	研究業	情報デザインゼミナール	②							2				
		卒業研究	④								8	8		

※ PBL科目： 実践ベース学習 (Practice Based Learning) 科目

1の3情報システム学科（編入生区分「ロ」）

(1) フィールド教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	最低卒業資格 単位数	週 時 間 数								備考
				1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
フィールド教育科目	フィールドプラクティス	2	修得した単位は、 専門教育科目の選択科目として取り扱う	4								
	入門ゼミナール	2		2								
	情報と数学	2		2								
	コンピュータの仕組み	2		2								
	デザインと設計	2			2							
	色彩と構図	2				2						
	情報社会と倫理	2			2							
	情報セキュリティ	2			2							
	データ表現	2			2							
	表現技術	2					2					

(2) 総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分			科目	単位	最低卒業資格 単位数	週 時 間 数								備考	
						1 年次		2 年次		3 年次		4 年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
総合教育科目	教養教育科目	人文科学	文学	2	要件なし		2								
			哲学	2			2								
			論理学	2			2								
			地理学	2		2									
			社会思想史	2			2								
		社会科学	日本国憲法	2		2									
			現代の政治	2			2								
			経済学	2			2								
			近代史	2			2								
			心理学	2		2									
		自然科学	物質科学	2			2								
			宇宙科学	2			2								
			環境科学	2		2									
			生命科学	2		2									
		学際領域	現代数学入門	2			2								
			データサイエンスの基礎	2		2									
	平和学		2	2		(2)									
	文章表現演習		2	2											
	時事問題		2			2									
	日本文化	外国の社会と文化	2	2											
		倫理学	2	2											
		科学技術史	2			2									
		日本事情 1	2	2							留学生向け科目				
		日本事情 2	2			2					留学生向け科目				
	教人育間	日本の社会と文化 1	2	2							留学生向け科目				
		日本の社会と文化 2	2			2					留学生向け科目				
	言語文化科目	生涯学習論	2				2					教職課程科目			
			人権教育	2				2				教職課程科目			
		英語	英語(Listening&Speaking) 1	1		2									
			英語(Listening&Speaking) 2	1			2								
			英語(Listening&Speaking) 3	1				2							
			英語(Listening&Speaking) 4	1					2						
			TOEIC上級(Listening) 1	1				2							
			TOEIC上級(Listening) 2	1					2						
			英語(Reading&Writing) 1	1		2									
			英語(Reading&Writing) 2	1			2								
			英語(Reading&Writing) 3	1				2							
			英語(Reading&Writing) 4	1					2						
			TOEIC上級(Reading) 1	1				2							
			TOEIC上級(Reading) 2	1					2						
英語総合(上級) 1			1					2							
英語総合(上級) 2			1						2						
英語海外研修		2			2	2			(集中)						
初修外国語		初修外国語入門 1	1	2											
		初修外国語入門 2	1		2										
		初修外国語初級 1	1			2									
		初修外国語初級 2	1				2								
		日本語	日本語読解 1	1	2						留学生向け科目				
			日本語読解2	1		2					留学生向け科目				
日本語作文 1			1	2						留学生向け科目					
日本語作文2			1		2					留学生向け科目					
上級日本語読解 1			1			2				留学生向け科目					
上級日本語読解2	1					2			留学生向け科目						
上級日本語作文 1	1				2				留学生向け科目						
上級日本語作文2	1					2			留学生向け科目						
科身 目学 体	スポーツ科学実習	1	2												
	運動科学	2		2											

注) 総合教育科目の履修要件

イ 初修外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することができる。

ただし、各言語は必ず「入門 1」から履修しなければならない。

ロ 留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。

(3) 專門教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分		科目	単位	最低卒業資格 単位数	週 時 間 数								備考				
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次						
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
専 門 教 育 科 目	基 礎 科 目	基礎数学および演習	4	必修 8	6												
		代数学 1	2		2	(2)											
		解析学 1	2		2	(2)											
		数学演習 1	1		2	(2)											
		代数学 2	2			2		(2)									
		解析学 2	2			2		(2)									
		数学演習 2	1			2		(2)									
		幾何学 1	2				2										
		幾何学 2	2					2									
		確率論	2				2										
		統計学	2					2									
		シ ス テ ム 系 科 目	オートマトンと形式言語		2	選択必修 4 以上 ・ 選択 50 以上 ・ 合計 74 以上			2								
	論理回路		2				2										
	情報機器		2				2										
	量子ネットワークと量子コンピューティング		2				2										
	アルゴリズムとデータ構造		2				2										
	人工知能		2					2									
	数値解析		2					2									
	情報ネットワーク		2					2									
	オペレーティングシステム		2					2									
	組込みシステム基礎		2					2									
	ハードウェアデザイン		2						2								
	ソフトウェアデザイン		2							2							
	システム構築プロセスと要件定義		2							2							
	ネットワークプログラミング		2							2							
	データベース工学		2								2						
	情報システムの構築		2									2					
	情報通信		2										2				
	デジタル信号処理		2											2			
	応用組込みシステム		2												2		
	情報システム特殊講義		2													2	
	メ デ ィ ア 系 科 目		力と運動	2					2								
			光の性質	2						2							
			データ可視化	2						2							
			感覚量の評価	2						2							
			ヒューマンインタフェース	2							2						
			感性ものづくり	2							2						
			3次元CAD	2							2						
			画像処理	2								2					
			音楽音響情報処理	2									2				
			匠の技と情報科学	2										2			
			Webプログラミング	2											2		
			コンピュータグラフィックス	2												2	
			知的財産権	2													2
		コンピュータシミュレーション	2												2		
サービスサイエンス		2												2			
情報メディア特殊講義		2												2			

区分			科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備考
						1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	P B L 科 目	プログラミング1	2	（必修 ・ 選 必 ・ 選 択 ・ 合 計 74 以上 ）	2							全員履修科目 全員履修科目 全員履修科目 全員履修科目	
			プログラミング2	2			2							
			デジタルコンテンツ演習	1		2								
			ネットワークアプリケーション演習	1			2							
			プログラミング演習1	2				4						
			プログラミング演習2	2					4					
			データサイエンスの応用1	2				2						
			データサイエンスの応用2	2					2					
			情報システム基礎演習	2				4						
			情報メディア基礎演習	2					4					
			情報システム応用演習	②						4				
			ネットワーク構築演習	4						4	4			
			情報デザイン専門演習	2								4		
	キャリア 関連 科目		情報と経営	2	50 以上 ・ 合 計 74 以上 ）				2				メディア授業	
			キャリアデザイン	2			2							
			ライセンス支援1	2				2						
			ライセンス支援2	2					2					
			キャリアプランニング1	2					2					
			キャリアプランニング2	2						2				
			キャリアアデバロップメント	2							2			
	研 究 業	情報デザインゼミナール	②							2				
		卒業研究	④								8	8		

※ PBL科目： 実践ベース学習（Practice Based Learning）科目

2 教員免許取得に係る科目

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

イ. 中学校教諭一種免許状・数学

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備考
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
教科に関する専門的 事項	代数学	代数学 1	②	左記より必修・選択必修を含め 28 単位	2	(2)							
		代数学 2	②			2		(2)					
		数学演習 1	①		2	(2)							
		情報と数学	2		2								
		アルゴリズムとデータ構造	2				2						
	幾何学	幾何学 1	②				2						
		幾何学 2	②					2					
	解析学	解析学 1	②		2	(2)							
		解析学 2	②			2		(2)					
		数学演習 2	①			2		(2)					
	「確率論、統計学」	確率論	2				2						
		統計学	2					2					
		データサイエンスの応用 1	2				2						
		データサイエンスの応用 2	2					2					
	コンピュータ	コンピュータの仕組み	②		2								
		数値解析	②					2					
		プログラミング 1	2		2								
		プログラミング 2	2			2							
		論理回路	2				2						
		人工知能	2					2					
							2						
	各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）	数学科教育法 1	②				2						
		数学科教育法 2	②					2					
		数学科教育法 3	②						2				
		数学科教育法 4	②							2			
合計			46	28	12	8	12	12	2	2	0	0	

ロ. 高等学校教諭一種免許状・数学

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備考	
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
教科に関する専門的事項	代数学	代数学 1	②	②	左記より必修・選択必修を含め 24 単位	2	(2)							
		代数学 2	②				2		(2)					
		数学演習 1	①			2	(2)							
		情報と数学	2			2								
		アルゴリズムとデータ構造	2					2						
	幾何学	幾何学 1	②					2						
		幾何学 2	②						2					
	解析学	解析学 1	②			2	(2)							
		解析学 2	②				2		(2)					
		数学演習 2	①				2		(2)					
	「確率論、統計学」	確率論	2					2						
		統計学	2						2					
		データサイエンスの応用 1	2					2						
		データサイエンスの応用 2	2						2					
	コンピュータ	コンピュータの仕組み	②			2								
		数値解析	②						2					
		プログラミング 1	2			2								
		プログラミング 2	2				2							
		論理回路	2					2						
		人工知能	2						2					
								2						
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	数学科教育法 1	②			2									
	数学科教育法 2	②				2								
	数学科教育法 3	2					2							
	数学科教育法 4	2						2						
合計			46	24	12	8	12	12	2	2	0	0		

ハ. 高等学校教諭一種免許状・情報

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備考	
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
教科に関する専門的事項	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	情報社会と倫理	②	左記より必修を含め24単位以上		2								△
		情報と職業	④						2	2				
		デジタルコンテンツ演習	1		2									
	コンピュータ・情報処理	コンピュータの仕組み	②		2									
		プログラミング演習1	②				4							
		プログラミング1	2		2									
		プログラミング2	2			2								
		オートマトンと形式言語	2				2							
		情報機器	2				2							
		論理回路	2				2							
		プログラミング演習2	2					4						
		オペレーティングシステム	2					2						
		感性ものづくり	2					2						
		人工知能	2					2						
		情報システム	情報システム基礎演習		②			4						
			ネットワークアプリケーション演習		1		2							
			デザインと設計		2		2							
	情報セキュリティ		2			2								
	色彩と構図		2				2							
	ハードウェアデザイン		2						2					
	ソフトウェアデザイン		2						2					
	システム構築プロセスと要件定義		2						2					
	情報システムの構築		2							2				
	データベース工学		2							2				
	情報通信ネットワーク	情報ネットワーク	②					2						
		ネットワークプログラミング	2						2					
		デジタル信号処理	2							2				
		情報通信	2							2				
	マルチメディア表現・マルチメディア技術	情報メディア基礎演習	②					4						
		データ可視化	2				2							
		コンピュータグラフィックス	2						2					
		画像処理	2						2					
		音楽音響情報処理	2						2					
		コンピュータシミュレーション	2							2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		情報科教育法1	②						2					
		情報科教育法2	②							2				
合計			72	24以上	6	10	18	16	18	14	0	0		

注) 備考欄中の△印は、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」の「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」指定科目

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び各科目に含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	週 時 間 数								備 考		
				1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		中 学 校	高 等 学 校	単 卒 科 位 業 算 要 入 件
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2		2							◎	◎	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2	2								◎	◎	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2			2						◎	◎	
		人権教育	2				2					△	△	※
		生涯学習論	2			2						△	△	※
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2								◎	◎	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2				2					◎	◎	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2					2				◎	◎	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等の指導方法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	2				2					◎	△	
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2						2			◎	◎	
	特別活動の指導法													
	教育の方法及び技術	教育方法論	2		2							◎	◎	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育とICT活用	1					1	0			◎	◎	(集中)
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論	2			2						◎	◎	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法													
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2				2					◎	◎	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前指導	2					2	2			◎	◎	
		教育実習 1	2							4		◎	◎	事後指導含む (集中)
		教育実習 2	2							4		○	△	(集中)
	学校体験活動	学校体験活動	2						4			○	△	(集中)
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2								2	◎	◎	
合 計			37	4	4	6	8	5	8	8	2			

注) 1. 高等学校教諭普通免許状においては、事項「総合的な学習の時間の指導法」は「総合的な探究の時間の指導法」となる。

注) 2.

イ 備考欄中の◎印は、各免許の必修科目

ロ 備考欄中の○印は、各免許の選択必修科目

ハ 備考欄中の△印は、各免許の選択科目

ニ 備考欄中の※印は、総合教育科目区分の卒業要件単位として算入する。

(3) 大学が独自に設定する科目

授 業 科 目	単 位	週 時 間 数								備 考
		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
<u>道徳教育の理論と方法</u>	2				2					
合 計	2	0	0	0	2	0	0	0	0	

注) 上記科目は、高等学校教諭一種免許状取得希望者にのみ適用される科目とする。

(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備 考		
					1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	②	②	左記より必修・選択必修を含め9単位	2									
	体育	スポーツ科学実習	①			2									
		運動科学	②				2								
	外国語コミュニケーション	英語(Listening&Speaking) 1	1			2									
		英語(Listening&Speaking) 2	1				2								
		英語(Listening&Speaking) 3	1					2							
		英語(Listening&Speaking) 4	1						2						
		初修外国語入門 1 (ドイツ語)	1			2									
		初修外国語入門 1 (中国語)	1			2									
		初修外国語入門 1 (フランス語)	1			2									
		初修外国語入門 2 (ドイツ語)	1				2								
		初修外国語入門 2 (中国語)	1				2								
		初修外国語入門 2 (フランス語)	1				2								
		初修外国語初級 1 (ドイツ語)	1					2							
		初修外国語初級 1 (中国語)	1					2							
		初修外国語初級 1 (フランス語)	1					2							
		初修外国語初級 2 (ドイツ語)	1						2						
		初修外国語初級 2 (中国語)	1						2						
		初修外国語初級 2 (フランス語)	1						2						
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	デジタルコンテンツ演習	①			2									
		ネットワークアプリケーション演習	①				2								
合計			23	9	14	12	8	8	0	0	0	0			

○大阪産業大学建築・環境デザイン学部修学規程（案）

第1章 総則

（趣旨）

第1条 大阪産業大学学則（以下「学則」という。）第25条、第27条、第28条、第29条および第30条に基づく建築・環境デザイン学部学生の授業科目の履修その他に関しては、別に定めあるものを除き、この規程の定めるところによる。

（入学種別と教育課程）

第2条 教育課程は、履修コース別に定める。

2 学則第13条に定める編入学生については、以下の入学区分にしたがって教育課程を定める。

- (1) 学則第13条第2項各号のいずれかに該当し、かつ、出身高等教育課程が建築・環境デザイン学科に相当する者もしくは本学において同等以上の学力があると認めた者（区分イと称する。）。
 - (2) 学則第13条第2項各号のいずれかに該当し、かつ、出身高等教育課程が工学系に相当する者もしくは本学において同等以上の学力があると認めた者（区分ロの1と称する。）。なお、工学系には、デザイン・美術・工芸系、家政学系、生活科学系および造園学系を含む（ただし、イに含まれるものは除く。）。
 - (3) 学則第13条第2項各号のいずれかに該当し、かつ、出身高等教育課程が工学系以外に相当する者もしくは本学において同等以上の学力があると認めた者（区分ロの2と称する。）。

（授業科目の分類）

第3条 学生が履修する科目を分けて、フィールド教育科目、総合教育科目および専門教育科目とする。

（科目修得の条件）

第4条 授業科目のうち特定のものを必修科目とし、その他を選択必修科目と選択科目とする。必修科目のすべての単位と選択必修の規定単位を、修得しなければ卒業できない。

2 通年科目を、都合により、前期または後期にまとめて授業した場合は、本規程第16条第3項ただし書きによるほか履修期間および成績の取扱いその他は、通年科目と同様に扱う。

3 学部または学科が指定する科目について、年度初めに実施するプレイスメントテストを受けなければならない。

（卒業研究）

第5条 最終学年において、卒業研究の審査に合格しなければならない。

2 卒業研究をさらに半年間継続の必要があると判定された者は、次年度の前期末あるいは学年末に再審査を受けることができる。

（履修コース）

第6条 専攻分野別の履修コースとして、建築・環境デザイン学科に、ものデザインコース、建築デザインコース、環境デザインコース、空間デザインコース、自然デザインコースおよび都市デザインコースを置く。ただし、本規程第2条第2項第3号に定める区分「ロの2」の者は、ものデザインコース、建築デザインコース、空間デザインコース、または都市デザインコースにのみ配属できるものとする。

2 2年次進級時に履修コースへの配属を行う。なお、履修コースの変更は、原則認めない。

第2章 履修申請

（履修申請）

第7条 履修申請は、年度ごとに履修する科目を定めて、教務課に届出なければならない。ただし、予め定められた科目を除き、後期に履修申請の修正をすることができる。なお、履修申請をしていない科目を受講、または受験することはできない。

2 履修申請は、次の各号の定めにしたがって行うものとする。

- (1) 履修申請期間は、予め告示する。
- (2) 同一時限に2科目以上の履修申請をしても受理しない。
- (3) 履修申請は、復学の場合を除き、申請期間経過後は原則として受理しない。また、申請期間経過後は、申請内容の変更を原則として認めない。
- (4) 前各号の規定にかかわらず、履修人員に制限のある授業科目については、その制限人員に達した場合は、第1号の期間中であっても履修申請の受付け、変更または追加は認めない。

（不合格科目の履修）

第8条 履修した科目が不合格となり、なお単位を修得しようとする者は、あらためて次年度以降に履修申請し、再履修しなければならない。

(合格科目の履修)

第9条 すでに単位を修得した科目については、再び履修することはできない。

(単位授与の条件)

第10条 前3条の規定に違反した者には、単位を与えない。

第3章 履修制限

(履修可能単位数)

第11条 1年間に履修できる単位数は、次のとおりとする。

(1) 48単位とする。編入生についても同様とする。

(2) 前号の定めにかかわらず、次の科目を履修制限から除く。

イ 教員免許取得に係る「教科及び教科の指導法に関する科目」に規定する科目のうち「職業指導」および「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」に規定する科目

ロ 教員免許取得に係る「教育の基礎的理解に関する科目等」および「大学が独自に設定する科目」に規定する科目。ただし、「教育原理」、「教育心理学」、「道德教育の理論と方法」、「生涯学習論」および「人権教育」の5科目は履修制限に含む。

ハ 学則第33条および第34条に基づき、本学における授業科目の履修とみなした科目

(卒業研究履修条件および卒業見込証明書)

第12条 卒業研究を履修するためには、次の条件をみたさなければならない。

(1) 本規程第13条による卒業のための卒業資格最低単位数124単位のうち、100単位以上を修得していること。ただし、3年次までに配当された専門必修科目の未修得単位が、14単位以内で、かつ、3年次までに配当されたPBL科目の必修科目の未修得単位が3単位以内であること。

(2) 編入学生で本規程第2条第2項第1号に定める区分「イ」の者は、卒業資格最低単位数62単位のうち32単位以上を修得していること。ただし、3年次までに配当された専門必修科目の未修得単位が、14単位以内で、かつ、3年次までに配当されたPBL科目の必修科目の未修得単位が3単位以内であること。

(3) 編入学生で本規程第2条第2項第2号または第3号に定める区分「ロの1」および「ロの2」の者は、卒業資格最低単位数74単位のうち42単位以上を修得していること。ただし、3年次までに配当された専門必修科目の未修得単位が、14単位以内で、かつ、3年次までに配当されたPBL科目の必修科目の未修得単位が3単位以内であること。

2 卒業見込証明書は、4年次において卒業研究の履修資格を有する者または既修得者に対して発行する。

第4章 卒業要件

(卒業要件)

第13条 学則第30条に基づき、本規程別表第1の授業科目表および次に定めるところにしたがって、単位を修得することを卒業要件とする。

(1) 在学中に124単位を修得しなければならない。

(2) フィールド教育科目は5単位とする。

(3) 総合教育科目は、言語文化科目分野の英語より4単位以上を含む20単位以上とする。なお、留学生については、教養教育科目分野の日本文化より8単位および言語文化科目分野の日本語より8単位を含む20単位以上とし、英語の単位を修得しなくてもよい。

(4) 専門教育科目は、必修、選択必修および選択科目を合わせ99単位以上とする。

(5) 他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国語講読、卒業研究を除き30単位まで履修することができ、そのうち8単位までを当該学科の専門教育科目の選択科目として組み入れることができる(これを自由科目と称する。)

フィールド教育科目			5 単位		20 単位以上	124 単位	学士 (工学)
総合教育科目	教養教育科目	人文科学	要件なし				
		社会科学	要件なし				
		自然科学	要件なし				
		学際領域	要件なし				
		日本文化	(留学生に限る) 8 単位				
		人間教育	要件なし				
	言語文化科目	英語	(留学生を除く) 4 単位以上				
		初修外国語	要件なし				
		日本語	(留学生に限る) 8 単位				
身体科学科目		要件なし					
専門教育科目			必修、選択必修および選択科目の単位を合わせ 99 単位以上 (自由科目 8 単位を含む)				
4 年以上在学							

(注)

- ① 1 年次配当の英語については、プレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて習熟度別にクラスを分ける。
- ② 初修外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することができる。ただし、各言語は必ず「入門 1」から履修しなければならない。
- ③ 留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。
- ④ ものデザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 41 単位および選択科目 58 単位以上を含む 99 単位以上とする。
- ⑤ 建築デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 73 単位および選択科目 26 単位以上を含む 99 単位以上とする。
- ⑥ 環境デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 39 単位、選択必修科目 10 単位以上および選択科目 50 単位以上を含む 99 単位以上とする。
- ⑦ 空間デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 49 単位、選択必修科目 24 単位以上および選択科目 26 単位以上を含む 99 単位以上とする。
- ⑧ 自然デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 39 単位、選択必修科目 16 単位以上および選択科目 44 単位以上を含む 99 単位以上とする。
- ⑨ 都市デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 59 単位、選択必修科目 16 単位以上および選択科目 24 単位以上を含む 99 単位以上とする。
- ⑩ 選択必修科目の卒業要件単位を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件に算入することができる。
- ⑪ 各コースにおける必修科目、選択必修科目および選択科目は、本規程別表第 1 のとおりとする。

2 本規程第 2 条第 2 項第 1 号に定める区分「イ」の編入学生の卒業要件等は、次のとおりとする。

- (1) 在学中に 62 単位を修得しなければならない。
- (2) フィールド教育科目の「入門ゼミナール」および「暮らしと環境のデザイン」については、履修することができない。
- (3) 総合教育科目の「データサイエンスの基礎」を専門教育科目の選択科目として卒業要件単位数に含むことができることとする。
- (4) 専門教育科目は、必修、選択必修および選択科目を合わせ 62 単位以上とする。
- (5) 他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国語講読、卒業研究を除き 30 単位まで履修することができ、そのうち 4 単位までを当該学科の専門教育科目の選択科目として組み入れることができる（これを自由科目と称する。）。

総合教育科目 「データサイエンスの基礎」	要件なし	62 単位	学士（工学）
専門教育科目	必修、選択必修および選択科目の単位を合わせ 62 単位以上（自由科目 4 単位を含む）		
2 年以上在学			

(注)

- ① ものデザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 22 単位および選択科目 40 単位以上を含む 62 単位以上とする。
- ② 建築デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 22 単位、選択必修科目 16 単位以上および選択科目 24 単位以上を含む 62 単位以上とする。
- ③ 環境デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 16 単位、選択必修科目 10 単位以上および選択科目 36 単位以上を含む 62 単位以上とする。
- ④ 空間デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 24 単位、選択必修科目 24 単位以上および選択科目 14 単位以上を含む 62 単位以上とする。
- ⑤ 自然デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 16 単位、選択必修科目 16 単位以上および選択科目 30 単位以上を含む 62 単位以上とする。
- ⑥ 都市デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 39 単位、選択必修科目 21 単位以上および選択科目 2 単位以上を含む 62 単位以上とする。
- ⑦ 選択必修科目の卒業要件単位を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件に算入することができる。
- ⑧ 各コースにおける必修科目、選択必修科目および選択科目は、本規程別表第 1 のとおりとする。

3 本規程第 2 条第 2 項第 2 号に定める区分「ロの 1」の編入学生の卒業要件等は、次のとおりとする。

- (1) 在学中に 74 単位を修得しなければならない。ただし、編入学前に取得した単位について、12 単位を上限として、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の議を経て単位を与えることができる。
- (2) フィールド教育科目の「入門ゼミナール」および「暮らしと環境のデザイン」については、履修することができない。
- (3) 総合教育科目の「データサイエンスの基礎」を専門教育科目の選択科目として卒業要件単位数に含むことができることとする。
- (4) 専門教育科目は、必修、選択必修および選択科目を合わせ 74 単位以上とする。
- (5) 他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国語講読、卒業研究を除き 30 単位まで履修することができ、そのうち 4 単位までを当該学科の専門教育科目の選択科目として組み入れることができる（これを自由科目と称する。）。

総合教育科目 「データサイエンスの基礎」	要件なし	74 単位	学士（工学）
専門教育科目	必修、選択必修および選択科目の単位を合 わせ 74 単位以上（自由科目 4 単位を含む）		
2 年以上在学			

(注)

- ① ものデザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 22 単位および選択科目 52 単位以上を含む 74 単位以上とする。
- ② 建築デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 24 単位、選択必修科目 16 単位以上および選択科目 34 単位以上を含む 74 単位以上とする。
- ③ 環境デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 16 単位、選択必修科目 10 単位以上および選択科目 48 単位以上を含む 74 単位以上とする。
- ④ 空間デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 28 単位、選択必

修科目 24 単位以上および選択科目 22 単位以上を含む 74 単位以上とする。

- ⑤ 自然デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 16 単位、選択必修科目 16 単位以上および選択科目 42 単位以上を含む 74 単位以上とする。
- ⑥ 都市デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 39 単位、選択必修科目 30 単位以上および選択科目 5 単位以上を含む 74 単位以上とする。
- ⑦ 選択必修科目の卒業要件単位を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件に算入することができる。
- ⑧ 各コースにおける必修科目、選択必修科目および選択科目は、本規程別表第 1 のとおりとする。

4 本規程第 2 条第 2 項第 3 号に定める区分「ロの 2」の編入学生の卒業要件等は、次のとおりとする。

- (1) 在学中に 74 単位を修得しなければならない。ただし、編入学前に取得した単位について、12 単位を上限として、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の議を経て単位を与えることができる。
- (2) フィールド教育科目の「入門ゼミナール」および「くらしと環境のデザイン」については、履修することができない。
- (3) 総合教育科目の「データサイエンスの基礎」を専門教育科目の選択科目として卒業要件単位数に含むことができることとする。
- (4) 専門教育科目は、必修、選択必修および選択科目を合わせ 74 単位以上とする。
- (5) 他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国語講読、卒業研究を除き 30 単位まで履修することができ、そのうち 4 単位までを当該学科の専門教育科目の選択科目として組み入れることができる（これを自由科目と称する。）。

総合教育科目 「データサイエンスの基礎」	要件なし	74 単位	学士（工学）
専門教育科目	必修、選択必修および選択科目の単位を合わせ 74 単位以上（自由科目 4 単位を含む）		
2 年以上在学			

(注)

- ① ものデザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 26 単位および選択科目 48 単位以上を含む 74 単位以上とする。
- ② 建築デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 26 単位、選択必修科目 16 単位以上および選択科目 32 単位以上を含む 74 単位以上とする。
- ③ 空間デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 28 単位、選択必修科目 24 単位以上および選択科目 22 単位以上を含む 74 単位以上とする。
- ④ 都市デザインコースにおける専門教育科目の卒業要件単位数は、必修科目 39 単位、選択必修科目 30 単位以上および選択科目 5 単位以上を含む 74 単位以上とする。
- ⑤ 選択必修科目の卒業要件単位を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件に算入することができる。
- ⑥ 各コースにおける必修科目、選択必修科目および選択科目は、本規程別表第 1 のとおりとする。

第 5 章 教育職員免許状取得に必要な科目の履修

(履修の必要な科目)

第 14 条 中学校および高等学校の教育職員免許状を取得しようとする者は、卒業に必要な単位のほかに、教育職員免許法・同施行規則に定める必要な単位を修得するために、本規程別表第 1 2 に掲げる「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「大学が独自に設定する科目」、「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」に定める単位を修得しなければならない。さらに、中学校の教育職員免許状を取得しようとする者は、7 日間の「介護等体験」を行わなければならない。

(教育実習等の履修)

第 15 条 教育実習科目および教職実践演習の履修は、次に掲げる各号の規定によるものとする。

- (1) 「教育実習事前指導」を履修するためには、前年度終了時点において、総修得単位数（卒業要件外教職科目を含む。）が、原則として 90 単位以上、かつ、前年度終了時点における累積 GPA が 2.000 以上でなければならない。ただし、編入学生は、この限りでない。
- (2) 「教育実習 1」および「教育実習 2」を履修するためには、原則として、次の全ての要件を満たさなければならない。ただし、編入学生は、この限りでない。なお、教育実習に関する詳細は別に定める。
 - イ 当該年度に卒業見込みであること。
 - ロ 「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」ならびに、「教育の基礎的理解に関する科目等」について配当された必修科目の単位をすべて修得し終えていること。
 - ハ 当該年度に教育職員免許状を取得するために必要なすべての単位を修得できる見込みであること。
 - ニ 前年度終了時点における累積 GPA が 2.000 以上であること。
- (3) 「学校体験活動」を履修するためには、学業成績・人物ともに優秀でなければならない。なお、履修の可否は教職教育センター長が判断するものとする。
- (4) 「教職実践演習（中・高）」を履修するためには、原則として、教育職員免許状を取得するために必要なすべての単位のうち、4 年次前期までに配当された科目の単位をすべて修得し終えていなければならない。

第 6 章 試験

(試験)

第 16 条 定期試験は、前期試験と後期・学年末試験に分ける。

- 2 前期試験は、前期のみで終わる授業科目について前期末に行う。ただし、通年の授業科目についても、中間試験として行うことができる。
- 3 後期・学年末試験は、通年授業科目および後期のみで終わる授業科目について学年末に行う。ただし、通年の授業科目であって、前期に集中して授業したときは、前期試験の際、試験を行うが、追試験の実施を除き、成績の発表については学年末において処理する。

(追試験)

第 17 条 正当な理由によって受験できなかった者に対しては、教授会の議を経て、追試験を行う。

- 2 追試験を受験しようとする者は、指定の期間に、追試験受験願（様式第 9 号）を、所定の手数料と病気その他で受験できなかったことを証明する書類とともに教務課経由で学長に提出する。ただし、受験できなかった理由が就職試験、公共交通機関の遅延・運行休止または裁判員制度に基づく裁判員としての任務遂行の場合は、手数料を徴収しない。
- 3 学長は、前項の受験願を受理したときは、受験を許可するかどうかを教授会の議を経て、本人に通知する。
- 4 追試験の受験を許可された者には、受験票を交付し、不許可になった者には、提出した書類および手数料を返戻する。
- 5 追試験の期日は、教授会において定める。
- 6 中間試験として行った試験についての追試験は行わない。
- 7 追試験の成績は、90 点満点とする。

(試験における注意義務)

第 18 条 単位認定に係わる試験（以下「試験」という。）を受験しようとする者は、試験場において、次の各号に定める事項（以下「注意義務」という。）を守らなければならない。

- (1) 試験場においては、監督者の指示にしたがわなければならない。
- (2) 試験開始後 30 分以上遅刻した者は試験場に入ることができない。
- (3) 受験の際は、学生証を机の上に置かなければならない。学生証を所持しない者は受験することができない。
- (4) 答案用紙には、学籍番号および氏名をペンまたはボールペンで明記し、監督者に学生証との照合を受けなければならない。
- (5) 特に許可されたものを除き、すべて携帯品は、監督者が指定する場所に置かなければならない。
- (6) 配布を受けた答案用紙およびその他の用紙類はすべて、監督者が指定する場所に提出し、試験

場外に持ち出してはならない。

(試験における不正行為)

第 19 条 試験に際して、次の各号のいずれかの行為を行った者は、不正行為者とみなし、学生証および答案を取り上げて退場を命じる。

- (1) 前条の注意義務に抵触する行為
- (2) 許可されたもの以外を見ること
- (3) 他人の不正行為を助けること
- (4) 不正行為を目的とするものを保持すること
- (5) 不正行為に係わる物的証拠を故意に隠蔽すること
- (6) その他不正行為とみなされること

2 不正行為を行った者に対しては、次の各号にしたがって処分を行う。

- (1) 前項 1 号の不正行為を行った者は、当該科目の試験を無効とする。
- (2) 前項 2 号から 6 号の不正行為を行った者は、当該試験期間中の試験を無効とする。
- (3) 不正行為を繰り返すなど特に悪質な者に対しては、学則第 48 条に基づいて懲戒処分とする。

附 則

(施行期日)

この規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1 授業科目表および単位数

1 建築・環境デザイン学科

(1) フィールド教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区 分		科 目	単 位	最低卒業資格 単位数	週 時 間 数								備 考	
					1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
フ ィ ー ル ド 教 育 科 目	フ ィ ー ル ド テ ィ ラ ド ス ク	入門ゼミナール	①	5	2									
	教 養 科 目 フ ィ ー ル ド 関 連	くらしと環境のデザイン	②		2									
		テクノロジーとデザイン	②		2									
	小 計			5	5	6	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分			科目	単位	最低卒業資格 単位数	週 時 間 数								備考	
						1 年次		2 年次		3 年次		4 年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
総合教育科目	教養教育科目	人文科学	文学	2	20 以上		2							(集中)	
			哲学	2			2								
			地理学	2			2								
		社会科学	日本国憲法	2		2									
			現代の政治	2			2								
			経済学	2			2								
		自然科学	心理学	2			2								
			宇宙科学	2			2								
			環境科学	2			2								
		学際領域	生命科学	2		2									
			現代数学入門	2			2								
			データサイエンスの基礎	2		2									
			平和学	2		2									
			テクニカルライティング	2		2									
			時事問題	2			2								
			外国の社会と文化	2		2									
		日本文化	倫理学	2		2									
			科学技術史	2		2									
			日本事情 1	②		2									
			日本事情 2	②			2								
	日本の社会と文化 1		②	2											
	日本の社会と文化 2		②			2									
	教育原理		2	2											
	人間教育	教育心理学	2	2											
		道徳教育の理論と方法	2				2								
		生涯学習論	2				2								
		人権教育	2				2								
		言語文化科目	英語	英語(Listening&Speaking) 1		1	2								
				英語(Listening&Speaking) 2		1		2							
				英語(Listening&Speaking) 3		1			2						
	英語(Listening&Speaking) 4			1					2						
	TOEIC上級(Listening) 1			1				2							
	TOEIC上級(Listening) 2			1					2						
	英語(Reading&Writing) 1			1		2									
	英語(Reading&Writing) 2			1			2								
	英語(Reading&Writing) 3			1				2							
	英語(Reading&Writing) 4			1					2						
	TOEIC上級(Reading) 1			1				2							
	TOEIC上級(Reading) 2			1					2						
	英語総合(上級) 1			1						2					
	英語総合(上級) 2			1							2				
	英語海外研修		2				2	2							
	初修外国語		初修外国語入門 1	1		2									
			初修外国語入門 2	1			2								
			初修外国語初級 1	1				2							
			初修外国語初級 2	1					2						
		初修外国語総合 1	1						2						
		初修外国語総合 2	1							2					
		初修外国語海外研修	2				2	2							
	日本語	日本語読解 1	①	2											
		日本語読解 2	①			2									
		日本語作文 1	①	2											
		日本語作文 2	①			2									
		上級日本語読解 1	①				2								
		上級日本語読解 2	①					2							
		上級日本語作文 1	①				2								
		上級日本語作文 2	①					2							
	科目身体 目学体	スポーツ科学実習	1	2											
		運動科学	2			2									
小計			89	20以上	34	38	20	22	4	4	0	0			

注) 総合教育科目の履修要件

イ 1 年次配当の英語については、プレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて習熟度別にクラスを分ける。

ただし、英語の 2 年次及び 3 年次配当科目については、この限りではない。

ロ 英語は「4 単位以上」必修であるが、この規定は留学生には適用しない。

ハ 初修外国語はドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することができる。

ただし、各言語は必ず「入門 1」から履修しなければならない。

ニ 留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。

ホ 留学生には英語のプレイスメントテストを実施しない。

(3) 専門教育科目

(各履修コースの○印は必修科目、一印は原則としてコースによって履修できない科目)

区分	科 目	単 位	履修コース						卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備考		
			もの デザイン	建築 デザイン	環境 デザイン	空間 デザイン	自然 デザイン	都市 デザイン		1 年 次				2 年 次						
										前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専 門 講 義 教 育 科 目	環境デザイン理論	2	○	○	○	○	○		もの デザイン コース	2										
	アート論	2							建築 デザイン コース			2								
	環境心理学	2							環境 デザイン コース			2								
	日本美術史	2	○						空間 デザイン コース				2							
	都市環境デザイン論	2		○	○	○	○		自然 デザイン コース	2										
	建築デザイン論	2		○	○	○	○		都市 デザイン コース	2										
	もののデザイン論	2	○	○	○	○	○	○			2									
	インテリアデザイン論	2				A 群（C A・D ・C G 演習2 を含む）			必修			2								
	西洋建築・都市史	2		○					必修			2								
	日本建築史	2		○					必修			2								
	建築論	2		○					・選択必修				2							
	建築計画論	2		○					・選択必修	2										
	建築設備工学	2		○					10以上（A群）			2								
	建築環境工学	2		○				○	24以上（A群）			2								
	建築材料学	2		○					16以上（A群）			2								
	施工法	2		○		16 以上			16以上（A群）				2							
	建築法規	2		○					16以上（A群）				2							
	建築構法	2		○		○			16以上（A群）		2									
	構造工学1	2		○		○		○	16以上・B群		2									
	構造工学2	2		○		○		○	4以上・C群			2								
	構造計画論	2		○		○		○	4以上				2							
	構造材料学	2				○		○					2							
	建設マネージメント	2												2						
	交通システム工学	2									2									
	都市創造最前線	2												2						
	気象災害と防災	2										2								
	地震災害と防災	2											2							
	基礎数学および演習	3				B 群			・選択		6									
	代数学	2				4 以上			・選択			2								
	解析学	2							・選択			2								
	基礎物理学および演習	2							・選択			4								
	橋梁工学	2							・選択				2							
	都市情報分析	2				C 群（土 質力学2 を含む） 4以上			・選択				2							
	構造工学3	2						○	計				2							
	地震工学	2						○	99 以上				2							
	シミュレーション	2						○	99 以上			2								
	土質力学1	2						○	99 以上		2									
	土質力学2	2				C 群		○	99 以上			2								
	プログラミング	2				○		○			2									

区分		科 目	単位	履修コース						卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備考			
				もの デザイン	建築 デザイン	環境 デザイン	空間 デザイン	自然 デザイン	都市 デザイン		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次					
											前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
専 門 教 育 科 目	講 義 科 目	土木計画学	2						○	(もの デザイン コース (建築 デザイン コース (環境 デザイン コース (空間 デザイン コース (自然 デザイン コース (都市 デザイン コース					2							
		建設施工学	2						○							2						
		測量学	2						○				2									
		水理学 1	2						○					2								
		水理学 2	2						○						2							
		住居計画論	2		○									2								
		インテリア計画論	2		○									2								
		都市計画	2										2									
		環境計画論	2											2								
		地域コミュニティ論	2			A 群 10 以上						41	73	39	49	39	59		2			
		まちづくり・観光とデザイン	2														2					
		社会調査の手法	2														2					
		ランドスケープの歴史と計画	2														2					
		緑地マネジメント論	2														2					
		緑化植物論	2															2				
		廃棄物論	2														2					
		景観工学	2														2					
		人間環境学	2													2						
		物理学概論	2				A 群 16 以上											2				
		環境と物理学	2														2					
		原子力とエネルギー	2															2				
		化学概論	2													2						
		環境のための分析化学	2													2						
		環境と化学	2														2					
		生物学概論	2													2						
		生態学	2														2					
		植生学と自然	2															2				
		水生生物学	2																2			
	生命と持続可能性の科学	2																2				
	生命と多様性の科学	2																	2			
	地学概論	2										58	26	50	26	44	24		2			
	宇宙科学と人類	2										以上	以上	以上	以上	以上	以上					
	環境工学 1	2																2				
	環境工学 2	2										計	計	計	計	計	計		2			
実 験 科 目	物理学実験	2								99	99	99	99	99	99		4					
	化学実験	2								以上	以上	以上	以上	以上	以上			4				
	地学実験	2															4					
	生物学実験	2															4					

区分	科目	単位	履修コース						卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備考		
			もの デザイン	建築 デザイン	環境 デザイン	空間 デザイン	自然 デザイン	都市 デザイン		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次				
										前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専 門 教 育 科 目	PBL科目 講義及び PBL科目	建築設計製図法	2	○	○	○	○	○	○	(もの デザイン コース (建築 デザイン コース (環境 デザイン コース (空間 デザイン コース (自然 デザイン コース (都市 デザイン コース	2									
		デジタルプレゼンテーション論	2	○	○	○	○	○	○		2									
		CAD・CG論	2	○	○	○	○	○	○		2									
		データ分析入門	2			○		○				2								
		キャリアデザイン 1	2	○	○								2							
		キャリアデザイン 2	2											2						
	PBL科目	CAD・CG演習 1	2	○	○	○	○	○	○	必修	4									
		CAD・CG演習 2	2	○	○		A 群			必修		4								
		建築・環境デザイン基礎演習 1	2	○	○	○	○	○	○	41	73	39	49	39	59					
		建築・環境デザイン基礎演習 2	2	○	○	○	○	○	○											
		建築・環境デザイン基礎演習 3	2	○	○	○	○	○	○											
		ものデザイン演習 1	3	○	—	—	—	—	—				6							
		ものデザイン演習 2	3	○	—	—	—	—	—					6						
		ものデザイン演習 3	3	○	—	—	—	—	—						6					
		建築デザイン演習 1	3	—	○	—	—	—	—				6							
		建築デザイン演習 2	3	—	○	—	—	—	—					6						
		建築デザイン演習 3	3	—	○	—	—	—	—						6					
		環境デザイン演習 1	3	—	—	○	—	—	—				6							
		環境デザイン演習 2	3	—	—	○	—	—	—					6						
		環境デザイン演習 3	3	—	—	○	—	—	—						6					
		空間デザイン演習 1	3	—	—	—	○	—	—				6							
		空間デザイン演習 2	3	—	—	—	○	—	—					6						
		空間デザイン演習 3	3	—	—	—	○	—	—						6					
		自然デザイン演習 1	3	—	—	—	—	○	—				6							
		自然デザイン演習 2	3	—	—	—	—	○	—					6						
		自然デザイン演習 3	3	—	—	—	—	○	—						6					
		都市デザイン演習 1	3	—	—	—	—	—	○				6							
		都市デザイン演習 2	3	—	—	—	—	—	○	58	26	50	26	44	24					
		都市デザイン演習 3	3	—	—	—	—	—	○	以上	以上	以上	以上	以上	以上			6		
		データサイエンスの応用 1	2									2								
		データサイエンスの応用 2	2							計	計	計	計	計	計			2		
		ブレ卒業研究	2	○	○	○	○	○	○	99	99	99	99	99	99			4		
		建築・環境デザイン及び計画演習	2	○	○	—	—	—	—	以上	以上	以上	以上	以上	以上			4		
		卒業研究	4	○	○	○	○	○	○									8 8		
	小 計		243	99以上						16	16	54	100	64	64	14	8			
フィールド教育科目、総合教育科目、専門教育科目 合計			337	124以上						56	54	74	122	68	68	14	8			

※ PBL科目： 実践ベース学習（Practice Based Learning）科目

注）専門教育科目の履修要件

ものデザインコースの卒業要件単位数は必修科目41単位および選択科目58単位以上、合計99単位以上とする。

建築デザインコースの卒業要件単位数は必修科目73単位および選択科目26単位以上、合計99単位以上とする。

環境デザインコースの卒業要件単位数は必修科目39単位、選択必修科目10単位以上および選択科目50単位以上、合計99単位以上とする。

空間デザインコースの卒業要件単位数は必修科目49単位、選択必修科目24単位以上および選択科目26単位以上、合計99単位以上とする。

自然デザインコースの卒業要件単位数は必修科目39単位、選択必修科目16単位以上および選択科目44単位以上、合計99単位以上とする。

都市デザインコースの卒業要件単位数は必修科目59単位、選択必修科目16単位以上および選択科目24単位以上、合計99単位以上とする。

1 の 2 建築・環境デザイン学科（編入生区分「イ」）

(1) 専門教育科目

(各履修コースの○印は必修科目、一印は原則としてコースによって履修できない科目)

区 分	科 目	単 位	履修コース						卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備 考		
			もの デザイン	建築 デザイン	環境 デザイン	空間 デザイン	自然 デザイン	都市 デザイン		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次				
										前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専 門 教 育 科 目	講 義 科 目	環境デザイン理論	2	○	○	○	○	○	○	もの デザイン コース	2									
		アート論	2							建築 デザイン コース		2								
		環境心理学	2							環境 デザイン コース		2								
		日本美術史	2							空間 デザイン コース			2							
		都市環境デザイン論	2							自然 デザイン コース	2									
		建築デザイン論	2	○	○	○	○	○	○	都市 デザイン コース	2									
		ものデザイン論	2	○							2									
		インテリアデザイン論	2									2								
		西洋建築・都市史	2							必修		2								
		日本建築史	2							必修		2								
		建築論	2							必修				2						
		建築計画論	2		○					必修	2									
		建築設備工学	2							必修		2								
		建築環境工学	2							必修		2								
		建築材料学	2							必修		2								
		施工法	2							必修				2						
		建築法規	2							必修				2						
		建築構法	2							必修		2								
		構造工学 1	2						○	必修	2									
		構造工学 2	2						○	必修		2								
		構造計画論	2						○	必修				2						
		構造材料学	2						○	必修				2						
		建設マネジメント	2							必修				2						
		交通システム工学	2							必修		2								
		都市創造最前線	2							必修				2						
		気象災害と防災	2							必修		2								
		地震災害と防災	2							必修			2							
		基礎数学および演習	3							必修	6									
		代数学	2							必修		2								
		解析学	2							必修		2								
		基礎物理学および演習	2							必修		4								
		橋梁工学	2							必修				2						
		都市情報分析	2							必修				2						
		構造工学 3	2						○	必修				2						
		地震工学	2						○	必修				2						
		シミュレーション	2						○	必修		2								
		土質力学 1	2						○	必修		2								
		土質力学 2	2						○	必修		2								
		プログラミング	2						○	必修		2								

区分		科 目	単 位	履修コース						卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備 考		
				もの デザイン	建築 デザイン	環境 デザイン	空間 デザイン	自然 デザイン	都市 デザイン		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次				
											前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専 門 教 育 科 目	講 義 科 目	土木計画学	2						○	(もの デザイン コース (建築 デザイン コース (環境 デザイン コース (空間 デザイン コース (自然 デザイン コース (都市 デザイン コース					2						
		建設施工学	2						○							2					
		測量学	2						○				2								
		水理学1	2						○						2						
		水理学2	2						○							2					
		住居計画論	2											2							
		インテリア計画論	2											2							
		都市計画	2										2								
		環境計画論	2								必修			2							
		地域コミュニティ論	2			A 群 10 以上					22		2								
		まちづくり・観光とデザイン	2						・ 選択必修					2							
		社会調査の手法	2						・ 選択必修					2							
		ランドスケープの歴史と計画	2						・ 選択必修					2							
		緑地マネジメント論	2						16 以上		10 以上	16 以上	24 以上	16 以上	2						
		緑化植物論	2						(A 群 16 以上)		(A 群 10 以上)	16 以上	21 以上				2				
		廃棄物論	2										(A 群 16 以上)		2						
		景観工学	2													2					
		人間環境学	2									16 以上				2					
		物理学概論	2													2					
		環境と物理学	2												2						
		原子力とエネルギー	2														2				
		化学概論	2												2						
		環境のための分析化学	2												2						
		環境と化学	2													2					
		生物学概論	2												2						
		生態学	2													2					
	植生学と自然	2														2					
	水生生物学	2															2				
	生命と持続可能性の科学	2															2				
	生命と多様性の科学	2																2			
	地学概論	2									40 以上			2							
	宇宙科学と人類	2									以上				2						
	環境工学1	2														2					
	環境工学2	2									計	計	計	計	計	計		2			
	実 験 科 目	物理学実験	2								62 以上	62 以上	62 以上	62 以上	62 以上		4				
		化学実験	2													4					
		地学実験	2													4					
		生物学実験	2													4					

区分			科 目	単位	履修コース						卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備考			
					もの デザイン	建築 デザイン	環境 デザイン	空間 デザイン	自然 デザイン	都市 デザイン		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次					
												前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
専 門 教 育 科 目	P B L 科目 講義及び	建築設計製図法	2							(もの デザイン コース	2												
		デジタルプレゼンテーション論	2							(建築 デザイン コース	2												
		CAD・CG論	2							(環境 デザイン コース	2												
		データ分析入門	2							(空間 デザイン コース		2											
		キャリアデザイン1	2							(自然 デザイン コース			2										
		キャリアデザイン2	2							(都市 デザイン コース				2									
	P B L 科目	CAD・CG演習1	2	○	○		A 群			必修	4												
		CAD・CG演習2	2							必修		4											
		建築・環境デザイン基礎演習1	2						22	22	16	24	16	39	4								
		建築・環境デザイン基礎演習2	2							・ 選択 必修	4												
		建築・環境デザイン基礎演習3	2	－	－					・ 選択 必修	4												
		ものデザイン演習1	3		－	－	－	－	－	16	10	24	16	21			6						
		ものデザイン演習2	3	○	－	－	－	－	－	16	10	24	16	21				6					
		ものデザイン演習3	3	○	－	－	－	－	－	以上 (A 群	以上	以上	以上	以上				6					
		建築デザイン演習1	3	－		－	－	－	－	16	10	16	16	21			6						
		建築デザイン演習2	3	－	○	－	－	－	－	以上 (A 群	以上	以上	以上	以上				6					
		建築デザイン演習3	3	－	○	－	－	－	－	16	10	16	16	21				6					
		環境デザイン演習1	3	－	－		－	－	－	以上	以上	以上	以上	以上			6						
		環境デザイン演習2	3	－	－	○	－	－	－	・ B 群	4 以上	・ C 群	4 以上	・			6						
		環境デザイン演習3	3	－	－	○	－	－	－	・ B 群	4 以上	・ C 群	4 以上	・				6					
		空間デザイン演習1	3	－	－	－		－	－	・ C 群	4 以上	・	4 以上	・			6						
		空間デザイン演習2	3	－	－	－	○	－	－	・	4 以上	・	4 以上	・				6					
		空間デザイン演習3	3	－	－	－	○	－	－	・	4 以上	・	4 以上	・					6				
		自然デザイン演習1	3	－	－	－	－		－	・	4 以上	・	4 以上	・			6						
		自然デザイン演習2	3	－	－	－	－	○	－	・	4 以上	・	4 以上	・				6					
		自然デザイン演習3	3	－	－	－	－	○	－	・	4 以上	・	4 以上	・					6				
		都市デザイン演習1	3	－	－	－	－	－	○	・ 選択	40	24	36	14	30	2			6				
		都市デザイン演習2	3	－	－	－	－	－	A 群	以上	以上	以上	以上	以上	以上								
		都市デザイン演習3	3	－	－	－	－	－		以上	以上	以上	以上	以上	以上				6				
		データサイエンスの応用1	2							計	62	62	62	62	62	62				4			
		データサイエンスの応用2	2							計	62	62	62	62	62	62							
		ブレ卒業研究	2	○	○	○	○	○	○	62	62	62	62	62	62					4			
		建築・環境デザイン及び計画演習	2	○	○	－	－	－	－	以上	以上	以上	以上	以上	以上					4			
		卒業研究	4	○	○	○	○	○	○										8	8			
総合教育科目	教養教育科目	自然科学	データサイエンスの基礎	2							修得した単位は、専門教育科目の選択科目として取り扱う						2						

※ PBL科目： 実践ベース学習（Practice Based Learning）科目

注) 専門教育科目の履修要件
ものデザインコースの卒業要件単位数は必修科目22単位および選択科目40単位以上、合計62単位以上とする。
建築デザインコースの卒業要件単位数は必修科目22単位、選択必修科目16単位以上および選択科目24単位以上、合計62単位以上とする。
環境デザインコースの卒業要件単位数は必修科目16単位、選択必修科目10単位以上および選択科目36単位以上、合計62単位以上とする。
空間デザインコースの卒業要件単位数は必修科目24単位、選択必修科目24単位以上および選択科目14単位以上、合計62単位以上とする。
自然デザインコースの卒業要件単位数は必修科目16単位、選択必修科目16単位以上および選択科目30単位以上、合計62単位以上とする。
都市デザインコースの卒業要件単位数は必修科目39単位、選択必修科目21単位以上および選択科目2単位以上、合計62単位以上とする。

1の3 建築・環境デザイン学科（編入生区分「ロの1」）

(1) 専門教育科目および総合教育科目の「データサイエンスの基礎」

(各履修コースの○印は必修科目、一印は原則としてコースによって履修できない科目)

区分		科 目	単位	履修コース						卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備考
				もの デザイン	建築 デザイン	環境 デザイン	空間 デザイン	自然 デザイン	都市 デザイン		1年次		2年次		3年次		4年次		
											前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専 門 教 育 科 目	講 義 科 目	環境デザイン理論	2	○	○	○	○	○	○	もの デザイン コース 建築 デザイン コース 環境 デザイン コース 空間 デザイン コース 自然 デザイン コース 都市 デザイン コース <									

区分		科 目	単位	履修コース						卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備考
				もの デザイン	建 築 デザイン	環 境 デザイン	空 間 デザイン	自 然 デザイン	都 市 デザイン		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
											前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専 門 教 育 科 目	講 義 科 目	土木計画学	2						○	(もの デザイン コース (建 築 デザイン コース (環 境 デザイン コース (空 間 デザイン コース (自 然 デザイン コース (都 市 デザイン コース					2				
		建設施工学	2						○							2			
		測量学	2						○			2							
		水理学1	2						○					2					
		水理学2	2						○						2				
		住居計画論	2											2					
		インテリア計画論	2		○									2					
		都市計画	2			A 群 10 以上							2						
		環境計画論	2										2						
		地域コミュニティ論	2										2						
		まちづくり・観光とデザイン	2											2					
		社会調査の手法	2											2					
		ランドスケープの歴史と計画	2											2					
		緑地マネジメント論	2											2					
		緑化植物論	2													2			
		廃棄物論	2											2					
		景観工学	2													2			
		人間環境学	2												2				
		物理学概論	2				A 群 16 以上							2					
		環境と物理学	2											2					
		原子力とエネルギー	2													2			
		化学概論	2											2					
		環境のための分析化学	2											2					
		環境と化学	2												2				
		生物学概論	2											2					
		生態学	2												2				
		植生学と自然	2													2			
		水生生物学	2														2		
		生命と持続可能性の科学	2														2		
		生命と多様性の科学	2															2	
		地学概論	2												2				
		宇宙科学と人類	2													2			
		環境工学1	2														2		
		環境工学2	2															2	
	実 験 科 目	物理学実験	2								計		4						
		化学実験	2								74 以上			4					
		地学実験	2								74 以上			4					
		生物学実験	2								74 以上			4					

区分			科 目	単位	履修コース						卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					もの デザイン	建築 デザイン	環境 デザイン	空間 デザイン	自然 デザイン	都市 デザイン		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
												前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
専 門 教 育 科 目	P B L 科目 講義及び	建築設計製図法	2								(もの デザイン コース 必修 22	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									</

※ PBL科目： 実践ベース学習（Practice Based Learning）科目

注) 専門教育科目の履修要件

ものデザインコースの卒業要件単位数は必修科目22単位および選択科目52単位以上、合計74単位以上とする。

建築デザインコースの卒業要件単位数は必修科目24単位、選択必修科目16単位以上および選択科目34単位以上、合計74単位以上とする。

環境デザインコースの卒業要件単位数は必修科目16単位、選択必修科目10単位以上および選択科目48単位以上、合計74単位以上とする。

空間デザインコースの卒業要件単位数は必修科目28単位、選択必修科目24単位以上および選択科目22単位以上、合計74単位以上とする。

自然デザインコースの卒業要件単位数は必修科目16単位、選択必修科目16単位以上および選択科目42単位以上、合計74単位以上とする。

都市デザインコースの卒業要件単位数は必修科目39単位、選択必修科目30単位以上および選択科目5単位以上、合計74単位以上とする。

1 の 4 建築・環境デザイン学科（編入生区分「ロの 2」）

(1) 専門教育科目および総合教育科目の「データサイエンスの基礎」

(各履修コースの○印は必修科目、一印は原則としてコースによって履修できない科目)

区分		科 目	単位	履修コース				卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備考	
				もの デザイン	建築 デザイン	空間 デザイン	都市 デザイン		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次			
									前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
専 門 教 育 科 目	講 義 科 目	環境デザイン理論	2	○	○	○	○	もの デザイン コース 都市 デザイン コース 空間 デザイン コース 建築 デザイン コース 必修 26 必修 26 ・ 選択 必修 16 以上 （A 群 16 以上） ・ 選択 48 以上 計 74 以上	2									
		アート論	2								2							
		環境心理学	2								2							
		日本美術史	2										2					
		都市環境デザイン論	2						2									
		建築デザイン論	2	○	○	○	○		2									
		ものデザイン論	2	○						2								
		インテリアデザイン論	2			A 群 （C A D・C G 演習 1・2 を含む）					2							
		西洋建築・都市史	2								2							
		日本建築史	2								2							
		建築論	2										2					
		建築計画論	2		○				2									
		建築設備工学	2										2					
		建築環境工学	2										2					
		建築材料学	2										2					
		施工法	2			16 以上								2				
		建築法規	2		16 以上	○							2					
		建築構法	2			○												
		構造工学 1	2			○	○						2					
		構造工学 2	2			○	○							2				
		構造計画論	2			○	A 群（都市デザイン演習 2・3 を含む）								2			
		構造材料学	2			○									2			
		建設マネジメント	2													2		
		交通システム工学	2										2					
		都市創造最前線	2												2			
		気象災害と防災	2											2				
		地震災害と防災	2												2			
		基礎数学および演習	3			B 群 4 以上							6					
		代数学	2											2				
		解析学	2											2				
		基礎物理学および演習	2											4				
		橋梁工学	2				C 群（土質力学 2 を含む）4 以上		30 以上							2		
		都市情報分析	2						○						2			
		構造工学 3	2						○						2			
		地震工学	2						○	74 以上	74 以上	74 以上				2		
		シミュレーション	2						○					2				
		土質力学 1	2						○					2				
		土質力学 2	2				C 群		○						2			
		プログラミング	2						○	○				2				

区分		科 目	単位	履修コース				卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備考
				もの デザイン	建築 デザイン	空間 デザイン	都市 デザイン		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
									前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専 門 教 育 科 目	講 義 科 目	土木計画学	2				○	(ものデザインコース (建築デザインコース (空間デザインコース (都市デザインコース						2			
		建設施工学	2				○							2			
		測量学	2				○				2						
		水理学 1	2				○					2					
		水理学 2	2				○						2				
		住居計画論	2		○							2					
		インテリア計画論	2		○							2					
		都市計画	2								2						
		環境計画論	2							必修			2				
		地域コミュニティ論	2						26	26		2					
		まちづくり・観光とデザイン	2							・選択必修			2				
		社会調査の手法	2							・選択必修			2				
		ランドスケープの歴史と計画	2							・選択必修		2					
		緑地マネジメント論	2						16	24	30		2				
		緑化植物論	2						以上	以上	以上				2		
		廃棄物論	2							(A 群	(A 群		2				
		景観工学	2							(A 群	(A 群			2			
		人間環境学	2						16	16	30			2			
		物理学概論	2						以上	以上	以上		2				
		環境と物理学	2							・B 群	・B 群		2				
		原子力とエネルギー	2												2		
		化学概論	2							4	4		2				
		環境のための分析化学	2							以上	以上		2				
		環境と化学	2							・C 群	・C 群		2				
		生物学概論	2							4	4		2				
		生態学	2							以上	以上		2				
		植生学と自然	2											2			
		水生生物学	2												2		
		生命と持続可能性の科学	2												2		
		生命と多様性の科学	2							・選択	・選択					2	
		地学概論	2						48	32	22	5		2			
		宇宙科学と人類	2						以上	以上	以上	以上		2			
		環境工学 1	2							計	計	計			2		
		環境工学 2	2							計	計	計				2	
	実 験 科 目	物理学実験	2					74	74	74	74		4				
		化学実験	2					以上	以上	以上	以上		4				
		地学実験	2									4					
		生物学実験	2									4					

区分			科 目	単位	履修コース				卒業資格最低単位数	週 時 間 数								備考			
					もの デザイン	建 築 デザイン	空間 デザイン	都市 デザイン		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次					
										前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
専 門 教 育 科 目	P B L 科 目 講 義 及 び	建築設計製図法	2	○				(もの デザイン コース	(建 築 デザイン コース	(空間 デザイン コース	(都市 デザイン コース	2									
		デジタルプレゼンテーション論	2	○									2								
		CAD・CG論	2										2								
		データ分析入門	2											2							
		キャリアデザイン1	2												2						
		キャリアデザイン2	2													2					
	P B L 科 目	CAD・CG演習1	2	○	○	A 群			必修	必修	必修	必修		4							
		CAD・CG演習2	2						必修	必修	必修	必修			4						
		建築・環境デザイン基礎演習1	2					26	26	28	39	4									
		建築・環境デザイン基礎演習2	2						・ 選択 必修	・ 選択 必修	・ 選択 必修		4								
		建築・環境デザイン基礎演習3	2		－								4								
		ものデザイン演習1	3		－	－	－									6					
		ものデザイン演習2	3	○	－	－	－	16	24	30							6				
		ものデザイン演習3	3	○	－	－	－	以上	以上	以上								6			
		建築デザイン演習1	3	－		－	－		以上	以上	以上				6						
		建築デザイン演習2	3	－	○	－	－		(A 群	(A 群	(A 群					6					
		建築デザイン演習3	3	－	○	－	－	16	16	30								6			
		環境デザイン演習1	3	－	－	－	－	以上	以上	以上					6						
		環境デザイン演習2	3	－	－	－	－		・ B 群	・ B 群	・ B 群					6					
		環境デザイン演習3	3	－	－	－	－		4 以上	・ C 群	・ C 群						6				
		空間デザイン演習1	3	－	－		－			・ C 群	・ C 群					6					
		空間デザイン演習2	3	－	－	○	－			4 以上	・ C 群						6				
		空間デザイン演習3	3	－	－	○	－			・ C 群	・ C 群							6			
		自然デザイン演習1	3	－	－	－	－			4 以上	・ C 群				6						
		自然デザイン演習2	3	－	－	－	－			・ C 群	・ C 群					6					
		自然デザイン演習3	3	－	－	－	－			・ C 群	・ C 群						6				
		都市デザイン演習1	3	－	－	－	○		・ 選択	・ 選択	・ 選択	・ 選択				6					
		都市デザイン演習2	3	－	－	－		48 以上	32 以上	22 以上	5 以上					6					
		都市デザイン演習3	3	－	－	－	A 群										6				
		データサイエンスの応用1	2												2						
		データサイエンスの応用2	2						計	計	計	計				2					
		ブレ卒業研究	2	○	○	○	○		74 以上	74 以上	74 以上	74 以上						4			
		建築・環境デザイン及び計画演習	2	○	○	－	－												4		
		卒業研究	4	○	○	○	○												8	8	
総合 教育 科目	教養 教育 科目	自然 科学	データサイエンスの基礎	2					修得した単位 は、専門教育科 目の選択科目と して取り扱う			2									

※ PBL科目： 実践ベース学習（Practice Based Learning）科目

注) 専門教育科目の履修要件
ものデザインコースの卒業要件単位数は必修科目26単位および選択科目48単位以上、合計74単位以上とする。
建築デザインコースの卒業要件単位数は必修科目26単位、選択必修科目16単位以上および選択科目32単位以上、合計74単位以上とする。
空間デザインコースの卒業要件単位数は必修科目28単位、選択必修科目24単位以上および選択科目22単位以上、合計74単位以上とする。
都市デザインコースの卒業要件単位数は必修科目39単位、選択必修科目30単位以上および選択科目5単位以上、合計74単位以上とする。

2 教員免許取得に係る科目

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

イ. 中学校教諭一種免許状・理科

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備考
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
教科に関する専門的事項	物理学	物理学概論	②	左記より必修を含め28単位以上			2						
		環境と物理学	2					2					
		原子力とエネルギー	2						2				
	化学	化学概論	②				2						
		環境と化学	2					2					
		環境のための分析化学	2				2						
	生物学	生物学概論	②				2						
		生態学	②					2					
		植生学と自然	2						2				
		水生生物学	2							2			
		生命と持続可能性の科学	2							2			
		生命と多様性の科学	2								2		
		地学	地学概論		②			2					
	宇宙科学と人類		2					2					
	物理学実験・化学実験・ 生物学実験・地学実験	物理学実験	②				4						
		化学実験	②					4					
		生物学実験	②					4					
		地学実験	②					4					
		各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）	理科教育法 1		②			2					
	理科教育法 2		②					2					
	理科教育法 3		②						2				
	理科教育法 4		②							2			
	合計				44	28以上	0	0	16	22	4	8	2

ロ. 高等学校教諭一種免許状・理科

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備 考
					1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
教科に関する専門的事項	物理学	物理学概論	②	左記より必修・選択必修を含め24単位以上			2						
		環境と物理学	2					2					
		原子力とエネルギー	2						2				
	化学	化学概論	②				2						
		環境と化学	2					2					
		環境のための分析化学	2				2						
	生物学	生物学概論	②				2						
		生態学	②					2					
		植生学と自然	2						2				
		水生生物学	2							2			
		生命と持続可能性の科学	2							2			
		生命と多様性の科学	2								2		
		地学概論	②				2						
	地学	宇宙科学と人類	2					2					
		物理学実験	2				4						
	「物理学実験、化学実験、 生物学実験、地学実験」	化学実験	2					4					
		生物学実験	2						4				
		地学実験	2							4			
		理科教育法 1	2				2						
	各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）	理科教育法 2	2						2				
		理科教育法 3	②							2			
		理科教育法 4	②								2		
		合計	44		24以上	0	0	16	22	4	8	2	0

ハ、高等学校教諭一種免許状・工業

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備 考
					1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	テクノロジーとデザイン	②	左記より必修を含め24単位以上	2								△ △
		建築・環境デザイン基礎演習 1	②		4								
		建築・環境デザイン基礎演習 2	②			4							
		環境デザイン理論	2		2								
		まちづくり・観光とデザイン	2				2						
		都市環境デザイン論	2		2								
		建築デザイン論	2		2								
		インテリアデザイン論	2			2							
		西洋建築・都市史	2			2							
		日本建築史	2			2							
		建築論	2					2					
		建築計画論	2			2							
		建築環境工学	2				2						
		建築材料学	2				2						
		建築構法	2			2							
		構造工学 1	2			2							
		構造工学 2	2				2						
		構造計画論	2					2			2		
		構造材料学	2					2					
		交通システム工学	2			2							
		気象災害と防災	2				2						
		地震災害と防災	2					2					
		橋梁工学	2						2				
		都市情報分析	2						2				
		構造工学 3	2						2				
		地震工学	2							2			
		シミュレーション	2				2						
		土質力学 1	2				2						
		土質力学 2	2					2					
		プログラミング	2				2						
		土木計画学	2						2				
		建設施工学	2							2			
		測量学	2				2						
		水理学 1	2						2				
		水理学 2	2							2			
		環境計画論	2					2					
		都市計画	2				2						
		住居計画論	2					2					
		インテリア計画論	2					2					
		景観工学	2						2				
		人間環境学	2						2				
		緑地マネジメント論	2					2					
		廃棄物論	2					2					
		ランドスケープの歴史と計画	2					2					
		緑化植物論	2							2			
		環境工学 1	2						2				
		環境工学 2	2							2			
		建築設計製図法	2			2							
	デジタルプレゼンテーション論	2			2								
	CAD・CG論	2			2								
	CAD・CG演習 1	2				4							
	CAD・CG演習 2	2					4						
	職業指導	職業指導	④						2	2			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	工業科教育法 1	②					2						
	工業科教育法 2	②						2					
合計			112	24以上	18	10	24	26	24	18	0	0	

注) 備考欄中の△印は、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」の「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」指定科目

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び各科目に含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	週 時 間 数								備 考		
				1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		中学校	高等学校	単 卒 科 位 目 業 算 要 入 件
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2		2							◎	◎	※
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2	2								◎	◎	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2			2						◎	◎	
		人権教育	2				2					△	△	※
		生涯学習論	2			2						△	△	※
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2								◎	◎	※
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2				2					◎	◎	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2					2				◎	◎	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等の指導方法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	2				2					◎	△	※
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2						2			◎	◎	
	特別活動の指導法													
	教育の方法及び技術	教育方法論	2		2							◎	◎	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育とICT活用	1					1	0			◎	◎	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論	2			2						◎	◎	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法													
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2				2					◎	◎	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前指導	2					2	2			◎	◎	
		教育実習 1	2							4		◎	◎	
		教育実習 2	2							4		○	△	
	学校体験活動	学校体験活動	2						4			○	△	
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2								2	◎	◎	
合 計			37	4	4	6	8	5	8	8	2			

注) 1. 高等学校教諭普通免許状においては、事項「総合的な学習の時間の指導法」は「総合的な探究の時間の指導法」となる。

注) 2.

イ 備考欄中の◎印は、各免許の必修科目

ロ 備考欄中の○印は、各免許の選択必修科目

ハ 備考欄中の△印は、各免許の選択科目

二 備考欄中の※印は、総合教育科目区分の卒業要件単位として算入する。

事後指導含む
(集中)

(集中)

(集中)

(3) 大学が独自に設定する科目

授 業 科 目	単 位	週 時 間 数								備 考
		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
		期	期	期	期	期	期	期	期	
道徳教育の理論と方法	2				2					
合 計	2	0	0	0	2	0	0	0	0	

注) 1. 上記科目は、高等学校教諭一種免許状取得希望者にのみ適用される科目とする。

注) 2. 上記科目は、総合教育科目区分の卒業要件単位として算入する。

(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低 単 位 数	週 時 間 数								備 考	
					1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	②	左記より必修・選択必修を含め9単位	2									
	体育	スポーツ科学実習 1	①		2									
		運動科学	②			2								
	外国語コミュニケーション	英語(Listening&Speaking) 1	1		2									
		英語(Listening&Speaking) 2	1			2								
		英語(Listening&Speaking) 3	1				2							
		英語(Listening&Speaking) 4	1					2						
		初修外国語入門 1 (ドイツ語)	1		2									
		初修外国語入門 1 (中国語)	1		2									
		初修外国語入門 1 (フランス語)	1		2									
		初修外国語入門 2 (ドイツ語)	1			2								
		初修外国語入門 2 (中国語)	1			2								
		初修外国語入門 2 (フランス語)	1			2								
		初修外国語初級 1 (ドイツ語)	1				2							
		初修外国語初級 1 (中国語)	1				2							
		初修外国語初級 1 (フランス語)	1				2							
		初修外国語初級 2 (ドイツ語)	1					2						
		初修外国語初級 2 (中国語)	1					2						
		初修外国語初級 2 (フランス語)	1					2						
	数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	デジタルプレゼンテーション論	2		2									
		CAD・CG論	2		2									
合計			25	9	16	10	8	8	0	0	0	0		

○大阪産業大学システム工学部修学規程（案）

第1章 総則

- 第1条 大阪産業大学学則（以下「学則」という。）第25条、第27条、第28条、第29条および第30条に基づくシステム工学部学生の授業科目の履修その他に関しては、別に定めあるものを除き、この規程の定めるところによる。
- 第2条 学生が履修する科目を分けて、実践教育科目、総合教育科目および専門教育科目とする。
- 第3条 授業科目のうち特定のものを必修科目とし、その他を選択必修科目と選択科目とする。必修科目のすべての単位と選択必修科目の規定単位を、修得しなければ卒業できない。
- 2 通年科目を、都合により、前期または後期にまとめて授業した場合は、本規程第15条第3項ただし書によるほか履修期間および成績の取扱いその他は、通年科目と同様に扱う。
- 3 学部、学科またはコースが指定する科目について、前期授業開始前に実施するプレースメントテストを受けなければならない。
- 第4条 最終学年において、卒業研究の審査に合格しなければならない。
- 2 卒業研究をさらに半年間継続の必要があると判定された者は、次年度の前期末あるいは学年末に再審査を受けることができる。
- 第5条 分野別の履修コースとして、システム工学科に、機械システムコース、機械デザインコース、自動車工学コース、鉄道工学コース、交通システムコース、電気電子工学コースおよび情報電子工学コースを置く。

第2章 履修申請

- 第6条 履修申請は、年度ごとに履修する科目を定めて、教務課に届出なければならない。ただし、予め定められた科目を除き、後期に履修申請の修正をすることができる。なお、履修申請をしていない科目を受講、または受験することはできない。
- 2 履修申請は、次の各号の定めにしたがって行うものとする。
- (1) 履修申請期間は、予め告示する。
 - (2) 同一時限に2科目以上の履修申請をしても受理しない。
 - (3) 履修申請は、復学の場合を除き、申請期間経過後は原則として受理しない。また、申請期間経過後は、申請内容の変更を原則として認めない。
 - (4) 前各号の規定にかかわらず、履修人員に制限のある授業科目については、その制限人員に達した場合は、第1号の期間中であっても履修申請の受付け、変更または追加は認めない。
- 第7条 履修した科目が不合格となり、なお単位を修得しようとする者は、あらためて次年度以降に履修申請し、再履修しなければならない。ただし、一部科目については、この限りではない。
- 第8条 すでに単位を修得した科目については、再び履修することはできない。
- 第9条 前3条の規定に違反した者には、単位を与えない。

第3章 履修制限

- 第10条 1年間に履修できる単位数は、次のとおりとする。
- (1) 48単位とする。編入生についても同様とする。
 - (2) 前号の定めにかかわらず、次の科目を履修制限から除く。
イ 教員免許取得に係る「教科及び教科の指導法に関する科目」に規定する科目のうち「職業指導」および「情報と職業」ならびに「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」に規定する科目

ロ 教員免許取得に係る「教育の基礎的理解に関する科目等」および「大学が独自に設定する科目」に規定する科目。ただし、「教育原理」、「教育心理学」、「道徳教育の理論と方法」、「人権教育」および「生涯学習論」の5科目は履修制限を含む。

ハ 学則第33条および第34条に基づき、本学における授業科目の履修とみなした科目

2 システム工学科内のコースの変更については、次のとおりとする。

(1) コースの変更は、卒業年次を除く各年次の履修申請前のコース変更の申請に基づき、在学中に1回を限度に認めることができる。

イ 鉄道工学コースへの変更は自動車工学コースおよび交通システムコースからのみ、審査を経て2年次の履修申請前に限り認めこれ以外他コースから鉄道工学コースへの変更は認めない。

ロ 自動車工学コースへの変更は認めない。

(2) コースの変更前に修得した単位のうち教授会の議を経て承認された単位を卒業要件単位に算入することができる。

(3) コース変更後、直ちに所属コースの履修要件が課せられる。

第11条 科目の履修および卒業見込証明書の発行の条件は、次のとおりとする。

(1) 卒業研究を履修するためには、次の各履修コースが定めた条件を満たさなければならない。

イ 機械システムコースおよび機械デザインコース

本規程第12条による卒業のための卒業資格最低単位数124単位のうち、100単位以上を修得し、3年次までに配当された専門教育科目の必修科目の未修得単位が6単位以内であること。

ただし、編入学生の入学区分「イ」の者は、卒業資格最低単位数62単位のうち32単位以上を修得し、3年次までに配当された専門教育科目の必修科目の未修得単位が、8単位以内であること。また、編入学生の入学区分「ロ」の者は、卒業資格最低単位数74単位のうち42単位以上を修得し、3年次までに配当された専門教育科目の必修科目の未修得単位が、8単位以内であること。

ロ 自動車工学コース

本規程第12条による卒業のための卒業資格最低単位数124単位のうち、総合教育科目の最低卒業要件単位のうち16単位以上を含む100単位以上を修得し、専門必修科目の単位充足に係る要件は、「製図」、「交通機械基礎実習」、「自動車工学実習1」、「自動車工学実習2」、「自動車工学実習3」および「交通機械実験・実習」の未修得単位が、2科目4単位以内であること。ただし、編入学生の入学区分「ハ」の者は、卒業資格最低単位数65単位のうち32単位以上を修得し、専門必修科目の単位充足に係る要件は、「製図」、「交通機械基礎実習」、「自動車工学実習1」、「自動車工学実習2」および「自動車工学実習3」の未修得単位が、2科目4単位以内であること。

ハ 鉄道工学コースおよび交通システムコース

本規程第12条による卒業のための卒業資格最低単位数124単位のうち、総合教育科目の最低卒業要件単位のうち16単位以上を含む100単位以上を修得し、専門必修科目の単位充足に係る要件は、「製図」、「交通機械基礎実習」および「交通機械実験・実習」の未修得単位が、2科目4単位以内であること。ただし、編入学生の入学区分「イ」の者は、卒業資格最低単位数62単位のうち32単位以上を修得し、専門必修科目の単位充足に係る要件は、「交通機械実験・実習」を単位修得済みであること。また、編入学生の入学区分「ロ」の者は、卒業資格最低単位数74単位のうち44単位以上を修得し、専門必修科目の単位充足に係る要件は、「交通機械実験・実習」を単位修得済みであること。

ニ 電気電子工学コースおよび情報電子工学コース

本規程第 12 条による卒業のための卒業資格最低単位数 124 単位のうち、実践教育科目の最低卒業要件 8 単位以上と総合教育科目の最低卒業要件 20 単位以上を含む 100 単位以上を修得し、専門必修科目の単位充足に係る要件は、次のとおりとする。

卒業研究の履修条件は、「回路の基礎」、「電気回路 1」、「基礎電磁気学 1」、「電気電子情報基礎演習 1」、「電気電子情報基礎演習 2」、「電気電子情報工学基礎実験」を修得していること。また、電気電子工学コースは「電気電子工学実験」および「システム工学ゼミナール」のいずれか 1 科目、情報電子工学コースは「電子情報工学実験」および「システム工学ゼミナール」のいずれか 1 科目を修得していること。ただし、編入学生は、卒業資格最低単位数 62 単位のうち 36 単位以上を修得し、電気電子工学コースは「電気電子工学実験」および「システム工学ゼミナール」のいずれか 1 科目、情報電子工学コースは「電子情報工学実験」および「システム工学ゼミナール」のいずれか 1 科目を修得していること。

- (2) 「システム工学ゼミナール」および「卒業研究」を履修する際の教員は、原則として同一人であること。
- (3) 卒業見込証明書は、4 年次において卒業研究の履修資格を有する者または既修得者に対して発行する。
- (4) 年度始めで、在籍中の休学の有無に関わらず、4 年次を上限に次の年次に進み、進んだ年次以下の科目の履修ができる。ただし、卒業研究の履修は本条第 1 号による。

第 4 章 卒業要件

第 12 条 卒業するためには、次に定める単位を修得しなければならない。

2 学則第 30 条に定める各コースの卒業要件単位は、本規程別表第 1 の授業科目表にしたがって、在学中に 124 単位を修得しなければならない。

- (1) 実践教育科目は、8 単位以上とする。
- (2) 総合教育科目は、教養教育科目分野、言語文化科目分野の英語より 4 単位以上を含めて 8 単位以上および身体科学科目分野を合わせて、20 単位以上とする。なお、留学生は、教養教育科目の日本文化より 8 単位を含めて 8 単位以上、言語文化科目分野の日本語より 8 単位を含めて 8 単位以上および身体科学科目分野を合わせて 20 単位以上とし、英語の単位を修得しなくてもよい。
- (3) 専門教育科目は、必修、選択必修および選択科目を合わせて、88 単位以上とする。なお、他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究を除き、30 単位まで履修することができ、そのうち 4 単位までを当該コースの専門教育科目の選択科目として卒業要件単位に組み入れることができる（これを自由科目と称する。）。)
- (4) 実践教育科目、総合教育科目および専門教育科目において、それぞれの最低卒業要件単位を超えて修得した単位は、相互に 8 単位までを、当該科目区分の卒業要件単位に組み入れることができる。

実践教育科目	8 単位以上					20 単位以上	124 単位	学士 (工学)
総合教育科目	教養教育科目	要件なし						
		日本文化 (留学生に限る。)	8 単位					
	言語文化科目	英語	4 単位以上					
		初修外国語		8 単位以上				
		日本語 (留学生に限る。)	8 単位					
	身体科学科目		要件なし					
専門教育科目	必修、選択必修および選択科目の単位を合わせて、88 単位以上 (自由科目 4 単位を含む。)							
4 年以上在学								

注) 留学生は、教養教育科目分野の日本文化および言語文化科目分野の日本語を必修とする。

- 3 学則第 13 条に定める各コースの 3 年次編入学生の卒業要件等は、本規程別表第 1 の授業科目表にしたがって、定められた単位数を修得しなければならない。

(1) 機械システムコースおよび機械デザインコース

イ 学則第 13 条第 2 項の第 3 および 7 号を除く各号のいずれかに該当する者（区分イと称する。）。

- ① 卒業要件単位は、専門教育科目より 62 単位とする。
- ② プレイスメントテストは、すべて実施しない。
- ③ 他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究を除き、30 単位まで履修することができる（これを自由科目と称する。）。
- ④ 実践教育科目、総合教育科目の「データサイエンスの基礎」および自由科目は、専門教育科目の選択科目として取り扱い、合わせて 4 単位を上限に卒業要件単位に組み入れることができる。

専門教育科目	必修科目 23 単位 選択必修科目 20 単位以上 選択科目 19 単位以上 (選択科目に実践教育科目、総合教育科目の「データサイエンスの基礎」および自由科目を合わせた 4 単位を含む。)	62 単位	学士 (工学)
2 年以上在学			

ロ 入学資格が、学則第 13 条第 2 項第 3 および 7 号のいずれかに該当する者（区分ロと称する。）。

- ① 卒業要件単位は、総合教育科目より 12 単位以上、専門教育科目より 62 単位以上を合わせて 74 単位とする。
- ② プレイスメントテストは、すべて実施しない。
- ③ 他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究を除き、30 単位まで履修することができる（これを自由科目と称する。）。
- ④ 実践教育科目および自由科目は、専門教育科目の選択科目として取り扱い、合

わせて4単位を上限に卒業要件単位に組み入れることができる。

総合教育科目	12 単位以上		74 単位	学士 (工学)
専門教育科目	必修科目 23 単位 選択必修科目 20 単位以上 選択科目 19 単位以上 (選択科目に実践教育科目および自由 科目を合わせた 4 単位を含む。)	62 単位 以上		
2 年以上在学				

(2) 自動車工学コース、鉄道工学コースおよび交通システムコース

イ 学則第13条第2項の第3および7号を除く各号のいずれかに該当し、鉄道工学コースおよび交通システムコースに編入する者（区分イと称する。）。

- ① 卒業要件単位は、総合教育科目の言語文化科目分野の英語および日本語より2単位以上、専門教育科目より60単位以上を合わせて62単位とする。
- ② 数学および物理のプレイスメントテストを実施し、英語および化学のプレイスメントテストは実施しない。
- ③ 他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究を除き、30単位まで履修することができる（これを自由科目と称する。）。
- ④ 実践教育科目、総合教育科目の「データサイエンスの基礎」および自由科目は、専門教育科目の選択科目として取り扱い、合わせて4単位を上限に卒業要件単位に組み入れることができる。

総合教育科目	言語文化科目	英語	2 単位以上	62 単位	学士 (工学)
		日本語(留学生に限る。)			
専門教育科目	鉄道工学コース		いずれかのコース で 60 単位 以上		
	必修科目	35 単位			
	選択必修科目	10 単位以上			
	選択科目	15 単位以上			
	(選択科目に実践教育科目、総合教育科目の「データサイエンスの基礎」および自由科目を合わせた 4 単位を含む。)				
	交通システムコース				
	必修科目	26 単位			
	選択必修科目	10 単位以上			
	選択科目	24 単位以上			
	(選択科目に実践教育科目、総合教育科目の「データサイエンスの基礎」および自由科目を合わせた 4 単位を含む。)				
2 年以上在学					

ロ 学則第13条第2項第3および7号のいずれかに該当し、鉄道工学コースおよび交通システムコースに編入する者（区分ロと称する。）。

- ① 卒業要件単位は、総合教育科目の言語文化科目分野の英語および日本語より2単位以上、専門教育科目より72単位以上を合わせて74単位とする。
- ② 数学および物理のプレイスメントテストを実施し、英語および化学のプレイス

メントテストは実施しない。

- ③ 他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究を除き、30 単位まで履修することができる（これを自由科目と称する。）。
- ④ 実践教育科目、総合教育科目の「データサイエンスの基礎」および自由科目は、専門教育科目の選択科目として取り扱い、合わせて 4 単位を上限に卒業要件単位に組み入れることができる。

総合教育科目	言語文化科目	英語	2 単位以上		
		日本語(留学生に限る。)			
専門教育科目	鉄道工学コース		いずれかのコース で 72 単位 以上	74 単位	学士 (工学)
	必修科目 51 単位 選択必修科目 10 単位以上 選択科目 11 単位以上 (選択科目に実践教育科目、総合教育科目 の「データサイエンスの基礎」および自 由科目を合わせた 4 単位を含む。)				
	交通システムコース				
	必修科目 42 単位 選択必修科目 10 単位以上 選択科目 20 単位以上 (選択科目に実践教育科目、総合教育科目 の「データサイエンスの基礎」および自 由科目を合わせた 4 単位を含む。)				
2 年以上在学					

ハ 学則第 13 条第 2 項の第 3 および 7 号を除く各号のいずれかに該当し、自動車工学コースに編入する者（区分ハと称する。）。

- ① 卒業要件単位は、総合教育科目の言語文化科目分野の英語および日本語より 2 単位以上、専門教育科目より 63 単位以上を合わせて 65 単位とする。
- ② 数学および物理のプレイスメントテストを実施し、英語および化学のプレイスメントテストは実施しない。
- ③ 他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究を除き、30 単位まで履修することができる（これを自由科目と称する。）。
- ④ 実践教育科目、総合教育科目の「データサイエンスの基礎」および自由科目は、専門教育科目の選択科目として取り扱い、合わせて 2 単位を上限に卒業要件単位に組み入れることができる。

総合教育科目	言語文化科目	英語	2 単位以上		
		日本語(留学生に限る。)			
専門教育科目	必修科目 51 単位		63 単位以上	65 単位	学士 (工学)
	選択必修科目 10 単位以上 選択科目 2 単位以上 (選択科目に実践教育科目、総合教育科目の「データサイエンスの基礎」および自由科目を合わせた 2 単位を含む。)				
2 年以上在学					

(3) 電気電子工学コースおよび情報電子工学コース

学則第 13 条第 2 項各号のいずれかに該当する者(区分イと称する。)

- ① 卒業要件単位は、専門教育科目より 62 単位とする。
- ② プレイスメントテストは、すべて実施しない。
- ③ 他学部の専門教育科目のうちより、製図、演習、実験、実習、外国語講読、卒業研究を除き、30 単位まで履修することができる(これを自由科目と称する。)
- ④ 実践教育科目、総合教育科目の「データサイエンスの基礎」および自由科目の卒業要件単位への組み入れについては、専門教育科目の選択科目として取り扱い、上限を 4 単位とする。

専門教育科目	必修科目	9 単位	62 単位	学士 (工学)
	選択必修科目	22 単位以上		
	選択科目	31 単位以上 (選択科目に実践教育科目、総合教育科目の「データサイエンスの基礎」および自由科目を合わせた 4 単位を含む。)		
2 年以上在学				

第 5 章 教育職員免許状取得に必要な科目の履修

第 13 条 中学校および高等学校の教育職員免許状を取得しようとする者は、卒業に必要な単位のほかに、教育職員免許法・同施行規則に定める必要な単位を修得するために、本規程別表第 1 2 に掲げる「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「大学が独自に設定する科目」および「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」に定める単位を修得しなければならない。さらに、中学校の教育職員免許状を取得する者は、7 日間の「介護等体験」を行わなければならない。

第 14 条 教育実習科目および教職実践演習の履修は、次に掲げる各号の規定によるものとする。

- (1) 「教育実習事前指導」を履修するためには、前年度終了時点において、総修得単位数(卒業要件外教職科目を含む。) が、原則として 90 単位以上、かつ、前年度終了時点における累積 GPA が 2.000 以上でなければならない。ただし、編入学生は、この限りでない。
- (2) 「教育実習 1」および「教育実習 2」を履修するためには、原則として、次の全ての要件を満たさなければならない。ただし、編入学生は、この限りでない。なお、教育実習に関する詳細は別に定める。
 - イ 当該年度に卒業見込みであること。
 - ロ 「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち「各教科の指導法(情報通信技術の

活用を含む。)」ならびに、「教育の基礎的理解に関する科目等」について配当された必修科目の単位をすべて修得し終えていること。

ハ 当該年度に教育職員免許状を取得するために必要なすべての単位を修得できる見込みであること。

ニ 前年度終了時点における累積 GPA が 2.000 以上であること。

(3) 「学校体験活動」を履修するためには、学業成績・人物ともに優秀でなければならない。なお、履修の可否は教職教育センター長が判断するものとする。

(4) 「教職実践演習(中・高)」を履修するためには、原則として、教育職員免許状を取得するために必要なすべての単位のうち、4 年次前期までに配当された科目の単位をすべて修得し終えていなければならない。

第 6 章 試験

第 15 条 定期試験は、前期試験と後期・学年末試験に分ける。

2 前期試験は、前期のみで終わる授業科目について前期末に行う。ただし、通年の授業科目についても、中間試験として行うことができる。

3 後期・学年末試験は、通年授業科目および後期のみで終わる授業科目について学年末に行う。ただし、通年の授業科目であって、前期に集中して授業したときは、前期試験の際、試験を行うが、追試験の実施を除き、成績の発表については学年末において処理する。

第 16 条 正当な理由によって受験できなかった者に対しては、教授会の議を経て、追試験を行う。

2 追試験を受験しようとする者は、指定の期間に、追試験受験願(様式第 9 号)を、所定の手数料と病気その他で受験できなかったことを証明する書類とともに教務課経由で学長に提出する。ただし、受験できなかった理由が就職試験、公共交通機関の遅延・運行休止または裁判員制度に基づく裁判員としての任務遂行の場合は、手数料を徴収しない。

3 学長は、前項の受験願を受理したときは、受験を許可するかどうかを教授会の議を経て、本人に通知する。

4 追試験の受験を許可された者には、受験票を交付し、不許可になった者には、提出した書類および手数料を返戻する。

5 追試験の期日は、教授会において定める。

6 中間試験として行った試験についての追試験は行わない。

7 追試験の成績は、90 点満点とする。

第 17 条 単位認定に係わる試験(以下「試験」という。)を受験しようとする者は、試験場において、次の各号に定める事項(以下「注意義務」という。)を守らなければならない。

(1) 試験場においては、監督者の指示にしたがわなければならない。

(2) 試験開始後 30 分以上遅刻した者は試験場に入ることができない。

(3) 受験の際は、学生証を机の上に置かなければならない。学生証を所持しない者は受験することができない。

(4) 答案用紙には、学籍番号および氏名をペンまたはボールペンで明記し、監督者に学生証との照合を受けなければならない。

(5) 特に許可されたものを除き、すべて携帯品は、監督者が指定する場所に置かなければならない。

(6) 配布を受けた答案用紙およびその他の用紙類はすべて、監督者が指定する場所に提出し、試験場外に持ち出してはならない。

第 18 条 試験に際して、次の各号のいずれかの行為を行った者は、不正行為者とみなし、学生証および答案を取り上げて退場を命じる。

- (1) 前条の注意義務に抵触する行為
 - (2) 許可されたもの以外を見ること
 - (3) 他人の不正行為を助けること
 - (4) 不正行為を目的とするものを保持すること
 - (5) 不正行為に係わる物的証拠を故意に隠蔽すること
 - (6) その他不正行為とみなされること
- 2 不正行為を行った者に対しては、次の各号にしたがって処分を行う。
- (1) 前項 1 号の不正行為を行った者は、当該科目の試験を無効とする。
 - (2) 前項 2 号から 6 号の不正行為を行った者は、当該試験期間中の試験を無効とする。
 - (3) 不正行為を繰り返すなど特に悪質な者に対しては、学則第 48 条に基づいて懲戒処分とする。

附 則

(施行期日)

この規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1 授業科目表および単位数
1 システム工学科
(1) 実践教育科目

区分	科目	単位	コース							最低単位数 卒業資格	週時間数								備考
			C1 機械システム	C2 機械デザイン	C3 自動車工学	C4 鉄道工学	C5 交通システム	C6 電気電子工学	C7 情報電子工学		1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期		後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
実践教育科目	システム工学リテラシー	1								8以上	2								全員履修
	コンピュータリテラシー	2									2								全員履修
	テクニカルライティング 1	2									2								全員履修
	テクニカルライティング 2	2										2							全員履修
	テクニカルコミュニケーション 1	2											2						
	テクニカルコミュニケーション 2	2												2					
	キャリアプランニング	2											2						
	キャリアデザイン 1	1												2					
	キャリアデザイン 2	1													2				
	企業研究	2													2	2			集中
	実践特別科目	2	—	—												2			
	小計	19	19	19	19	19	19	19	19	8以上	6	2	4	4	4	4	0	0	

※テクニカルライティング1、2の全員履修は留学生に対して適用しない。

(2) 総合教育科目

(各履修コースの○印は必修科目。備考の留学生科目は留学生のみ履修できる科目)

区分		科目	単位	コース							最低卒業資格 単位数	週時間数								備考	
				C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7		1年次		2年次		3年次		4年次			
				機械システム	機械デザイン	自動車工学	鉄道工学	交通システム	電気電子工学	情報電子工学		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
総合教育科目	教養教育科目	教養入門ゼミ	2									2									
		文学	2									2									
		哲学	2									2									
		論理学	2									2									
		地理学	2									2									
		社会思想史	2									2									
		日本国憲法	2										2								
		現代の政治	2										2								
		経済学	2										2								
		近代史	2										2								
		心理学	2										2								
		データサイエンスの基礎	2									2									
		物質科学	2									2									
		宇宙科学	2									2									
		環境科学	2									2									
		生命科学	2									2									
		現代数学入門	2									2									
		平和学	2									2	(2)								
		時事問題	2										2								
		外国の社会と文化	2										2								
		倫理学	2										2								
		科学技術史	2										2								
		日本事情 1	2	○	○	○	○	○	○	○		2								留学生向け科目	
		日本事情 2	2	○	○	○	○	○	○	○			2							留学生向け科目	
		日本の社会と文化 1	2	○	○	○	○	○	○	○		2								留学生向け科目	
		日本の社会と文化 2	2	○	○	○	○	○	○	○			2							留学生向け科目	
		教育原理	2										2								教職課程科目
		教育心理学	2									2									教職課程科目
		道徳教育の理論と方法	2											2							教職課程科目
		人権教育	2											2							教職課程科目
		生涯学習論	2											2							教職課程科目

(各履修コースの○印は必修科目。備考の留学生科目は留学生のみ履修できる科目)

区分			科目	単位	コース							卒業資格 最低単位数	週時間数								備考
					C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7		1年次		2年次		3年次		4年次		
					機械システム	機械デザイン	自動車工学	鉄道工学	交通システム	電気電子工学	情報電子工学		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
総合教育科目	言語文化科目	英語	英語(Listening & Speaking) 1	1								4以上 (20以上)	8以上 (20以上)	2							
			英語(Listening & Speaking) 2	1										2							
			英語(Listening & Speaking) 3	1											2						
			英語(Listening & Speaking) 4	1												2					
			TOEIC上級 (Listening) 1	1											2						
			TOEIC上級 (Listening) 2	1												2					
			英語(Reading & Writing) 1	1							2										
			英語(Reading & Writing) 2	1										2							
			英語(Reading & Writing) 3	1											2						
			英語(Reading & Writing) 4	1												2					
			TOEIC上級 (Reading) 1	1											2						
			TOEIC上級 (Reading) 2	1												2					
			英語総合 (上級) 1	1													2				
			英語総合 (上級) 2	1														2			
			英語海外研修	2											2	2				(集中)	
	初修外国語	初修外国語入門 1	1								8以上	20以上	2								
		初修外国語入門 2	1											2							
		初修外国語初級 1	1												2						
		初修外国語初級 2	1													2					
		初修外国語総合 1	1														2				
		初修外国語総合 2	1															2			
		初修外国語海外研修	2											2	2				(集中)		
	日本語	日本語読解 1	1	○	○	○	○	○	○	○	20以上	20以上	2						留学生向け科目		
		日本語読解 2	1	○	○	○	○	○	○	○				2						留学生向け科目	
		日本語作文 1	1	○	○	○	○	○	○	○			2							留学生向け科目	
		日本語作文 2	1	○	○	○	○	○	○	○				2						留学生向け科目	
		上級日本語読解 1	1	○	○	○	○	○	○	○					2					留学生向け科目	
		上級日本語読解 2	1	○	○	○	○	○	○	○						2				留学生向け科目	
		上級日本語作文 1	1	○	○	○	○	○	○	○					2					留学生向け科目	
		上級日本語作文 2	1	○	○	○	○	○	○	○						2				留学生向け科目	
	身体科学科目	スポーツ科学実習 1	1								20以上	20以上	2								
		スポーツ科学実習 2	1											2							
		スポーツ科学	2												2						
		運動科学	2													2					
小計 (59科目)				100	100	100	100	100	100	100	100	20以上	44	36	22	24	4	4	0	0	

注) 総合教育科目の履修要件

イ 1年次配当の英語については、プレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて、習熟度別にクラスを分ける。

ただし、英語の2年次および3年次配当科目については、この限りではない。

ロ 英語は「4単位以上」必修であるが、この規定は留学生には適用しない。

ハ 初修外国語はドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することができる。

ただし、各言語は、必ず「入門1」から履修しなければならない。

ニ 留学生は、日本文化の4科目8単位および日本語の8科目8単位を必修とする。

なお、留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。

ホ 留学生には英語のプレイスメントテストを実施しない。

(各履修コースの○印は必修科目、●印は学科共通選択必修科目、□印および◇印はコース選択必修科目、一印はコースによって履修できない科目)

区分		科目	単位	コース							卒業資格 最低単位数	週時間数								備考
				C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7		1年次		2年次		3年次		4年次		
				機械システム	機械デザイン	自動車工学	鉄道工学	交通システム	電気電子工学	情報電子工学		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎科目	実験・実習・演習	製図入門	2								2								二級自動車整備士科目 【共同】 【共同】 二級自動車整備士科目【共同】 二級自動車整備士科目【共同】 二級自動車整備士科目【共同】 二級自動車整備士科目【共同】 集中	
		製図	2	○	○	○	○					4								
		機械設計製作入門	2	○	○	—	—						4							
		デジタル機械設計製作	2			—	—		□						4					
		機械設計製作実習	2	○	○	—	—		—	—				4						
		交通機械基礎実習	2	—	—	○	○	—	—	—	6									
		自動車工学実習 1	4	—	—	○	—	—	—	—			12							
		自動車工学実習 2	4	—	—	○	—	—	—	—				12						
		自動車工学実習 3	4	—	—	○	—	—	—	—					12					
		鉄道工学フィールドワーク	1	—	—	—	○	—	—	—						1	1			
		交通機械実験・実習	2	—	—	○	○	—	—	—					6					
		機械工学実験	2	○	○	—	—	—	—	—					4	(4)				
		電気電子情報創造演習	1	—	—	—	—	—	○	○	2									
		電気電子情報基礎演習 1	2	—	—	—	—	—	○	○		4								
		電気電子情報基礎演習 2	2	—	—	—	—	—	○	○										
		電気電子情報工学基礎実験	2	—	—	—	—	—	○	○					4					
		電気電子工学実験	2	—	—	—	—	—	○	□						4				
		電子情報工学実験	2	—	—	—	—	—	□	○						4				
		専門教育科目	機械・交通分野の応用	機械製作法 1	2	□	□	○	○	○		(機械システムコースおよび機械デザインコース) (電気電子工学コース) (交通システムコース) (鉄道工学コース) (自動車工学コース) 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 必修 41・学科共通選択必修 10 以上 必修 26・学科共通選択必修 10 以上 必修 28・学科共通選択必修 10 以上 必修 50・学科共通選択必修 10 以上 必修 55・学科共通選択必修 10 以上 必修 64・学科共通選択必修 10 以上 								

(各履修コースの○印は必修科目、●印は学科共通選択必修科目、□印および◇印はコース選択必修科目、―印はコースによって履修できない科目)

区分			科目	単位	コース							最低単位数 卒業資格 数	週時間数								備考
					C1 機械システム	C2 機械デザイン	C3 自動車工学	C4 鉄道工学	C5 交通システム	C6 電気電子工学	C7 情報電子工学		1年次		2年次		3年次		4年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期		後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
電気電子・情報分野の応用 専門応用科目	発変電工学	2					◇	(機械システムコースおよび機械デザインコース) (自動車工学コース) (鉄道工学コース) (交通システムコース) (電気電子工学コース) (情報電子工学コース) 必修 必修 必修 必修 必修 41 64 55 50 28 26 ・学科共通選択必修 ・学科共通選択必修 ・学科共通選択必修 ・学科共通選択必修 ・学科共通選択必修 ・コース選択必修 10 以上					2				指定先行履修有				
	送配電工学	2					◇						2				指定先行履修有				
	電気機器工学	2					◇								2			指定先行履修有			
	電気応用工学	2					◇								2			指定先行履修有			
	電子物性論	2					◇					2									
	電気電子材料	2					◇						2								
	半導体工学	2					◇							2							
	パワーエレクトロニクス	2					◇								2						
	デジタル信号処理	2					◇		◇						2						
	集積電子回路	2					◇		◇						2						
	光・電磁波工学	2	—		—	—	—		◇	◇					2						
	光エレクトロニクス	2	—		—	—	—		◇	◇						2					
	情報通信工学	2					◇		◇				2								
	データベース工学	2					◇			10	10	10	10	10		2					
	情報ネットワーク	2					◇			以上	以上	以上	以上	以上		2					
	情報通信機器	2					◇		◇							2					
	情報理論	2					◇							2							
	AI・機械学習	2	—		—	—	—		◇							2					
	情報メディア工学	2					◇			10						2					
	情報セキュリティ	2					◇			以上			16	18			2				
	AIプログラミング	2	—	—	—	—	—		◇				以上を含み） ◇印□印合わせて			2					
	組込システム	2	—	—	—	—	—		◇							2		指定先行履修有			
専門総合科目	工業英語A	2												2							
	工業英語B	2													2						
	工業英語C	2														2					
	技術者倫理	2													2						
	安全工学と工学倫理	2	—	—				—	—						2						
	産業財産権	2							・選択	・選択	・選択	・選択	・選択		2						
	電波・通信事業法規	2														2					
	電気設備工学特別講義	2	—	—	—	—	—	—	27	14	23	28	18	20	2			集中			
	電気電子工学特別講義	2	—	—	—	—	—	—	以上	以上	以上	以上	以上			2		集中			
	電力工学特別講義	2	—	—	—	—	—	—	合計	合計	合計	合計	合計			2		集中			
	システム工学ゼミナール	2	○	○	○	○	○	○	88	88	88	88	88	88		2					
	卒業研究	4	○	○	○	○	○	○	以上	以上	以上	以上	以上				8	8			
システム工学総合演習	2	●	●	●	●	●	●								2						
小計		339	265	265	285	274	273	294	288	88以上		38	46	68	70	84	76	22	8		
実践教育科目、総合教育科目、専門教育科目合計			458	384	384	404	393	392	413	407	124以上		88	84	94	98	92	84	22	8	

注) 専門教育科目の履修要件

I. 全コースに適用されるもの

イ 各分野において定められた最低要件単位数を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができる。

ロ 備考欄中の表記

- (1) ☆と◎は、数学のブレイスメントテストの結果によって履修の順序が指定される科目
(☆の場合)「基礎数学」→「解析学1」「代数学1」「数学演習1」→「解析学2」「代数学2」「数学演習2」
(◎の場合)「解析学1」「代数学1」「数学演習1」→「解析学2」「代数学2」「数学演習2」→「解析学3」「代数学3」
- (2) ◎の科目を履修する者は、「基礎数学」を履修することはできない。
- (3) ▲と■は、物理のブレイスメントテストの結果によって履修の順序が指定される科目
(▲の場合)「基礎物理学」→「物理学1」
(■の場合)「物理学1」→「物理学2」
- (4) ■の科目を履修する者は、「基礎物理学」を履修することはできない。
- (5) 全員履修科目は、必ず履修しなければならない科目(必修科目ではない)である。
- (6) 指定先行科目
「発変電工学」「送配電工学」「電気機器工学」および「電気応用工学」を履修するためには、「回路の基礎」「電気回路1」および「基礎電磁気学1」をあらかじめ修得していなければならない。
「組込システム」を履修するためには、「C言語演習」および「Python基礎演習」をあらかじめ修得していなければならない。
ハ 「システム工学ゼミナール」を履修するためには、前期履修登録時に52単位以上の卒業要件単位を修得していなければならない。

II. 自動車工学コースに適用されるもの

イ 別表第1-3資格取得に係わる科目に定められた、国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格に必要な科目をすべて修得しなければならない。

ロ 国土交通省の定める二級自動車整備士養成施設での課程を修了したものは、『修了証明書』を発行する。

ハ 備考欄中の二級自動車整備士科目は、自動車工学コースにおける国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格科目を表す。

1の2 システム工学科（編入生区分「イ」）

(1) 実践教育科目および総合教育科目の「データサイエンスの基礎」

(各履修コースの＊印は単位を修得しても卒業要件に算入されない科目)

区分			科目	単位	コース							卒業資格 最低単位数	週時間数								備考
					C1 機械システム	C2 機械デザイン	C4 鉄道工学	C5 交通システム	C6 電気電子工学	C7 情報電子工学	1年次		2年次		3年次		4年次				
											前期		後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
実践教育科目	システム工学リテラシー			1	*	*	*	*	*	*	自由科目と合わせて4単位を上限に算入する 専門教育科目の選択科目に、	2									
	コンピュータリテラシー			2	*	*	*	*	*	*		2									
	テクニカルライティング1			2								2									
	テクニカルライティング2			2									2								
	テクニカルコミュニケーション1			2										2							
	テクニカルコミュニケーション2			2											2						
	キャリアプランニング			2										2							
	キャリアデザイン1			1											2						
	キャリアデザイン2			1												2					
	企業研究			2												2	2		集中		
	実践特別科目			2												2					
総合教育科目	教養教育科目	自然科学	データサイエンスの基礎			2						2									

(2) 総合教育科目の言語文化科目

(備考の留学生向け科目は留学生のみ履修できる科目)

区分		科目	単位	コース		卒業資格 最低単位数	週時間数								備考	
				C4 鉄道工学	C5 交通システム		1年次		2年次		3年次		4年次			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
総合教育科目	言語文化科目	英語	英語（Listening&Speaking）1	1		2									(集中) 留学生向け科目	
			英語（Listening&Speaking）2	1			2									
			英語（Listening&Speaking）3	1				2								
			英語（Listening&Speaking）4	1					2							
			TOEIC上級（Listening）1	1				2								
			TOEIC上級（Listening）2	1					2							
			英語（Reading&Writing）1	1		2										
			英語（Reading&Writing）2	1			2									
			英語（Reading&Writing）3	1				2								
			英語（Reading&Writing）4	1					2							
			TOEIC上級（Reading）1	1				2								
			TOEIC上級（Reading）2	1					2							
			英語総合（上級）1	1						2						
			英語総合（上級）2	1							2					
			英語海外研修	2				2	2							
	日本語	日本語	日本語読解1	1		2										
			日本語読解2	1			2									
			日本語作文1	1		2										
			日本語作文2	1			2									
			上級日本語読解1	1				2								
			上級日本語読解2	1					2							
			上級日本語作文1	1				2								
			上級日本語作文2	1					2							

注) 総合教育科目の履修要件

日本語は留学生に限る。

留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。

(3) 專門教育科目

(各履修コースの○印は必修科目、●印は学科共通選択必修科目、□印および◇印はコース選択必修科目、一印はコースによって履修できない科目、*印は単位を修得しても卒業要件に算入されない科目)

区分	科目	単位	コース							卒業資格 最低単位数	週時間数								備考
			C1 機械システム	C2 機械デザイン	C4 鉄道工学	C5 交通システム	C6 電気電子工学	C7 情報電子工学	1年次		2年次	3年次	4年次						
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期		後期	前期	後期						
専門教育科目	専門基礎（数学）	工学のための数学入門	1	—	—	—	—	—	—	—	2								☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ▲ ▲
		基礎数学	3	—	—	○	○	—	—	—	4								
		解析学 1	2	*	*			*	*	2	(2)								
		解析学 2	2	*	*			*	*		2	(2)							
		解析学 3	2	*	*			*	*			2							
		代数学 1	2	*	*			*	*	2	(2)								
		代数学 2	2	*	*			*	*		2	(2)							
		代数学 3	2	*	*			*	*			2							
		幾何学 1	2	*	*			*	*			2							
		幾何学 2	2	*	*			*	*				2						
		数学演習 1	1	*	*			*	*	2	(2)								
		数学演習 2	1	*	*			*	*		2	(2)							
		確率と統計	2	*	*			*	*			2							
		基礎工業数学	2	—	—			—	—			2							
		工業数学 1	2	*	*	—	—	—	—				2						
	工業数学 2	2	*	*	—	—	—	—					2						
	応用数学 1	2	*	*								2							
	応用数学 2	2	*	*									2						
	専門基礎（物理・化学）	工学のための物理入門	2	—	—			—	—	2									
		基礎物理学	2	—	—	○	○	*	*	4									
		物理学 1	2	—	—			*	*	2	(2)								
		物理学 2	2	—	—			*	*		2	(2)							
		化学 1	2	—	—			*	*		2								
		化学 1 演習	2	—	—			*	*		2								
		化学 2	2	—	—	—	—				2								
	システム工学の基礎	入門ゼミナール	1	○	○	○	○	○	○	2									
		C言語演習	2	●	●	●	●	●	●		2								
		Python基礎演習	2	●	●	●	●	●	●			2							
		Python応用演習	2	●	●	●	●	●	●				2						
		アルゴリズムとデータ構造	2	●	●	●	●	●	●				2						
		AI入門	2	●	●	●	●	●	●			2							
		ビッグデータ解析	2	●	●	●	●	●	●			2							
		電気・電子工学	2	●	●	●	●	●	●				2						
		制御工学 1	2	○	○	●	●	●	●				2						
		制御工学 2	2	○	○	●	●	●	●					2					
		制御工学 3	2	●	●	●	●	○	◇	10					2				
		IoTセンシング概論	2	●	●	●	●	*	*	10	2								
		計測とセンシング	2	●	●	●	●	○	◇	10				2	(2)				
		ロボット設計製作	2	●	●	●	●	●	●					1	1				
		スマートハウス栽培	2	●	●	●	●	●	●					2					
		ロボティクス	2	●	●	●	●	●	●						2				
		人間－自動車システム論	2	●	●	●	●	●	●						2				
		カーエレクトロニクス	2	●	●	●	●	●	●					2					
		機械・交通分野の基礎	工業力学 1	2					—	—	2								
			工業力学 2	2					—	—		2							
	材料力学 1		2	○	○			*	*	62	2								
	材料力学 2		2		□					60		2							
	流体力学 1		2	○	○					60			2						
	流体力学 2		2	□						62				2					
	熱力学 1		2	○	○					62			2						
熱力学 2	2		□						62				2						
機械力学 1	2		○	○	○	○			62				2						
機械力学 2	2		□	□					62					2					
電気と数学	2		—	—	—	—	*	*		2									
情報と数学	2										2								
電気工学	2		—	—			—	—			2								
回路の基礎	2						*	*		2	(2)								
電気回路 1	2						*	*			2	(2)							
電気回路 2	2										2								
電気電子・情報分野の基礎	線形回路論	2										2							
	基礎電磁気学 1	2					*	*			2	(2)							
	基礎電磁気学 2	2										2	(2)						
	電磁気学 1	2											2						
	電磁気学 2	2	—	—	—	—								2					
	計算機工学概論	2					*	*			2								
	論理回路	2											2						
	基礎電子回路	2											2						
	アナログ電子回路	2	—	—	—	—								2					
	デジタル回路	2	—	—	—	—								2					
	電子デバイス	2	—	—	—	—						2							
	電気電子計測	2	—	—	—	—						2							

(各履修コースの○印は必修科目、●印は学科共通選択必修科目、□印および◇印はコース選択必修科目、一印はコースによって履修できない科目、*印は単位を修得しても卒業要件に算入されない科目)

区分			科目	単位	コース							卒業資格 最低単位数	週時間数								備考							
					C1 機械システム	C2 機械デザイン	C4 鉄道工学	C5 交通システム	C6 電気電子工学	C7 情報電子工学	1年次				2年次				3年次				4年次					
											前期		後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期		後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目	実験・実習・演習	製図入門	2					*	*	(電気電子工学コースおよび情報電子工学コース) (鉄道工学コース) (交通システムコース) (機械システムコースおよび機械デザインコース) 必修 23・学科共通選択必修10以上 必修 35・学科共通選択必修10以上 必修 26・学科共通選択必修10以上 必修 9・学科共通選択必修10以上 必修 35・学科共通選択																		

(各履修コースの○印は必修科目、●印は学科共通選択必修科目、□印および◇印はコース選択必修科目、一印はコースによって履修できない科目、*印は単位を修得しても卒業要件に算入されない科目)

区分			科目	単位	コース							卒業資格 最低単位数	週時間数								備考
					C1 機械システム	C2 機械デザイン	C4 鉄道工学	C5 交通システム	C6 電気電子工学	C7 情報電子工学	1年次		2年次	3年次	4年次						
																前期	後期	前期	後期	前期	
専門教育科目	電気電子・情報分野の応用 専門応用科目	発変電工学	2				◇		(電気電子工学コースおよび情報電子工学コース) (鉄道工学コース) (機械システムコースおよび機械デザインコース) 必修 必修 必修 必修 23 35 26 9 ・学科共通選択必修 ・学科共通選択必修 ・学科共通選択必修 ・学科共通選択必修 10 10 10 10 以上 以上 以上 以上 ・コース選択必修 ・コース選択必修 10 12 以上 以上			2									
		送配電工学	2				◇						2								
		電気機器工学	2				◇								2						
		電気応用工学	2				◇								2						
		電子物性論	2				◇					2									
		電気電子材料	2				◇						2								
		半導体工学	2				◇							2							
		パワーエレクトロニクス	2				◇								2						
		デジタル信号処理	2				◇	◇						2							
		集積電子回路	2				◇	◇						2							
		光・電磁波工学	2	—	—	—	—	◇						2							
		光エレクトロニクス	2	—	—	—	—	◇							2						
		情報通信工学	2					◇					2								
		データベース工学	2					◇						2							
		情報ネットワーク	2					◇							2						
		情報通信機器	2					◇		◇						2					
		情報理論	2					◇						2							
		AI・機械学習	2	—	—	—	—	◇							2						
		情報メディア工学	2					◇							2						
		情報セキュリティ	2					◇								2					
		AIプログラミング	2	—	—	—	—	◇						2							
		組込システム	2	—	—	—	—	◇							2						
	専門総合科目	工業英語A	2											2							
		工業英語B	2												2						
		工業英語C	2													2					
		技術者倫理	2													2					
		安全工学と工学倫理	2	—	—			—								2					
		産業財産権	2											2							
		電波・通信事業法規	2													2					
		電気設備工学特別講義	2	—	—	—	—	—				2						集中			
		電気電子工学特別講義	2	—	—	—	—	—					2					集中			
		電力工学特別講義	2	—	—	—	—	—						2				集中			
		システム工学ゼミナール	2	○	○	○	○	○	○						2						
		卒業研究	4	○	○	○	○	○	○							8	8				
		システム工学総合演習	2	●	●	●	●	●	●							2					

注) 専門教育科目の履修要件

I. 全コースに適用されるもの

各分野において定められた最低要件単位数を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができる。

II. 鉄道工学コースおよび交通システムコースに適用されるもの

備考欄中の表記

- (1) ☆は、数学のプレイスメントテストによる履修対象科目であり、履修の順序が指定される。
「基礎数学」→「解析学1」「代数学1」「数学演習1」→「解析学2」「代数学2」「数学演習2」
- (2) ▲は、物理のプレイスメントテストによる履修対象科目であり、履修の順序が指定される。
「基礎物理学」→「物理学1」

1 の 3 システム工学科（編入生区分「ロ」）

(1) 実践教育科目

(各履修コースの＊印は単位を修得しても卒業要件に算入されない科目)

区分	科目	単位	コース				卒業資格 最低単位数	週時間数								備考
			C1	C2	C4	C5		1年次		2年次		3年次		4年次		
			機械システム	機械デザイン	鉄道工学	交通システム		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
実践教育科目	システム工学リテラシー	1	*	*	*	*	自由科目と合わせて4単位を上限に算入する 専門教育科目の選択科目に、	2								
	コンピュータリテラシー	2	*	*	*	*		2								
	テクニカルライティング1	2						2								
	テクニカルライティング2	2							2							
	テクニカルコミュニケーション1	2								2						
	テクニカルコミュニケーション2	2									2					
	キャリアプランニング	2								2						
	キャリアデザイン1	1									2					
	キャリアデザイン2	1										2				
	企業研究	2										2	2			集中
	実践特別科目	2											2			

(2) 総合教育科目

(各履修コースの*印は単位を修得しても卒業要件に算入されない科目、備考の留学生向け科目は留学生のみ履修できる科目)

区分		科目	単位	コース				最低卒業資格 単位数	週時間数								備考		
				C1 機械システム	C2 機械デザイン	C4 鉄道工学	C5 交通システム		1年次		2年次		3年次		4年次				
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
総合教育科目	教養教育科目	教養入門ゼミ	2			*	*	機械システムコースおよび交通システムコース 鉄道工学コースおよび機械デザインコース	2								注) ハ 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目		
		人文科学	文学	2			*		*	2									
			哲学	2			*		*	2									
			論理学	2			*		*	2									
			地理学	2			*		*	2									
			社会思想史	2			*		*	2									
		社会科学	日本国憲法	2			*		*		2								
			現代の政治	2			*		*		2								
			経済学	2			*		*		2								
			近代史	2			*		*		2								
			心理学	2			*		*		2								
		自然科学	物質科学	2			*		*	2									
			宇宙科学	2			*		*	2									
			環境科学	2			*		*	2									
			生命科学	2			*		*	2									
			現代数学入門	2			*		*	2									
			データサイエンスの基礎	2						2									
		学際領域	平和学	2			*		*	2	(2)								
			時事問題	2			*		*		2								
			外国の社会と文化	2			*		*		2								
			倫理学	2			*		*		2								
			科学技術史	2			*		*		2								
		日本文化	日本事情1	2			*		*	2									
			日本事情2	2			*		*		2								
			日本の社会と文化1	2			*		*	2									
			日本の社会と文化2	2			*		*		2								
		人間教育	教育原理	2			*		*		2								
			教育心理学	2			*		*	2									
			道徳教育の理論と方法	2			*		*				2						
			人権教育	2			*		*				2						
			生涯学習論	2			*		*			2							

(各履修コースの*印は単位を修得しても卒業要件に算入されない科目、備考の留学生向け科目は留学生のみ履修できる科目)

区分		科目	単位	コース				最低卒業資格 単位数	週時間数								備考			
				C1 機械システム	C2 機械デザイン	C4 鉄道工学	C5 交通システム		1年次2年次3年次4年次											
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
総合教育科目	言語文化科目	英語	英語 (Listening&Speaking) 1	1				(機械システムコースおよび交通システムコース および機械デザインコース)	12	2	以上	以上	2						(集中)	
			英語 (Listening&Speaking) 2	1										2						
			英語 (Listening&Speaking) 3	1											2					
			英語 (Listening&Speaking) 4	1												2				
			TOEIC上級 (Listening) 1	1												2				
			TOEIC上級 (Listening) 2	1													2			
			英語 (Reading&Writing) 1	1										2						
			英語 (Reading&Writing) 2	1											2					
			英語 (Reading&Writing) 3	1												2				
			英語 (Reading&Writing) 4	1													2			
			TOEIC上級 (Reading) 1	1												2				
			TOEIC上級 (Reading) 2	1													2			
			英語総合 (上級) 1	1														2		
			英語総合 (上級) 2	1																2
			英語海外研修	2													2	2		
	初修外国語	初修外国語入門1	1			*	*			2								(集中)		
		初修外国語入門2	1			*	*				2									
		初修外国語初級1	1			*	*					2								
		初修外国語初級2	1			*	*						2							
		初修外国語総合1	1			*	*							2						
		初修外国語総合2	1			*	*								2					
		初修外国語海外研修	2			*	*					2	2							
	日本語	日本語読解1	1							2								留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目		
		日本語読解2	1								2									
		日本語作文1	1							2										
		日本語作文2	1								2									
		上級日本語読解1	1									2								
		上級日本語読解2	1										2							
		上級日本語作文1	1										2							
		上級日本語作文2	1											2						
	身体 科目 科学	スポーツ科学実習1	1			*	*			2										
		スポーツ科学実習2	1			*	*				2									
		スポーツ科学	2			*	*						2							
		運動科学	2			*	*							2						

注) 総合教育科目の履修要件

イ 初修外国語はドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することができる。ただし、各言語は、必ず「入門1」から履修しなければならない。

ロ 日本文化および日本語は留学生に限る。

なお、留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。

ハ 鉄道工学コース、交通システムコースにおいては、「データサイエンスの基礎」を、実践教育科目および自由科目と合わせて4単位を上限に、専門教育科目の選択科目として卒業要件単位に算入することができる。

(3) 専門教育科目

(各履修コースの○印は必修科目、●印は学科共通選択必修科目、□印はコース選択必修科目、一印はコースによって履修できない科目、*印は単位を修得しても卒業要件に算入されない科目)

区分	科目	単位	コース					最低卒業資格 単位数	週時間数								備考
			C1 機械 システム	C2 機械 デザイン	C4 鉄道工学	C5 交通システム	1年次		2年次		3年次		4年次				
							前期		後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門教育科目	専門基礎（数学）	工学のための数学入門	1	—	—	—	—	機械システムコース 鉄道工学コース 交通システムコース および機械デザインコース	2								☆☆☆ ☆☆ ☆☆
		基礎数学	3	—	—	○	○		4								
		解析学1	2	*	*				2	(2)							
		解析学2	2	*	*					2	(2)						
		解析学3	2	*	*						2						
		代数学1	2	*	*				2	(2)							
		代数学2	2	*	*					2	(2)						
		代数学3	2	*	*						2						
		幾何学1	2	*	*						2						
		幾何学2	2	*	*							2					
		数学演習1	1	*	*				2	(2)							
		数学演習2	1	*	*					2	(2)						
		確率と統計	2	*	*						2						
		基礎工業数学	2	*	*						2						
	専門基礎（物理・化学）	工業数学1	2	*	*	—	—				2						
		工業数学2	2	*	*	—	—					2					
		応用数学1	2	*	*							2					
		応用数学2	2	*	*								2				
		工学のための物理入門	2	—	—	—	—	必修23・学科共通選択必修	2								
		基礎物理学	2	—	—	○	○	必修51・学科共通選択必修	4								
		物理学1	2	—	—			必修42・学科共通選択必修	2	(2)							
		物理学2	2	—	—					2	(2)						
		化学1	2	—	—					2							
		化学1演習	2	—	—					2							
	システム工学の基礎	入門ゼミナール	1	○	○	○	○	10以上	2								【MDASH応用基礎科目】 【MDASH応用基礎科目】 【MDASH応用基礎科目】 【MDASH応用基礎科目】 【MDASH応用基礎科目】
		C言語演習	2	●	●	●	●	10以上		2							
		Python基礎演習	2	●	●	●	●	10以上			2						
		Python応用演習	2	●	●	●	●	10以上				2					
		アルゴリズムとデータ構造	2	●	●	●	●	10以上				2					
		AI入門	2	●	●	●	●	コース選択必修			2						
		ビッグデータ解析	2	●	●	●	●				2						
		電気・電子工学	2	●	●	●	●					2					
		制御工学1	2	○	○	●	●					2					
		制御工学2	2	○	○	●	●						2				
		制御工学3	2	●	●	●	●	10以上						2			
		IoTセンシング概論	2	●	●	●	●	10以上		2							
		計測とセンシング	2	●	●	●	●	10以上					2	(2)		年度内再履修可 集中	
		ロボット設計製作	2	●	●	●	●	19以上					1	1			
		スマートハウス栽培	2	●	●	●	●	20以上					2				
		ロボティクス	2	●	●	●	●	11以上						2			
		人間－自動車システム論	2	●	●	●	●	20以上						2			
		カーエレクトロニクス	2	●	●	●	●	11以上					2				
	機械・交通分野の基礎	工業力学1	2			○	○	合計62以上	2								年度内再履修可 年度内再履修可
		工業力学2	2					合計72以上		2							
		材料力学1	2	○	○	○	○			2							
		材料力学2	2		□						2						
		流体力学1	2	○	○	○	○				2						
		流体力学2	2	□								2					
		熱力学1	2	○	○	○	○				2						
		熱力学2	2	□								2					
		機械力学1	2	○	○	○	○					2					
機械力学2		2	□	□								2					
電気電子・情報分野の基礎	電気と数学	2	—	—	—	—			2							年度内再履修可 年度内再履修可 年度内再履修可 年度内再履修可	
	情報と数学	2								2							
	電気工学	2	—	—	○	○				2							
	回路の基礎	2						2	(2)								
	電気回路1	2							2	(2)							
	電気回路2	2								2							
	線形回路論	2									2						
	基礎電磁気学1	2							2	(2)							
	基礎電磁気学2	2								2	(2)						
	電磁気学1	2									2						
	電磁気学2	2	—	—		—						2					
	計算機工学概論	2							2								
	論理回路	2									2						
	基礎電子回路	2										2					
	アナログ電子回路	2	—	—	—	—							2				
	デジタル回路	2	—	—	—	—							2				
	電子デバイス	2	—	—	—	—				2							
	電気電子計測	2	—	—	—	—				2							

[illegible]

(各履修コースの○印は必修科目、●印は学科共通選択必修科目、□印はコース選択必修科目、一印はコースによって履修できない科目、*印は単位を修得しても卒業要件に算入されない科目)

区分			科目	単位	コース				最低卒業資格 単位数	週時間数								備考
					C1 機械 システム	C2 機械 デザイン	C4 鉄道工学	C5 交通システム		1年次		2年次		3年次		4年次		
										前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	電気電子・情報分野の応用 専門応用科目	発変電工学	2					(機械システムコースおよび機械デザインコース) (鉄道工学コース) (交通システムコース) 必修 必修 必修 23 51 42 ・学科共通選択必修 ・学科共通選択必修 ・学科共通選択必修 10 10 10 以上 以上 以上 ・コース選択必修 10 以上				2						
		送配電工学	2									2						
		電気機器工学	2											2				
		電気応用工学	2										2					
		電子物性論	2								2							
		電気電子材料	2									2						
		半導体工学	2										2					
		パワーエレクトロニクス	2												2			
		デジタル信号処理	2											2				
		集積電子回路	2											2				
		光・電磁波工学	2	—	—	—	—							2				
		光エレクトロニクス	2	—	—	—	—								2			
		情報通信工学	2										2					
		データベース工学	2											2				
		情報ネットワーク	2												2			
		情報通信機器	2						10	10	10					2		
		情報理論	2						以上	以上	以上				2			
		AI・機械学習	2	—	—	—	—									2		
		情報メディア工学	2													2		
		情報セキュリティ	2														2	
		AIプログラミング	2	—	—	—	—								2			
		組込システム	2	—	—	—	—		10							2		
	専門総合科目	工業英語A	2					以上						2				
		工業英語B	2												2			
		工業英語C	2					選択	選択	選択						2		
		技術者倫理	2					19	11	20					2			
		安全工学と工学倫理	2	—	—			以上	以上	以上					2			
		産業財産権	2					合計	合計	合計				2				
		電波・通信事業法規	2					62	72	72						2		
		電気設備工学特別講義	2	—	—	—	—	以上	以上	以上		2						
		電気電子工学特別講義	2	—	—	—	—							2				
		電力工学特別講義	2	—	—	—	—								2			
		システム工学ゼミナール	2	○	○	○	○								2			
		卒業研究	4	○	○	○	○								8	8		
		システム工学総合演習	2	●	●	●	●									2		

注) 専門教育科目の履修要件

I. 全コースに適用されるもの

各分野において定められた最低要件単位数を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができる。

II. 鉄道工学コースおよび交通システムコースに適用されるもの

備考欄中の表記

- (1) ☆は、数学のプレイスメントテストによる履修対象科目であり、履修の順序が指定される。
「基礎数学」→「解析学1」「代数学1」「数学演習1」→「解析学2」「代数学2」「数学演習2」
- (2) ▲は、物理のプレイスメントテストによる履修対象科目であり、履修の順序が指定される。
「基礎物理学」→「物理学1」

1 の 4 システム工学科（編入生区分「ハ」）

(1) 実践教育科目および総合教育科目の「データサイエンスの基礎」

(各履修コースの*印は単位を修得しても卒業要件に算入されない科目)

区分				科目	単位	コース	卒業資格 最低単位数	週時間数								備考
						C2 自動車工学		1年次		2年次		3年次		4年次		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
実践教育科目				システム工学リテラシー	1	*	専門教育科目の選択科目に、自由科目と合わせて 2単位を上限に算入する	2							集中	
				コンピュータリテラシー	2	*		2								
				テクニカルライティング1	2			2								
				テクニカルライティング2	2				2							
				テクニカルコミュニケーション1	2				2							
				テクニカルコミュニケーション2	2					2						
				キャリアプランニング	2				2							
				キャリアデザイン1	1					2						
				キャリアデザイン2	1						2					
				企業研究	2						2	2				
				実践特別科目	2							2				
総合教育科目	教養教育科目	自然科学	データサイエンスの基礎	2			2									

(2) 総合教育科目の言語文化科目

(備考の留学生向け科目は留学生のみ履修できる科目)

区分			科目	単位	コース C2 自動車工学	卒業資格 最低単位数	週時間数								備考
							1年次		2年次		3年次		4年次		
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
総合教育科目	言語文化科目	英語	英語（Listening&Speaking）1	1	2 以上	2								(集中) 留学生向け科目	
			英語（Listening&Speaking）2	1			2								
			英語（Listening&Speaking）3	1				2							
			英語（Listening&Speaking）4	1					2						
			TOEIC上級（Listening）1	1				2							
			TOEIC上級（Listening）2	1					2						
			英語（Reading&Writing）1	1		2									
			英語（Reading&Writing）2	1			2								
			英語（Reading&Writing）3	1				2							
			英語（Reading&Writing）4	1					2						
			TOEIC上級（Reading）1	1				2							
			TOEIC上級（Reading）2	1					2						
			英語総合（上級）1	1						2					
			英語総合（上級）2	1							2				
			英語海外研修	2				2	2						
	日本語	日本語読解1	1	2											
		日本語読解2	1		2										
		日本語作文1	1	2											
		日本語作文2	1		2										
		上級日本語読解1	1			2									
		上級日本語読解2	1				2								
		上級日本語作文1	1			2									
		上級日本語作文2	1				2								

注) 総合教育科目の履修要件

日本語は留学生に限る。

留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。

(3) 専門教育科目

(履修コースの○印は必修科目、●印は学科共通選択必修科目、一印はコースによって履修できない科目)

区分		科目	単位	コース C2自動車工学	最低卒業資格 単位数	週時間数								備考	
						1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門教育科目	専門基礎（数学）	工学のための数学入門	1		自動車工学コース 必修51・学科共通選択必修10以上・選択2以上 合計63以上	2								二級自動車整備士科目	
		基礎数学	3			4									
		解析学1	2			2	(2)								
		解析学2	2				2	(2)							
		解析学3	2				2								
		代数学1	2			2	(2)								
		代数学2	2				2	(2)							
		代数学3	2				2								
		幾何学1	2				2								
		幾何学2	2					2							
		数学演習1	1			2	(2)								
		数学演習2	1				2	(2)							
		確率と統計	2				2								
		基礎工業数学	2	○			2								
		工業数学1	2	—				2							
		工業数学2	2	—					2						
		応用数学1	2					2							
		応用数学2	2						2						
	専門基礎（物理・化学）	工学のための物理入門	2			2									
		基礎物理学	2			4									
		物理学1	2			2	(2)								
		物理学2	2				2	(2)							
		化学1	2				2								
		化学1演習	2				2								
		化学2	2	—				2							
	システム工学の基礎	入門ゼミナール	1	○		2									
		C言語演習	2	●			2								
		Python基礎演習	2	●				2							【MDASH応用基礎科目】
		Python応用演習	2	●					2						【MDASH応用基礎科目】
		アルゴリズムとデータ構造	2	●					2						【MDASH応用基礎科目】
		AI入門	2	●				2							【MDASH応用基礎科目】
		ビッグデータ解析	2	●				2							【MDASH応用基礎科目】
		電気・電子工学	2	●					2						
		制御工学1	2	●					2						
		制御工学2	2	●						2					
		制御工学3	2	●							2				
		IoTセンシング概論	2	●			2								
		計測とセンシング	2	●						2	(2)				年度内再履修可
		ロボット設計製作	2	●						1	1				集中
		スマートハウス栽培	2	●						2					
		ロボティクス	2	●							2				
		人間－自動車システム論	2	●							2				
		カーエレクトロニクス	2	●						2					
	機械・交通分野の基礎	工業力学1	2	○		2									二級自動車整備士科目
		工業力学2	2	○			2								二級自動車整備士科目
		材料力学1	2	○			2								二級自動車整備士科目
		材料力学2	2					2							
		流体力学1	2	○				2							二級自動車整備士科目
		流体力学2	2						2						
		熱力学1	2	○				2							二級自動車整備士科目
熱力学2		2					2								
機械力学1		2	○					2				二級自動車整備士科目			
機械力学2		2						2							
電気と数学		2	—		2										
電気電子・情報分野の基礎	情報と数学	2				2									
	電気工学	2	○				2					二級自動車整備士科目			
	回路の基礎	2		2	(2)							年度内再履修可			
	電気回路1	2			2	(2)						年度内再履修可			
	電気回路2	2				2									
	線形回路論	2					2								
	基礎電磁気学1	2			2	(2)						年度内再履修可			
	基礎電磁気学2	2				2	(2)					年度内再履修可			
	電磁気学1	2					2								
	電磁気学2	2	—					2							
	計算機工学概論	2			2										
	論理回路	2					2								
	基礎電子回路	2						2							
	アナログ電子回路	2	—					2							
	デジタル回路	2	—						2						
	電子デバイス	2	—				2								
	電気電子計測	2	—			2									

区分		科目	単位	コース C2 自動車工学	卒業資格 最低単位数	週時間数								備考						
						1年次		2年次		3年次		4年次								
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
専門基礎科目	実験・実習・演習	製図入門	2		(自動車工学コース 必修 51・学科共通選択必修 10以上・選択2以上 合計 63以上)	2									二級自動車整備士科目 【共同】 【共同】 二級自動車整備士科目【共同】 二級自動車整備士科目【共同】 二級自動車整備士科目【共同】 集中					
		製図	2	○				4												
		機械設計製作入門	2	—				4												
		デジタル機械設計製作	2	—					4											
		機械設計製作実習	2	—					4											
		交通機械基礎実習	2	○		6														
		自動車工学実習 1	4	○				12												
		自動車工学実習 2	4	○					12											
		自動車工学実習 3	4	○						12										
		鉄道工学フィールドワーク	1	—						1	1									
		交通機械実験・実習	2						6											
		機械工学実験	2	—					4	(4)										
		電気電子情報創造演習	1	—		2														
		電気電子情報基礎演習1	2	—			4													
		電気電子情報基礎演習2	2	—				4												
		電気電子情報工学基礎実験	2	—					4											
		電気電子工学実験	2	—					4											
		電子情報工学実験	2	—					4											
		専門応用科目	機械・交通分野の応用	機械製作法1		2	○				2									二級自動車整備士科目
				機械製作法2		2					2									
機械材料工学	2			○		2														
金属凝固学	2									2										
材料強度学	2									2										
先端複合材料	2										2									
機械要素	2							2												
機構学	2								2											
トライボロジー	2									2										
伝熱工学	2										2									
カーボンフリーエネルギー学	2										2									
ピークエネルギー工学	2											2								
先端構造デザインと防災	2											2								
プロダクトデザイン	2												2							
自動車構造論	2			○		2											二級自動車整備士科目			
自動車技術論	2			○					2								二級自動車整備士科目			
自動車整備工学	2			○							2						二級自動車整備士科目			
交通原動機学 1	2			○					2								二級自動車整備士科目			
交通原動機学 2	2									2										
自動車運動制御論	2										2									
自動車運動力学	2											2								
車体設計論	2											2								
基礎鉄道工学	2						2													
鉄道設計	2								2											
次世代鉄道技術	2											2								
鉄道保守	2										2									
鉄道設備	2											2								
交通システム工学	2												2							
交通機械論	2												2							
交通機械流れ学	2											2								
交通環境工学	2													2						
交通機械空気力学	2													2						
交通ダイナミカルシステム論	2												2							
自動二輪工学	2							2												
宇宙開発入門ゼミナール	2							2												
航空宇宙工学	2										2									
船舶工学	2									2										
生体力学	2					2														
医工学概論	2						2													
再生医工学	2							2												
バイオメカニクス	2										2									
福祉工学概論	2									2										
非破壊検査1	2										2									
非破壊検査2	2											2								

(履修コースの○印は必修科目、●印は学科共通選択必修科目、一印はコースによって履修できない科目)

区分	科目	単位	コース C2 自動車工学	卒業資格 最低単位数	週時間数								備考		
					1年次		2年次		3年次		4年次				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育科目	電気電子・情報分野の応用 専門応用科目	発変電工学	2					2							
		送配電工学	2						2						
		電気機器工学	2							2					
		電気応用工学	2							2					
		電子物性論	2				2								
		電気電子材料	2					2							
		半導体工学	2						2						
		パワーエレクトロニクス	2								2				
		ディジタル信号処理	2							2					
		集積電子回路	2							2					
		光・電磁波工学	2	—						2					
		光エレクトロニクス	2	—								2			
		情報通信工学	2					2							
		データベース工学	2						2						
		情報ネットワーク	2							2					
		情報通信機器	2									2			
		情報理論	2						2						
		AI・機械学習	2	—							2				
		情報メディア工学	2								2				
		情報セキュリティ	2										2		
		AIプログラミング	2	—					2						
		組込システム	2	—								2			
	専門総合科目	工業英語A	2							2					
		工業英語B	2								2				
		工業英語C	2										2		
		技術者倫理	2									2			
		安全工学と工学倫理	2									2			
		産業財産権	2							2					
		電波・通信事業法規	2										2		
		電気設備工学特別講義	2	—				2							集中
		電気電子工学特別講義	2	—					2						集中
		電力工学特別講義	2	—						2					集中
		システム工学ゼミナール	2	○							2				
		卒業研究	4	○									8	8	
		システム工学総合演習	2	●										2	
					（自動車工学コース 必修 51 ・学科共通選択必修 10 以上 ・選択 2 以上 合計 63 以上）										

集中

集中

集中

注) 専門教育科目の履修要件
イ 各分野において定められた最低要件単位数を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができる。
ロ 別表第1～3資格取得に係わる科目に定められた、国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格に必要な科目をすべて修得しなければならない。
ハ 国土交通省の定める二級自動車整備士養成施設での課程を修了したものは、『修了証明書』を発行する。
ニ 備考欄中の二級自動車整備士科目は、自動車工学コースにおける国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格科目を表す。

2 教員免許取得に係る科目

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

イ. 中学校教諭一種免許状・数学

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項			授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備 考
						1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
教科に関する専門的事項	代数学	代数学 1	②	左記より必修を含め 28 単位	2	(2)								
		代数学 2	②			2	(2)							
		数学演習 1	①		2	(2)								
		代数学 3	2				2							
	幾何学	幾何学 1	②				2							
		幾何学 2	②					2						
	解析学	解析学 1	②		2	(2)								
		解析学 2	②			2	(2)							
		数学演習 2	①			2	(2)							
		解析学 3	2				2							
		応用数学 1	2					2						
		応用数学 2	2						2					
		「確率論、統計学」	確率と統計		②			2						
			情報理論		2				2					
	コンピュータ	C言語演習	②			2								
		Python基礎演習	2				2							
		アルゴリズムとデータ構造	②					2						
		ビッグデータ解析	2				2							
		情報と数学	2				2							
							2							
各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）	数学科教育法 1	②			2									
	数学科教育法 2	②				2								
	数学科教育法 3	②					2							
	数学科教育法 4	②						2						
合計			44	28	6	8	16	8	6	2	0	0		

ロ. 中学校教諭一種免許状・技術

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低 修得 単 位 数	週 時 間 数								備考		
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
教科に関する専門的 事項	材料加工（実習を含む。）	機械製作法 1	②	②			2								
		機械製作法 2	②					2							
		機械設計製作入門	2			4									
		デジタル機械設計製作	2					4							
		交通機械実験・実習	2						6						
		材料力学 1	2			2									
		材料力学 2	2				2								
		機械材料工学	2			2									
		金属凝固学	2						2						
		材料強度学	2						2						
		電気電子材料	2						2						
	機械・電気（実習を含む。）	ロボット設計製作	②	⑥					1	1					
		制御工学 1	2					2							
		制御工学 2	2						2						
		電気工学	2				2								
		電気・電子工学	2					2							
		流体力学 1	2				2								
		流体力学 2	2					2							
		熱力学 1	2				2								
		熱力学 2	2					2							
		機械力学 1	2					2							
		機械力学 2	2						2						
		電気回路 1	2			2	(2)								
		基礎電磁気学 1	2			2	(2)								
		基礎電磁気学 2	2				2	(2)							
		計測とセンシング	2						2	(2)					
		ロボティクス	2							2					
		工業力学 1	2		2										
		工業力学 2	2			2									
		回路の基礎	2		2	(2)									
		電気回路 2	2				2								
		基礎電子回路	2					2							
		アナログ電子回路	2						2						
		デジタル回路	2							2					
		パワーエレクトロニクス	2									2			
		技術者倫理	2									2			
		生物育成	スマートハウス栽培		②					2					
		情報とコンピュータ	コンピュータリテラシー		②		2								△
			情報ネットワーク		2						2				
			情報セキュリティ		2							2			
	各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）		技術科教育法 1	②			2								
			技術科教育法 2	②				2							
			技術科教育法 3	②					2						
技術科教育法 4			②						2						
合計			88	28以上	6	14	16	20	27	9	4	0			

注) 備考欄中の△印は、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」の「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」指定科目

ハ. 高等学校教諭一種免許状・数学

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備考	
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
教科に関する専門的 事項	代数学	代数学 1	②	左記より必修を含め 24 単位	2	(2)								
		代数学 2	②			2	(2)							
		数学演習 1	①		2	(2)								
		代数学 3	2				2							
	幾何学	幾何学 1	②				2							
		幾何学 2	②					2						
	解析学	解析学 1	②		2	(2)								
		解析学 2	②			2	(2)							
		数学演習 2	①			2	(2)							
		解析学 3	2				2							
		応用数学 1	2					2						
		応用数学 2	2						2					
	「確率論、統計学」	確率と統計	②				2							
		情報理論	2						2					
	コンピュータ	C言語演習	②			2								
		Python基礎演習	2				2							
		アルゴリズムとデータ構造	②					2						
		ビッグデータ解析	2				2							
		情報と数学	2				2							
	各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）	数学科教育法 1	②				2							
数学科教育法 2		②				2								
数学科教育法 3		2					2							
数学科教育法 4		2						2						
合計			44	24	6	8	16	8	6	2	0	0		

二、高等学校教諭一種免許状・情報

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備考	
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
教科に関する専門的 事項	情報社会（職業に関する内容 を含む。）・情報倫理	コンピュータリテラシー	②	左記より必修を含め 24 単位以上	2								△	
		情報と職業	④						2	2				
	コンピュータ・情報処理	C言語演習	②			2								
		Python基礎演習	②				2							
		アルゴリズムとデータ構造	②					2						
		AI入門	2				2							
		ビッグデータ解析	2				2							
		情報と数学	2				2							
							2							
	情報システム	Python応用演習	2					2						
		計算機工学概論	②			2								
		論理回路	2					2						
		データベース工学	2						2					
		情報セキュリティ	2								2			
	情報通信ネットワーク	情報通信工学	2					2						
		情報ネットワーク	②							2				
		情報通信機器	2								2			
	マルチメディア表現・マルチ メディア技術	ディジタル信号処理	2							2				
		情報メディア工学	②								2			
各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）	情報科教育法 1	②						2						
	情報科教育法 2	②							2					
合計			42	24以上	2	4	8	8	6	10	4	0		

注) 備考欄中の△印は、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」の「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」指定科目

ホ. 高等学校教諭一種免許状・工業

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備考	
					1 年次		2 年次		3 年次		4 年次			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	電気工学	2	10 以上			2							
		電気・電子工学	2					2						
		ロボット設計製作	2						1	1				
		材料力学 1	2			2								
		材料力学 2	2				2							
		流体力学 1	2				2							
		流体力学 2	2					2						
		熱力学 1	2				2							
		熱力学 2	2					2						
		機械力学 1	2					2						
		機械力学 2	2						2					
		電気回路 1	2			2	(2)							
		基礎電磁気学 1	2			2	(2)							
		基礎電磁気学 2	2				2	(2)						
		基礎電子回路	2					2						
		アナログ電子回路	2						2					
		デジタル回路	2						2					
		電子デバイス	2				2							
		半導体工学	2							2				
		基礎工業数学	2				2							
		工業数学 1	2				2							
		工業数学 2	2					2						
		制御工学 1	2					2						
		制御工学 2	2						2					
		計測とセンシング	2							2	(2)			
		IoTセンシング概論	2			2								
		ロボティクス	2								2			
		人間－自動車システム論	2								2			
		カーエレクトロニクス	2					2						
		工業力学 1	2		2									
		工業力学 2	2			2								
		電気と数学	2			2								
		回路の基礎	2		2	(2)								
		電気回路 2	2				2							
		線形回路論	2						2					
		電磁気学 1	2						2					
		電磁気学 2	2							2				
		電気電子計測	2				2							
		機械設計製作入門	2			4								
		デジタル機械設計製作	2						4					
		交通機械実験・実習	2							6				
		機械工学実験	2							4	(4)			
		電気電子情報創造演習	1		2									
		電気電子情報基礎演習 1	2			4								
		電気電子情報基礎演習 2	2				4							
		電気電子工学実験	2						4					

左記より必修・選択必修を含め 24 単位以上

工業の関係科目

[illegible]

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び各科目に含めることが必要な事項		授 業 科 目	単 位	週 時 間 数								備 考		
				1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		中 学 校	高 等 学 校	単 卒 科 位 業 算 要 入 件
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2		2							◎	◎	※
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2	2								◎	◎	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2			2						◎	◎	
		人権教育	2				2					△	△	※
		生涯学習論	2			2						△	△	※
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2								◎	◎	※
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2				2					◎	◎	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2					2				◎	◎	
道徳、総合的な学習の時間等の指導方法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	2				2					◎	△	※
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2						2			◎	◎	
	特別活動の指導法													
	教育の方法及び技術	教育方法論	2		2							◎	◎	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育とICT活用	1					1	0			◎	◎	(集中)
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論	2			2						◎	◎	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法													
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2				2					◎	◎	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前指導	2					2	2			◎	◎	事後指導含む (集中)
		教育実習 1	2							4		◎	◎	
		教育実習 2	2							4		○	△	(集中)
	学校体験活動	学校体験活動	2						4			○	△	(集中)
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2								2	◎	◎	
合 計			37	4	4	6	8	5	8	8	2			

注) 1. 高等学校教諭普通免許状においては、事項「総合的な学習の時間の指導法」は「総合的な探究の時間の指導法」となる。

注) 2.

イ 備考欄中の◎印は、各免許の必修科目

ロ 備考欄中の○印は、各免許の選択必修科目

ハ 備考欄中の△印は、各免許の選択科目

二 備考欄中の※印は、総合教育科目区分の卒業要件単位として算入する。

(3) 大学が独自に設定する科目

授 業 科 目	単 位	週 時 間 数								備 考
		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
道徳教育の理論と方法	2				2					
合 計	2	0	0	0	2	0	0	0	0	

注) 1. 上記科目は、高等学校教諭一種免許状取得希望者にのみ適用される科目とする。

注) 2. 上記科目は、総合教育科目区分の卒業要件単位として算入する。

(4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分及び各科目に 含めることが必要な事項			授 業 科 目	単 位	最低修得 単位数	週 時 間 数								備考
						1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	②	左記より必修・選択必修を含め9単位	① <									

3 資格取得に係わる科目

イ. 二級自動車整備士（自動車工学コース）

二級自動車整備士の受験資格を得ようとする者は、国土交通省の定めるところにより、次の科目をすべて修得しなければならない。

授 業 科 目	単位	最低修得単位数	週 時 間 数								備 考
			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
基礎工業数学	2	44			2						○
工業力学 1	2		2								○
材料力学1	2			2							○
機械力学1	2					2					○
機械製作法1	2				2						○
製図	2				4						○
機械材料工学	2			2							○
流体力学1	2				2						○
熱力学1	2				2						○
電気工学	2				2						○
交通機械基礎実習	2		6								○
自動車構造論	2			2							○
工業力学 2	2			2							○
交通原動機学 1	2					2					○
自動車技術論	2						2				○
自動車整備工学	2							2			○
自動車工学実習 1	4				12						○※
自動車工学実習 2	4					12					○※
自動車工学実習 3	4							12			○※
合 計	44	44	8	8	26	16	2	14	0	0	

注) 1. 履修について

- (1) 自動車工学コースの者に限り、二級自動車整備士の受験資格を取得することができるものとし、上記一覧に示す二級自動車整備士の受験資格に必要な科目をすべて修得し、当該コースの卒業要件単位を満たさなければならない。
自動車工学コースを履修できる学年定員を1、2年次で各98名、3、4年次で編入学生を加えて各100名とする。
- (2) 上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目は、定められた「週時間数」を開講し、講義科目で16回（定期試験を含む）以上、交通機械基礎実習及び製図は15回以上、自動車工学実習1、2及び3は、30回以上の授業を開講し、毎回に出欠を確認する。
なお、講義科目で13回（定期試験を含む）以上、交通機械基礎実習、製図は12回以上、自動車工学実習1、2及び3は、それぞれ26回以上を出席しなければ、単位を修得することができない。
- (3) 上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目の毎回の授業における遅刻及び早退はそれぞれ開始後、終了前の15分間以内とし、その15分間を超えた場合、欠席とする。1科目内での遅刻及び早退が3回をもって、1回の欠席とする。
- (4) 上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目の補講について、担当教員の公的理などにより休講となった場合、必ず、補講を実施する。なお、学生の公欠や病気などに伴う欠席についての補講は基本的に実施しない。

2. 自動車工学コースの卒業者に限り、国土交通省の定める二級自動車整備士養成施設での課程（認定大学）を修了した者として、『修了証明書』を発行する。
3. 備考欄中の○印は、自動車工学コースの卒業要件単位に算入される科目。
4. 備考欄中の※印は、自動車工学コース以外の者が、履修申請できない科目。